

第 6 章

介護保険サービス事業者調査

< 調 査 概 要 >

調 査 方 法	郵送配付、郵送回収
調 査 対 象 者	区内すべての介護保険サービス事業者 (平成 23 年 1 月 1 日現在)
抽 出 元	介護保険事業者名簿
調 査 期 間	平成 23 年 1 月 11 日～1 月 31 日
対 象 者 数 及 び 回 収 率	対 象 者 数 : 336 有 効 回 収 数 : 220 有 効 回 収 率 : 65.5%

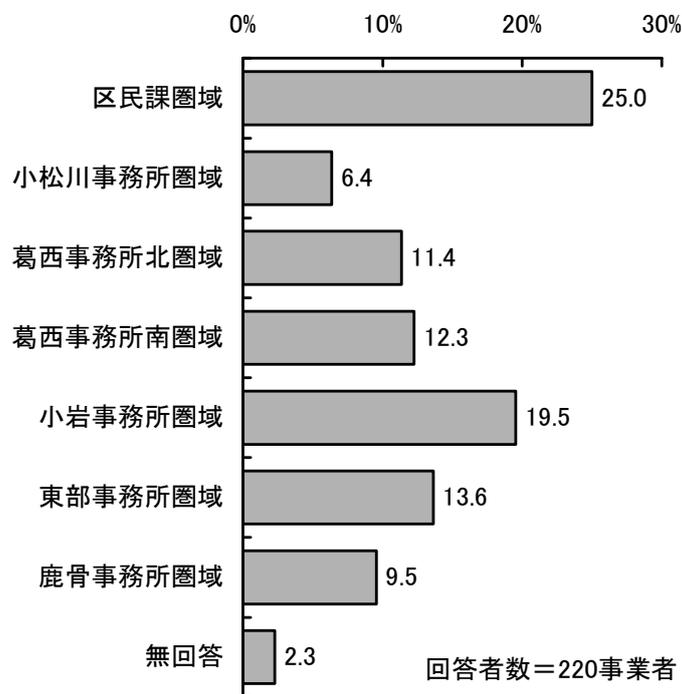
1. 基本事項について

(1) 事業所の所在地

問1 貴事業所の所在地はどちらですか。(1つに○)

事業所の所在地をみると、「区民課圏域」がもっとも高い25.0%、次いで「小岩事務所圏域」19.5%、「東部事務所圏域」13.6%、「葛西事務所南圏域」12.3%、「葛西事務所北圏域」11.4%、「鹿骨事務所圏域」9.5%、「小松川事務所圏域」6.4%となっている。

図表6-1 事業所の所在地(単数回答)

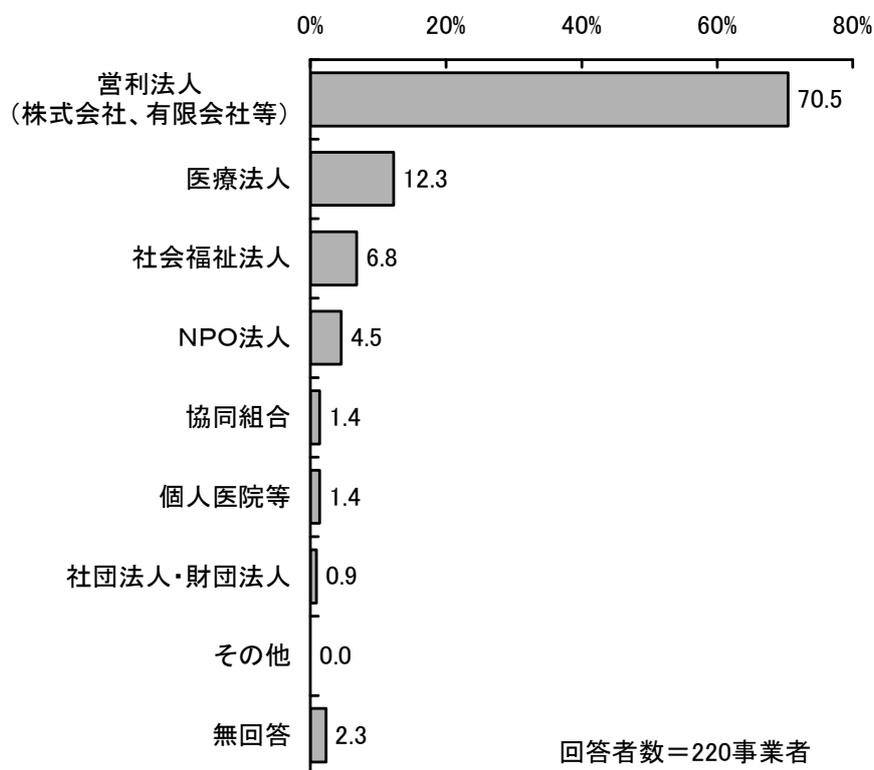


(2) 事業所の法人組織

問 2 貴事業所の法人組織は、次のどれにあてはまりますか。(1つに○)

事業所の法人組織は、「営利法人（株式会社、有限会社等）」が 70.5%と約 7 割を占める。次いで「医療法人」が 12.3%、「社会福祉法人」が 6.8%、「NPO法人」が 4.5%などとなっている。

図表6-2 事業所の法人組織(単数回答)

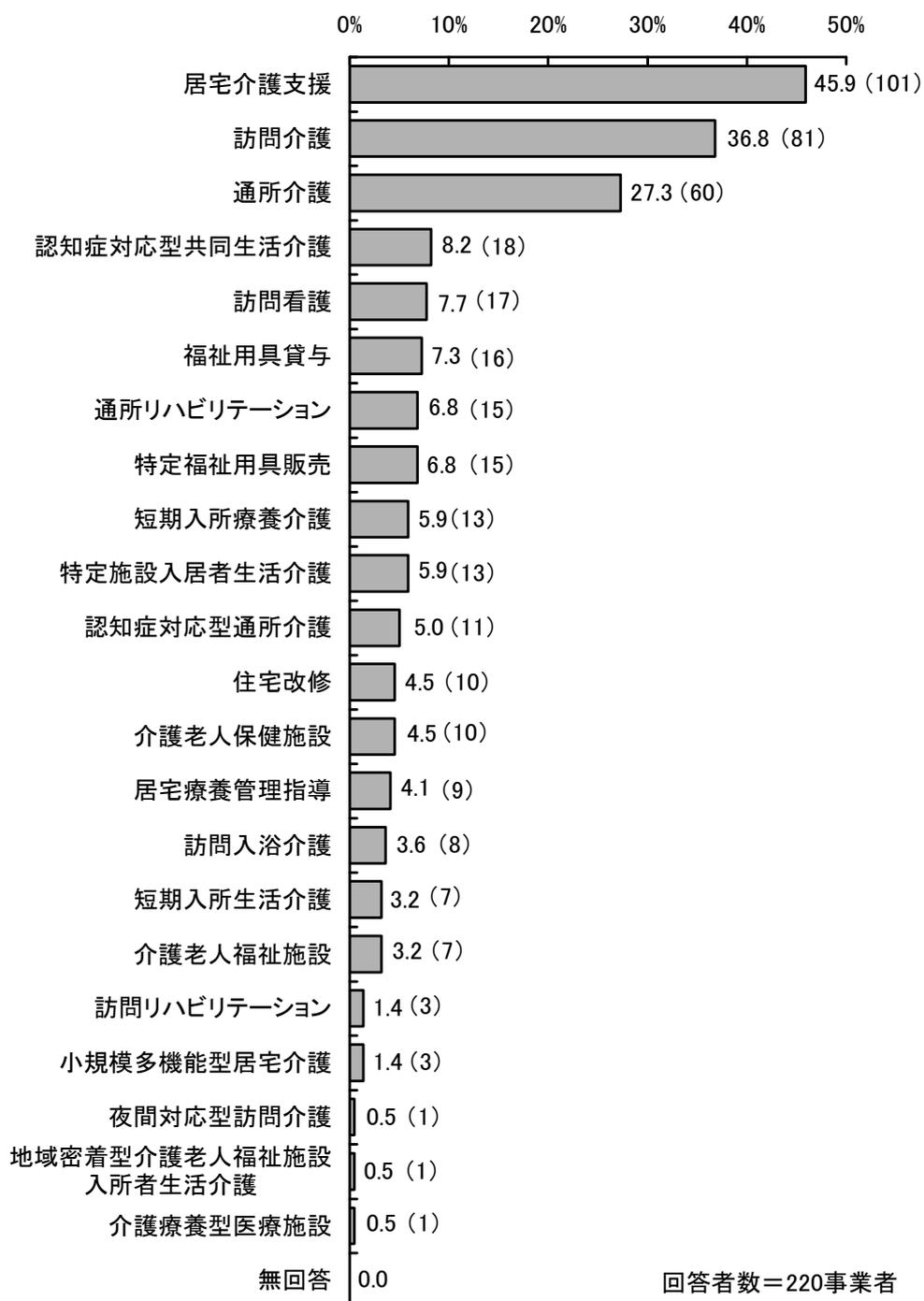


(3)実施している介護サービス事業

問3 ①貴事業所(同一所在地にある事業所)が実施しているサービスすべてに○をしてください。

実施している介護サービス事業は、「居宅介護支援」が45.9%ともっとも高く、次いで「訪問介護」36.8%、「通所介護」27.3%、「認知症対応型共同生活介護」8.2%、「訪問看護」7.7%などとなっている。

図表6-3 実施している介護サービス事業(複数回答)



※ () 内は事業所数

(4)提供実績、従業者数

問3 ②平成22年12月の提供実績(実利用者数)をご記入ください。

問3 ③従業者数をご記入ください。

実施しているサービス事業別にみると、平成22年12月における1事業所あたりの平均利用者数(実人数)及び従業者数は以下のとおりである。

図表6-4 提供実績、従業者数(平均人数)

	事業所数	提供実績(実利用者数)		従業者数(管理者含む)	
		全体	うち江戸川区民	常勤	非常勤
居宅介護支援	101	54.9人	52.1人	2.1人	0.5人
訪問介護	81	52.8人	50.4人	4.3人	16.5人
訪問入浴介護	8	90.8人	77.4人	11.1人	7.7人
訪問看護	17	55.2人	52.9人	4.0人	3.5人
訪問リハビリテーション	3	23.2人	23.2人	3.0人	0.0人
居宅療養管理指導	9	29.3人	22.9人	3.1人	2.7人
通所介護	60	69.8人	65.5人	4.9人	6.1人
通所リハビリテーション	15	48.9人	46.3人	8.0人	2.3人
短期入所生活介護	7	67.8人	63.8人	17.2人	4.5人
短期入所療養介護	13	17.2人	16.0人	21.7人	8.1人
特定施設入居者生活介護	13	44.8人	26.3人	23.3人	11.2人
福祉用具貸与	16	197.8人	129.3人	3.0人	1.5人
特定福祉用具販売	15	7.8人	5.5人	2.8人	1.5人
住宅改修	10	21.0人	17.0人	3.1人	1.2人
認知症対応型通所介護	11	31.2人	21.8人	5.2人	5.9人
小規模多機能型居宅介護	3	14.3人	14.3人	6.0人	8.5人
認知症対応型共同生活介護	18	17.3人	14.4人	10.0人	7.8人
地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護	1	20.0人	20.0人	12.0人	5.0人
介護老人福祉施設	7	72.2人	70.4人	28.7人	15.8人
介護老人保健施設	10	95.1人	74.3人	52.3人	8.6人
介護療養型医療施設	1	36.0人	27.0人	70.0人	15.0人

2. 事業の経営について

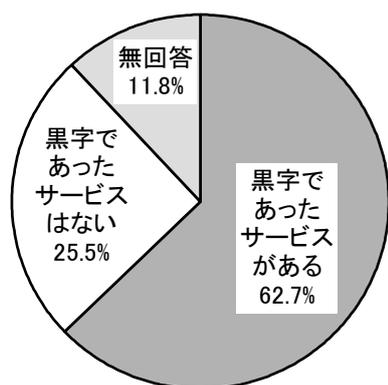
(1) 昨年度の収支が黒字であったサービス

問4 問3①で○をした実施サービスのうち、昨年度(最新の決算)の収支が黒字であったサービスに○をしてください。(あてはまるものすべてに○)

昨年度の収支が黒字であったサービスをみると、62.7%が「黒字であったサービスがある」と回答している。

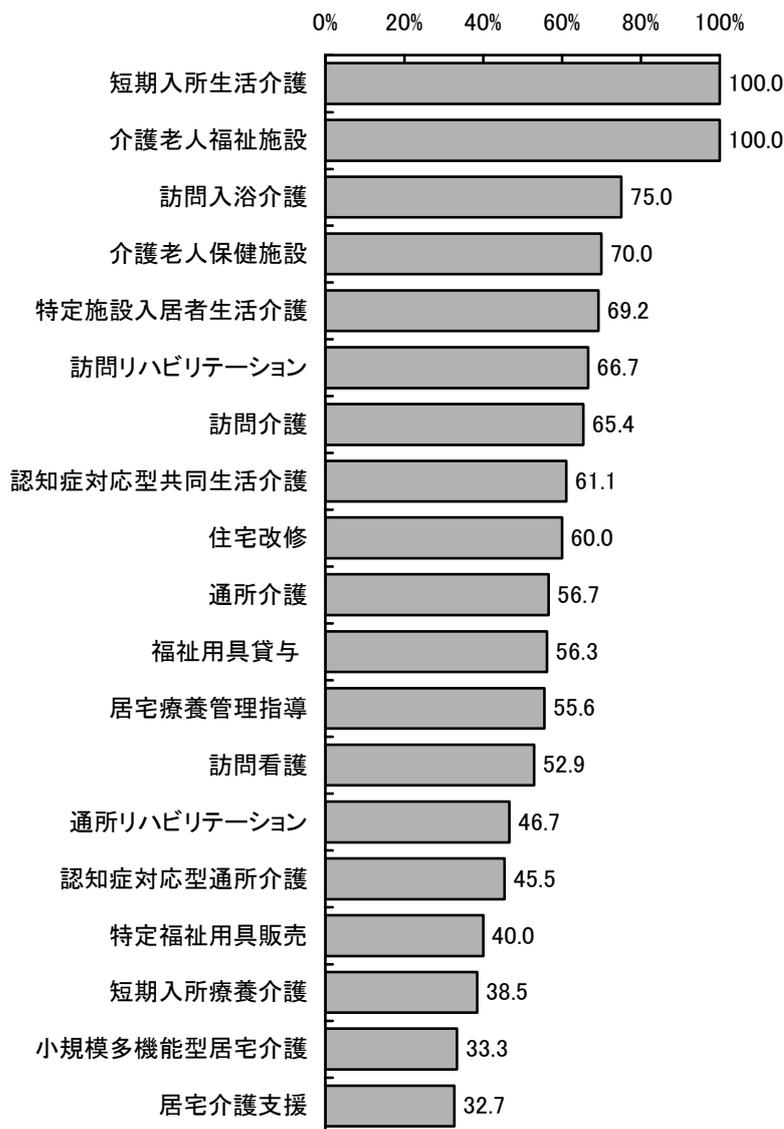
実施サービスに対する黒字であったサービスの割合をみると、「短期入所生活介護」「介護老人福祉施設」は100%であり、次いで「訪問入浴介護」75.0%、「介護老人保健施設」70.0%となっている。

図表6-5 収支が黒字であったサービスの有無(単数回答)



回答者数=220事業者

図表6-6 実施サービスに占める黒字であったサービスの割合



※図表6-6は、各実施サービス(問3①)ごとに黒字であったと回答しているサービスの割合

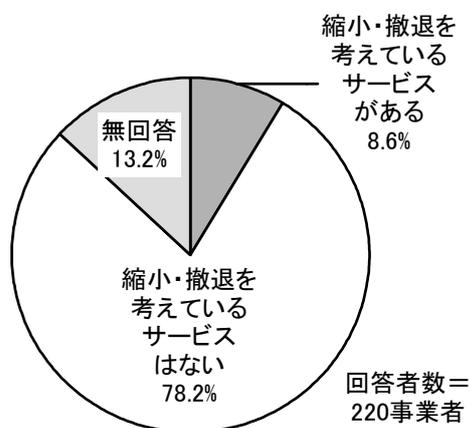
(2) 縮小・撤退を考えているサービス

問5 問3①で○をした実施サービスのうち、3年以内に、縮小・撤退を考えているサービスに○をしてください。(あてはまるものすべてに○)

縮小・撤退を考えているサービスをみると、「縮小・撤退を考えているサービスはない」が78.2%と8割近く、「縮小・撤退を考えているサービスがある」は8.6%となっている。

実施サービスに占める縮小・撤退を考えているサービスの事業所数をみると、居宅介護支援5事業所、訪問介護4事業所、通所介護4事業所などとなっている。

図表6-7 縮小・撤退を考えているサービスの有無(単数回答)



図表6-8 縮小・撤退を考えている事業所数

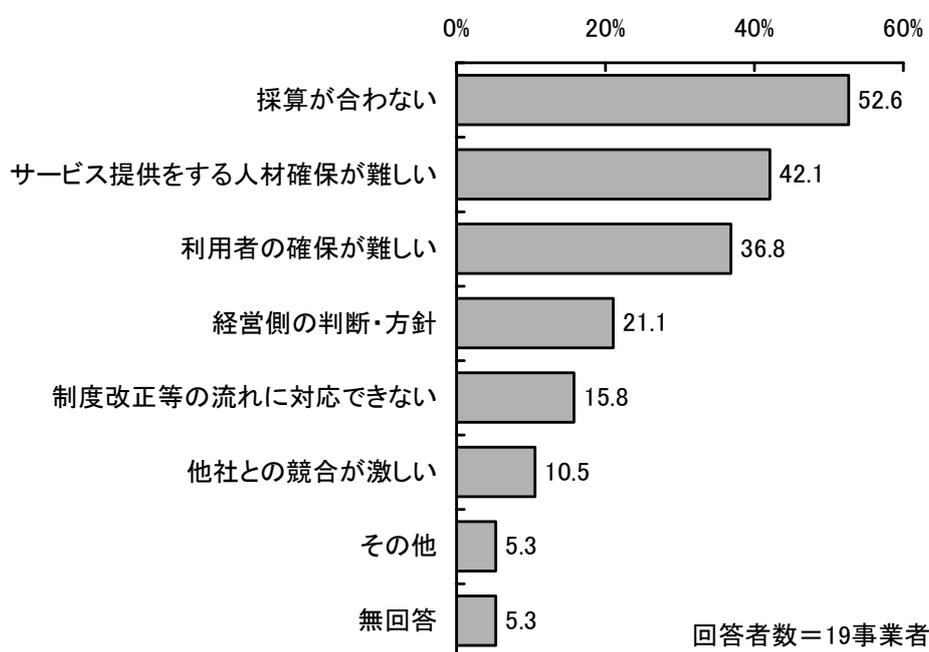
サービス種別	事業所数
居宅介護支援	5
訪問介護	4
通所介護	4
特定福祉用具販売	2
訪問入浴介護	1
訪問看護	1
居宅療養管理指導	1
通所リハビリテーション	1
福祉用具貸与	1
夜間対応型訪問介護	1
認知症対応型通所介護	1
介護老人保健施設	1

(3) 縮小・撤退を考えている理由

問 5-1 「縮小・撤退を考えているサービスがある」(1～22 に○)事業所におたずねします。その理由をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

縮小・撤退を考えている理由としては、「採算が合わない」52.6%がもっとも高く、次いで「サービス提供をする人材確保が難しい」42.1%、「利用者の確保が難しい」36.8%、「経営側の判断・方針」21.1%となっている。

図表6-9 縮小・撤退を考えている理由(複数回答)

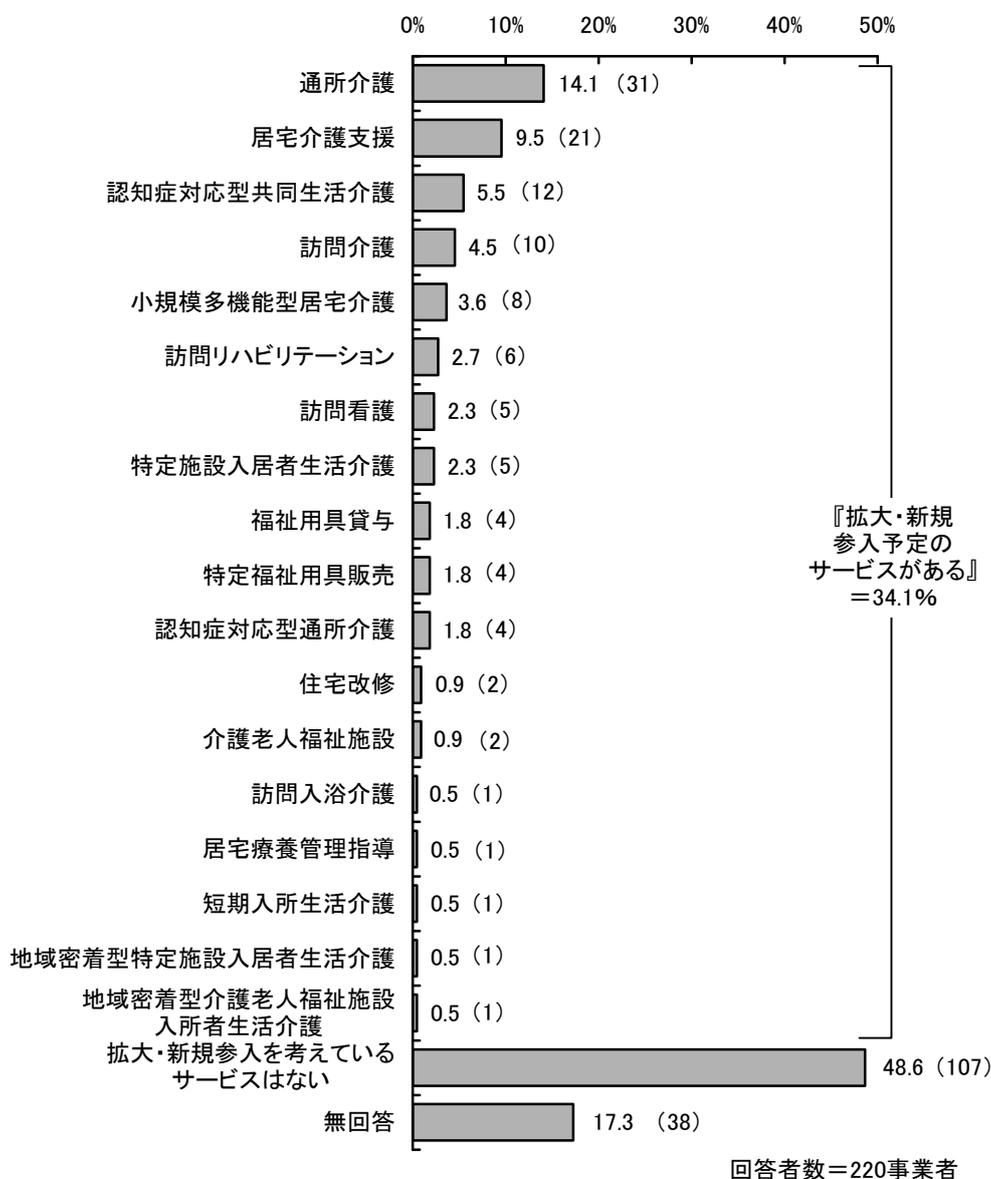


(4) 事業の拡大・新規参入を考えているサービス

問6 貴事業所において、3年以内に、江戸川区において事業の拡大・新規参入を考えているサービスに○をしてください。(あてはまるものすべてに○)

事業者が事業の拡大・新規参入を考えているサービスは、「通所介護」14.1% (31事業所)、「居宅介護支援」9.5% (21事業所)、「認知症対応型共同生活介護」5.5% (12事業所)、「訪問介護」4.5% (10事業所) などとなっている。

図表6-10 事業の拡大・新規参入を考えているサービス(複数回答)



※ () 内は事業所数

※ 『拡大・新規参入予定のサービスがある』 = 100% - 「拡大・新規参入を考えているサービスはない」 - 「無回答」

※ 参入意向のないサービスは掲載を省略している

(5) 24時間対応の定期巡回・随時対応サービスの参入意向

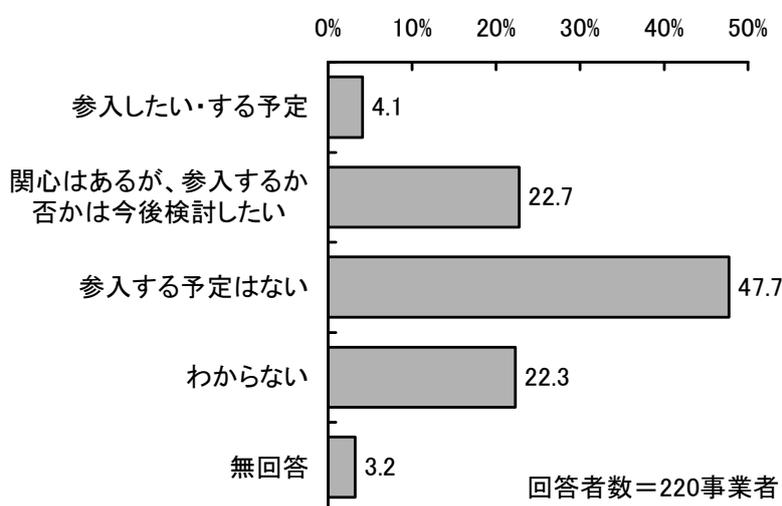
問7 「24時間対応の定期巡回・随時対応サービス」が介護保険サービスとして制度化(法内化)された場合、貴事業所では事業への参入について、どのように考えていますか。

(1つに○)

問8 「24時間対応の定期巡回・随時対応サービス」について、参入条件や課題、事業展開にあたっての意見、知りたい情報等があればご記入ください。

24時間対応の定期巡回・随時対応サービスの参入意向をみると、「参入したい・する予定」は4.1%、「関心はあるが、参入するか否かは今後検討したい」は22.7%となっている。

図表6-11 24時間対応の定期巡回・随時対応サービスの参入意向(単数回答)



(24時間対応の定期巡回・随時対応サービスに関する意見：34件より抜粋して記載)

- ・ 訪問介護員が不足しているため、事業の拡大、新規事業への参入も現状では考えようがない。
- ・ 介護職員不足が言われるのに、夜間の人材が確保できるか疑問。
- ・ 人材確保、採算等が一番の検討課題で、需要がどれだけあるのか心配だが、随時対応サービスは必要性を感じる。
- ・ 現在ある夜間対応型訪問介護も利用が少ないと聞く。採算がとれるのか。
- ・ 24時間対応する人材確保ができるような介護報酬が設定されるのか。
- ・ 人件費、採用条件等から効率的な運営が民間でも可能か否か。
- ・ 人員基準の中で、看護師が必要となるか？
- ・ 制度化の内容を知りたい。

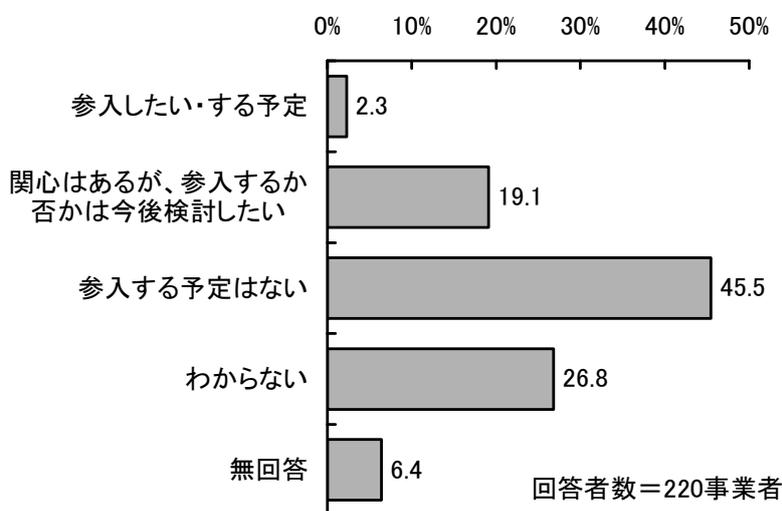
(6) 複合型サービスの参入意向

問9 小規模多機能型居宅介護と訪問看護を組み合わせるなど、複数のサービスを一体的に提供する「複合型サービス」が介護保険サービスとして制度化(法内化)された場合、貴事業所では事業への参入について、どのように考えていますか。(1つに○)

問10 「複合型サービス」について、参入条件や課題、事業展開にあたっての意見、知りたい情報等があればご記入ください。

複合型サービスの参入意向をみると、「参入したい・する予定」は2.3%、「関心はあるが、参入するか否かは今後検討したい」は19.1%となっている。

図表6-12 複合型サービスの参入意向(単数回答)



(複合型サービスに関する意見：18件より抜粋して記載)

- ・ 往診を含めた在宅医療のマンパワーが不足しているため、事業として成立するには課題が多すぎる。
- ・ 一人ひとりの職員が業務を複数兼ねなければならない状況になると思われ、その際の人員配置基準に適応できるかわからない。
- ・ 適切な運営ができるのかが課題であり、人材の確保等不安が大きい。
- ・ 個々のサービスが小規模である分、介護報酬の上乗せがないと採算ベースには乗り難い。
- ・ 利用者のかかえこみ、不必要なサービスまで提供されるのではないか。
- ・ 終末期医療に対する理解が進まないと、現場は混乱するのみ。まずは、江戸川区では「在宅で看取りができるまち」等、方針を打ち出す事が先決。

3. サービスの質の確保について

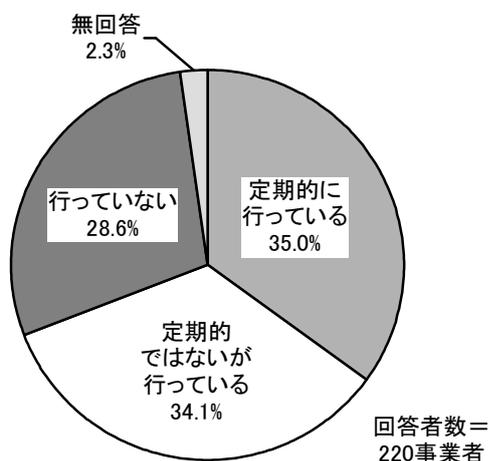
(1) 自己評価の実施状況、自己評価を行っていない理由

問 11 貴事業所では、サービスの質の自己評価を行っていますか。
行っていない場合は、その理由をお聞かせください。

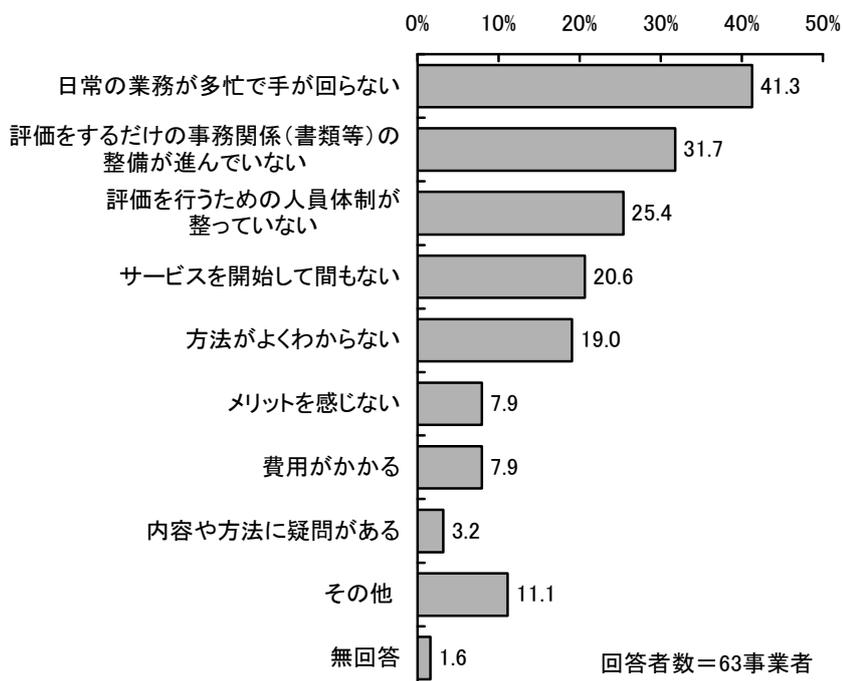
自己評価の実施状況を見ると、「定期的に行っている」35.0%、「定期的ではないが行っている」34.1%をあわせた69.1%が行っている状況である。

自己評価を行っていない理由としては、「日常の業務が多忙で手が回らない」41.3%がもっとも高く、次いで「評価をするだけの事務関係(書類等)の整備が進んでいない」31.7%、「評価を行うための人員体制が整っていない」25.4%、「サービスを開始して間もない」20.6%、「方法がよくわからない」19.0%の順となっている。

図表6-13 自己評価の実施状況(単数回答)



図表6-14 行っていない理由(複数回答)



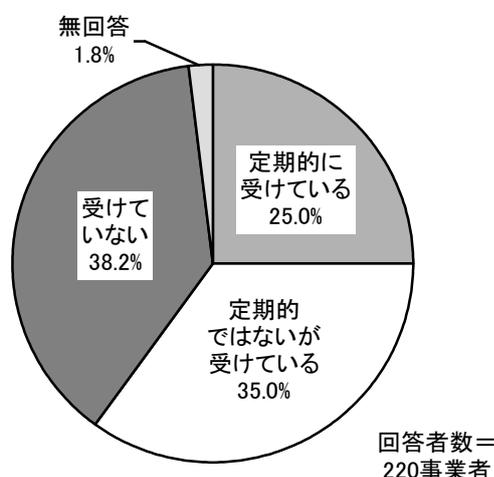
(2) 利用者評価の実施状況、利用者評価を受けていない理由

問 12 貴事業所では、利用者からサービスの質に関する評価を受けていますか。
 受けていない場合は、その理由をお聞かせください。

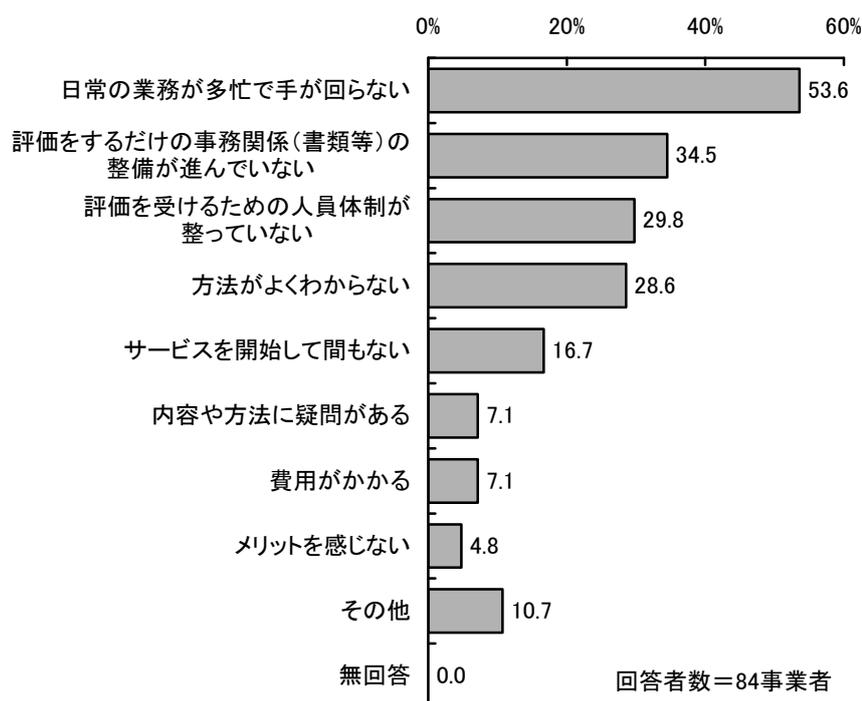
利用者評価の実施状況をみると、「定期的ではないが受けている」35.0%、「定期的に受けている」25.0%をあわせた60.0%が受けている状況である。

利用者評価を受けていない理由としては、「日常の業務が多忙で手が回らない」53.6%、「評価をするだけの事務関係（書類等）の整備が進んでいない」34.5%、「評価を受けるための人員体制が整っていない」29.8%、「方法がよくわからない」28.6%の順となっている。

図表6-15 利用者評価の実施状況(単数回答)



図表6-16 受けていない理由(複数回答)



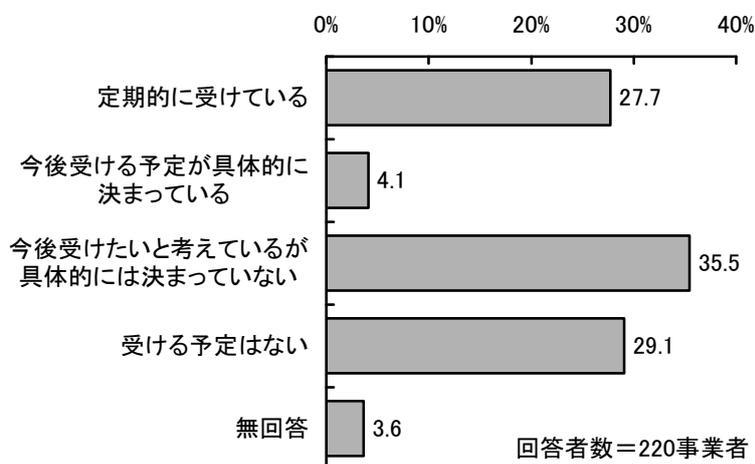
(3) 第三者評価の実施状況、第三者評価を受けていない理由

問 13 貴事業所では、第三者機関によるサービスの質に関する評価を受けていますか。
 受けていない場合は、その理由をお聞かせください。

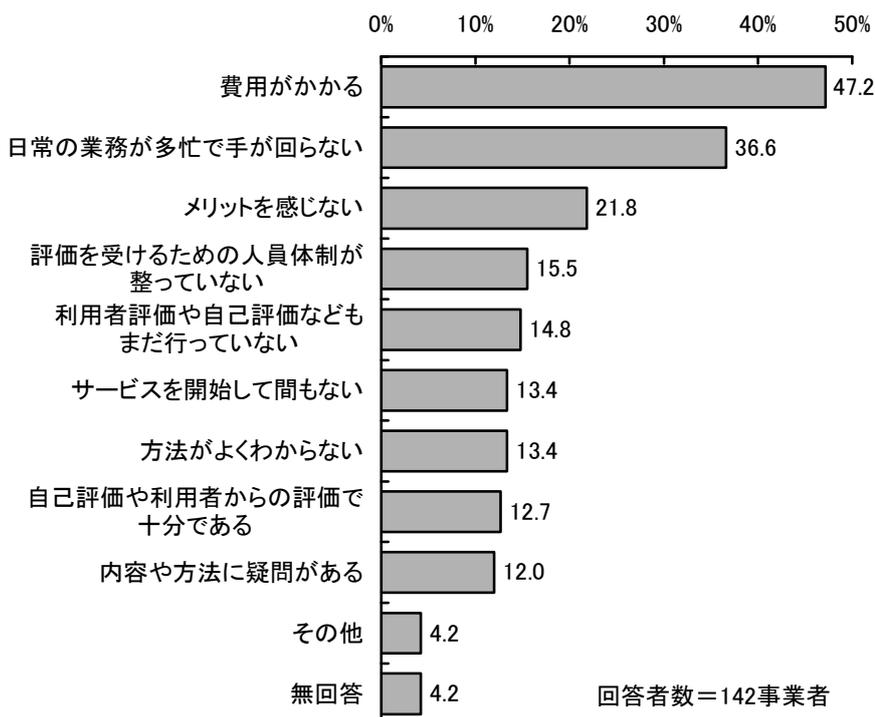
第三者評価の実施状況を見ると、「定期的を受けている」は 27.7%であり、「今後受けたいと考えているが具体的には決まっていない」35.5%がもっとも高い割合を占める。また、「受ける予定はない」が 29.1%と約 3 割を占める。

第三者評価を受けていない理由としては、「費用がかかる」47.2%がもっとも高く、次いで「日常の業務が多忙で手が回らない」36.6%、「メリットを感じない」21.8%が上位 3 項目にあげられている。

図表6-17 第三者評価の実施状況(単数回答)



図表6-18 受けていない理由(複数回答)

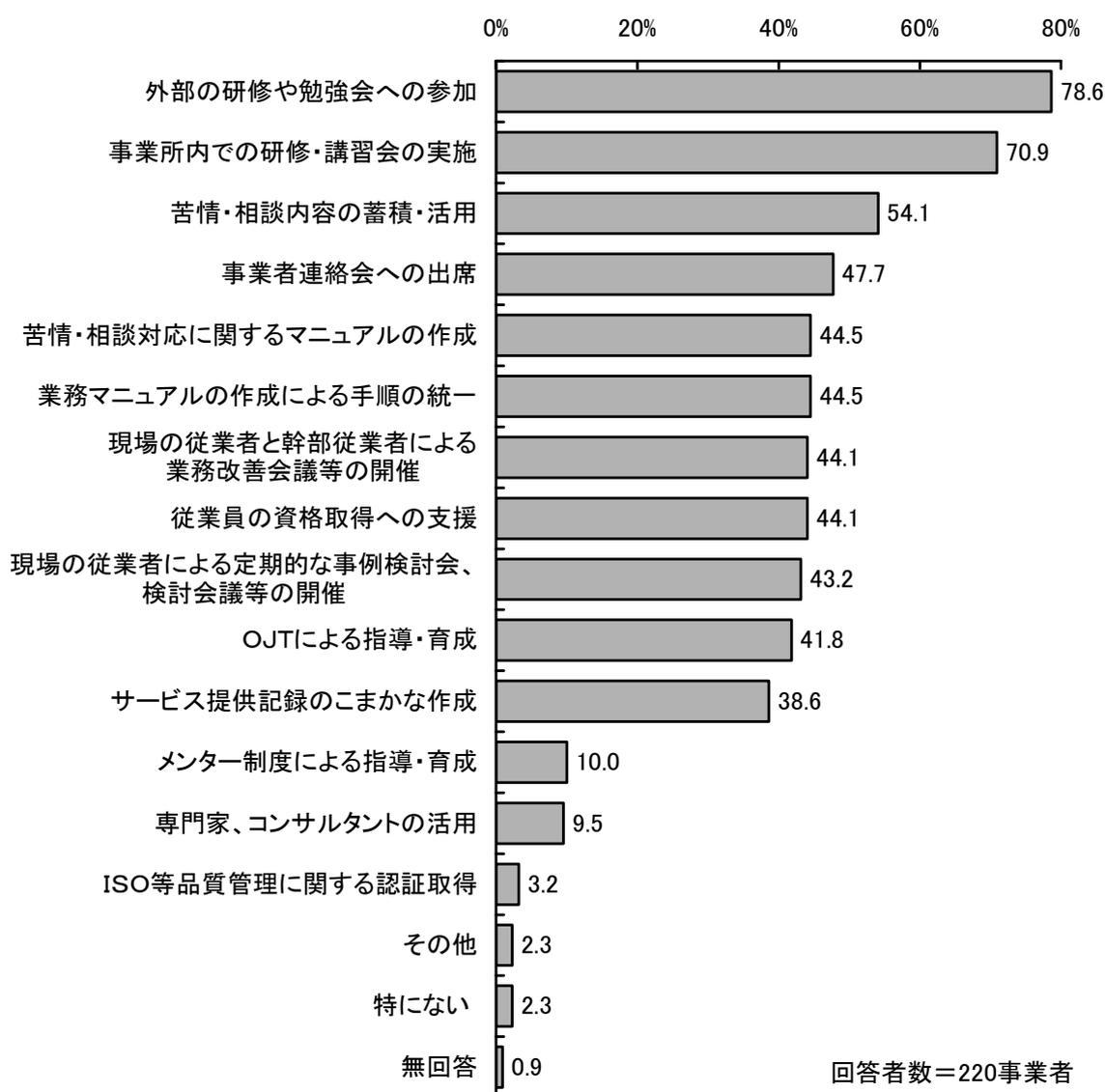


(4) 評価以外の質の向上のための取り組み状況

問 14 貴事業所では、前記以外に、どのような質の向上のための取り組みに力を入れていますか。(あてはまるものすべてに○)

評価以外の質の向上のための取り組み状況をみると、「外部の研修や勉強会への参加」78.6%、「事業所内での研修・講習会の実施」70.9%と、事業所内外での研修等は7割台の実施状況となっている。次いで、「苦情・相談内容の蓄積・活用」が54.1%で続いている。

図表6-19 評価以外の質の向上のための取り組み状況(複数回答)



※OJT：職場において、上司や先輩から具体的な仕事を通じて、職務上のトレーニング教育を受けること
 ※メンター制度：職場において、上司とは別に指導・相談役となる先輩社員が新入社員をサポートする制度

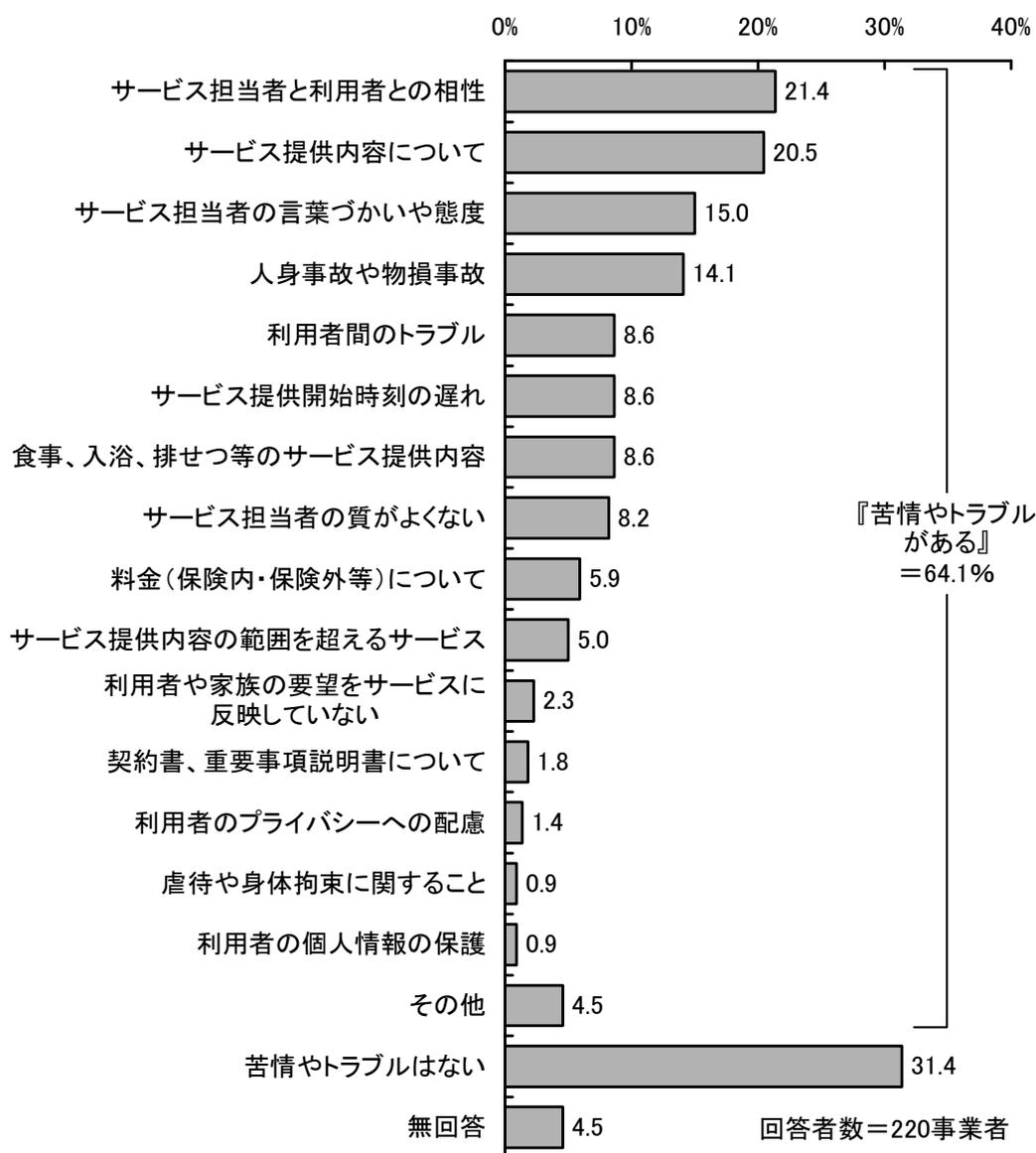
(5) 苦情やトラブルの内容、苦情やトラブルへの対応

問 15 貴事業所では、過去1年間に、利用者からの苦情やトラブルはありましたか。
 苦情やトラブルの内容とその対応をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

苦情やトラブルについてみると、「苦情やトラブルはない」が 31.4%を占め、『苦情やトラブルがある』は 64.1%となっている。

苦情やトラブルの内容としては、「サービス担当者との相性」21.4%がもっとも高く、次いで「サービス提供内容について」20.5%、「サービス担当者の言葉づかいや態度」15.0%、「人身事故や物損事故」14.1%などとなっている。

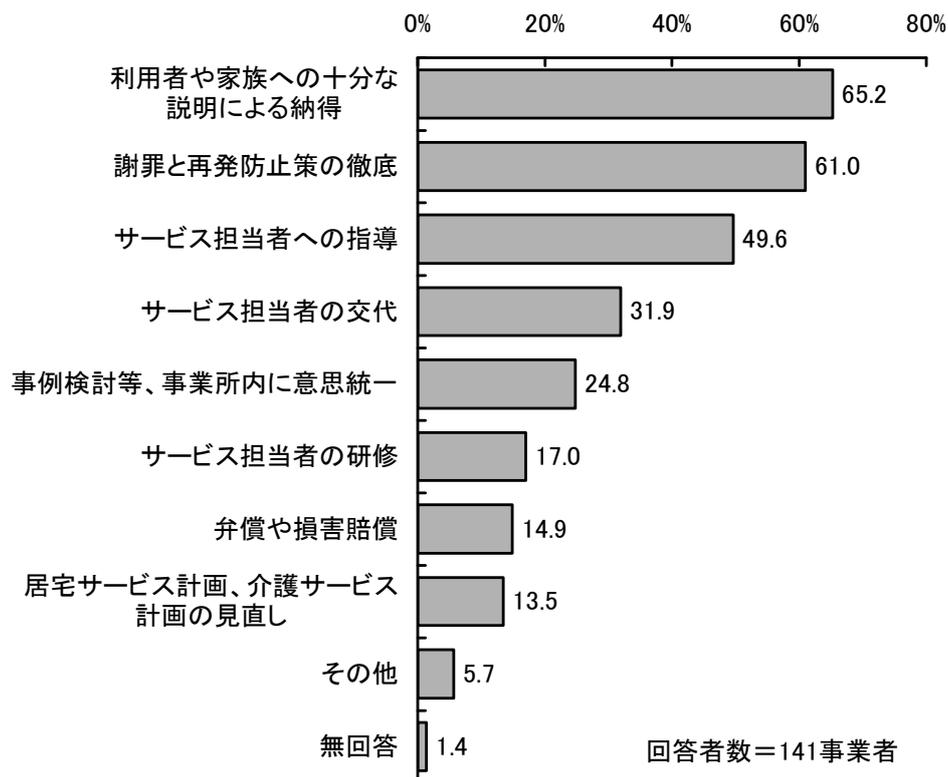
図表6-20 苦情やトラブルの内容(複数回答)



※『苦情やトラブルがある』 = 100% - 「苦情やトラブルはない」 - 「無回答」

苦情やトラブルへの対応としては、「利用者や家族への十分な説明による納得」65.2%、「謝罪と再発防止策の徹底」61.0%が6割を超えている。次いで、「サービス担当者への指導」49.6%、「サービス担当者の交代」31.9%、「事例検討等、事業所内に意思統一」24.8%などとなっている。

図表6-21 苦情やトラブルへの対応(複数回答)



(6) 医療との連携に関する課題

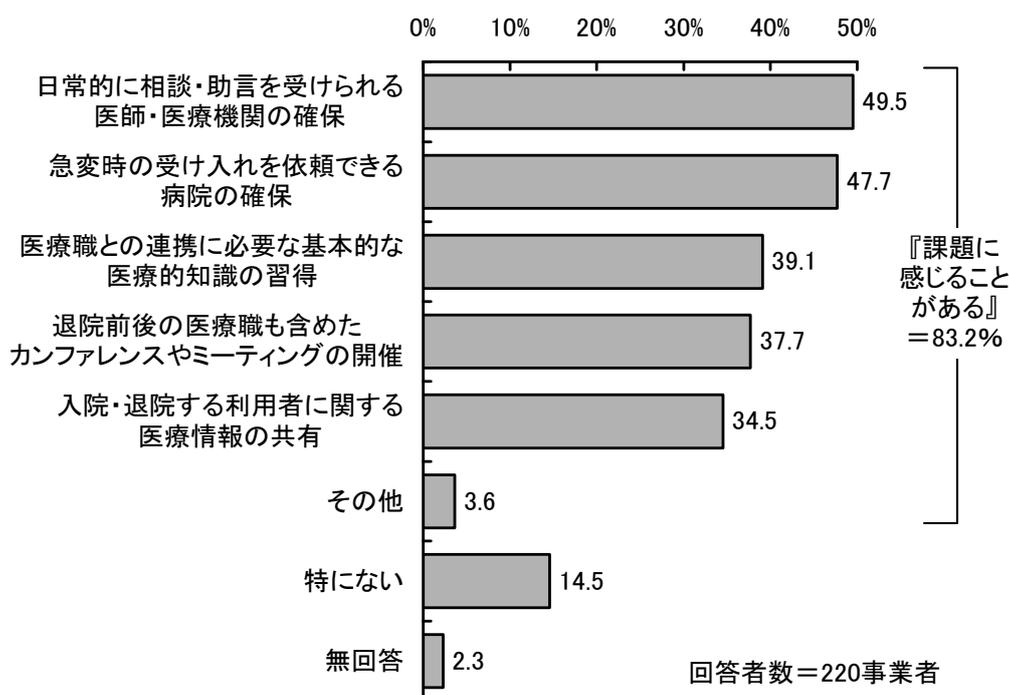
問 16 医療との連携について、課題に感じることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

医療との連携に関する課題をみると、83.2%が『課題に感じることもある』と回答している。

具体的には、「日常的に相談・助言を受けられる医師・医療機関の確保」49.5%、「急変時の受け入れを依頼できる病院の確保」47.7%が高く、「医療職との連携に必要な基本的な医療的知識の習得」39.1%、「退院前後の医療職も含めたカンファレンスやミーティングの開催」37.7%、「入院・退院する利用者に関する医療情報の共有」34.5%と続いている。

図表6-22 医療との連携に関する課題(複数回答)



※『課題に感じることもある』=100%－「特にない」－「無回答」

4. 人材の確保や雇用管理について

(1) 人材確保や雇用管理に関する課題

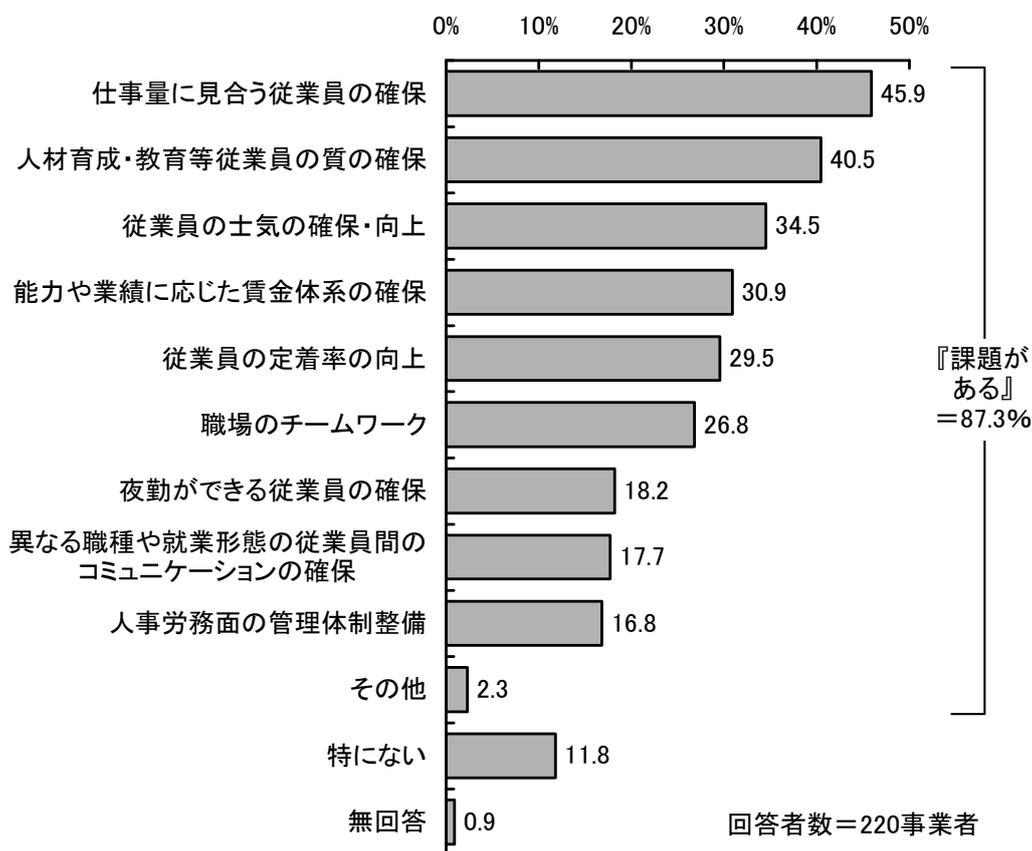
問 17 人材の確保や雇用管理について、課題となっていることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

人材確保や雇用管理に関して、『課題がある』は 87.3%となっている。

具体的には、「仕事量に見合う従業員の確保」45.9%がもっとも高く、次いで「人材育成・教育等従業員の質の確保」40.5%、「従業員の士気の確保・向上」34.5%、「能力や業績に応じた賃金体系の確保」30.9%、「従業員の定着率の向上」29.5%の順となっている。

図表6-23 人材確保や雇用管理に関する課題(複数回答)



※『課題がある』 = 100% - 「特にない」 - 「無回答」

(2) キャリアパスの設定状況、今後設ける予定の有無

問 18 貴事業所では、キャリアパスを設けていますか。(1つに○)

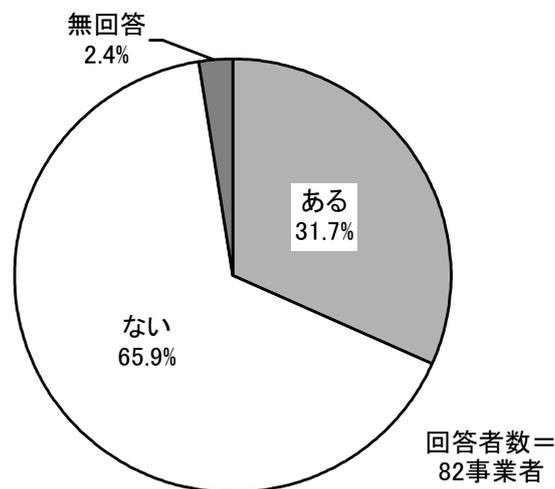
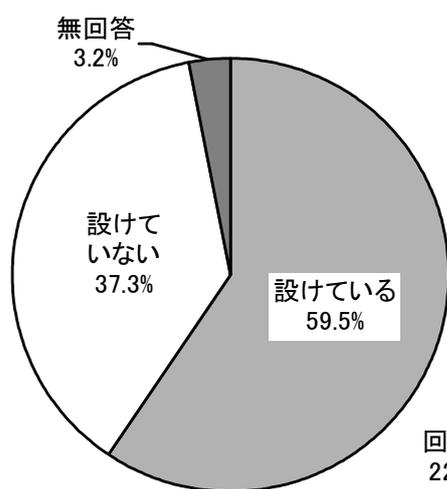
付問 「2. 設けていない」事業所におたずねします。今後設ける予定はありますか。

(1つに○)

キャリアパスを「設けている」は 59.5%、約 6 割であり、37.3%が「設けていない」と回答している。

「設けていない」と回答した事業者のうち、今後設ける予定が「ある」は 31.7%であり、「ない」が 65.9%を占める。

図表6-24 キャリアパスの設定状況(単数回答) 図表6-25 設ける予定の有無(単数回答)



(キャリアパスを設定していない理由：20件より抜粋して記載)

- ・ 職員が少なく、必要性がないように思う。
- ・ 従業員がいない、1人の事業所のため。
- ・ 開設間もないため。
- ・ 経営者の理解が得られない。
- ・ 手続きが大変。
- ・ 現在検討中。

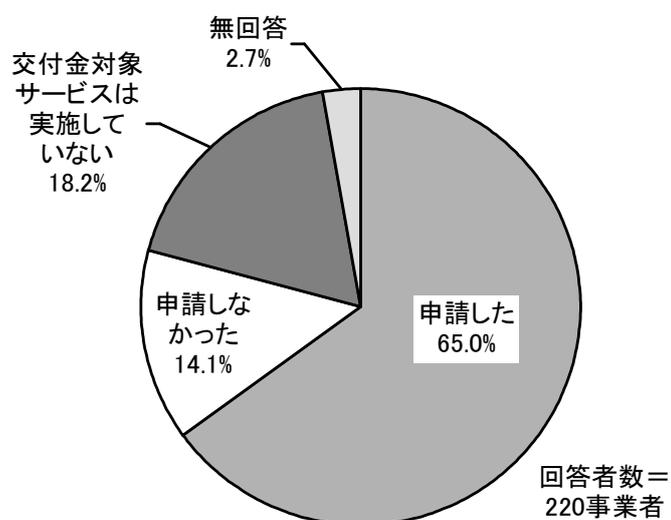
(3) 介護職員処遇改善交付金申請状況

問 19 貴事業所では、平成 22 年度の介護職員処遇改善交付金申請をしましたか。

(1つに○)

介護職員処遇改善交付金申請状況をみると、「申請した」は 65.0%であり、「申請しなかった」は 14.1%となっている。

図表6-26 介護職員処遇改善交付金申請状況(単数回答)



(交付金を申請しなかった理由：14件より抜粋して記載)

- ・ 職員が少ないため。
- ・ 気付いたのが遅かった。
- ・ 必要性を感じないため。
- ・ 申請のための事務負担が、交付金の額より大きいため。
- ・ 申請手続きが理解不可のため。
- ・ 開設したばかり（1年未満）。
- ・ 経営者の判断による。

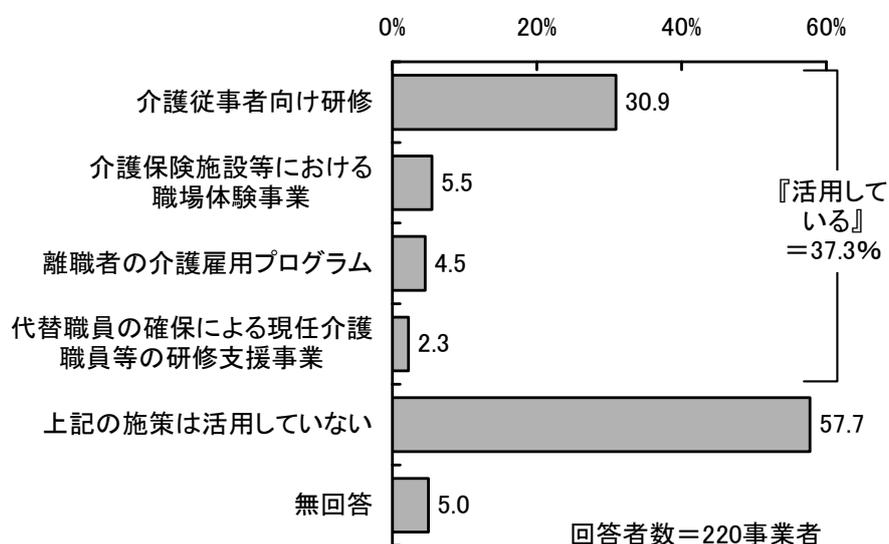
(4) 人材確保のための東京都等の施策の活用状況

問 20 貴事業所では、人材確保のために、介護職員処遇改善交付金以外に、次の東京都等の施策を活用していますか。(あてはまるものすべてに○)

人材確保のための東京都等の施策を『活用している』は37.3%となっている。

具体的には、「介護従事者向け研修」が30.9%、「介護保険施設等における職場体験事業」5.5%、「離職者の介護雇用プログラム」4.5%、「代替職員の確保による現任介護職員等の研修支援事業」2.3%となっている。

図表6-27 人材確保のための東京都等の施策の活用状況(複数回答)



※『活用している』=100%－「上記の施策は活用していない」－「無回答」

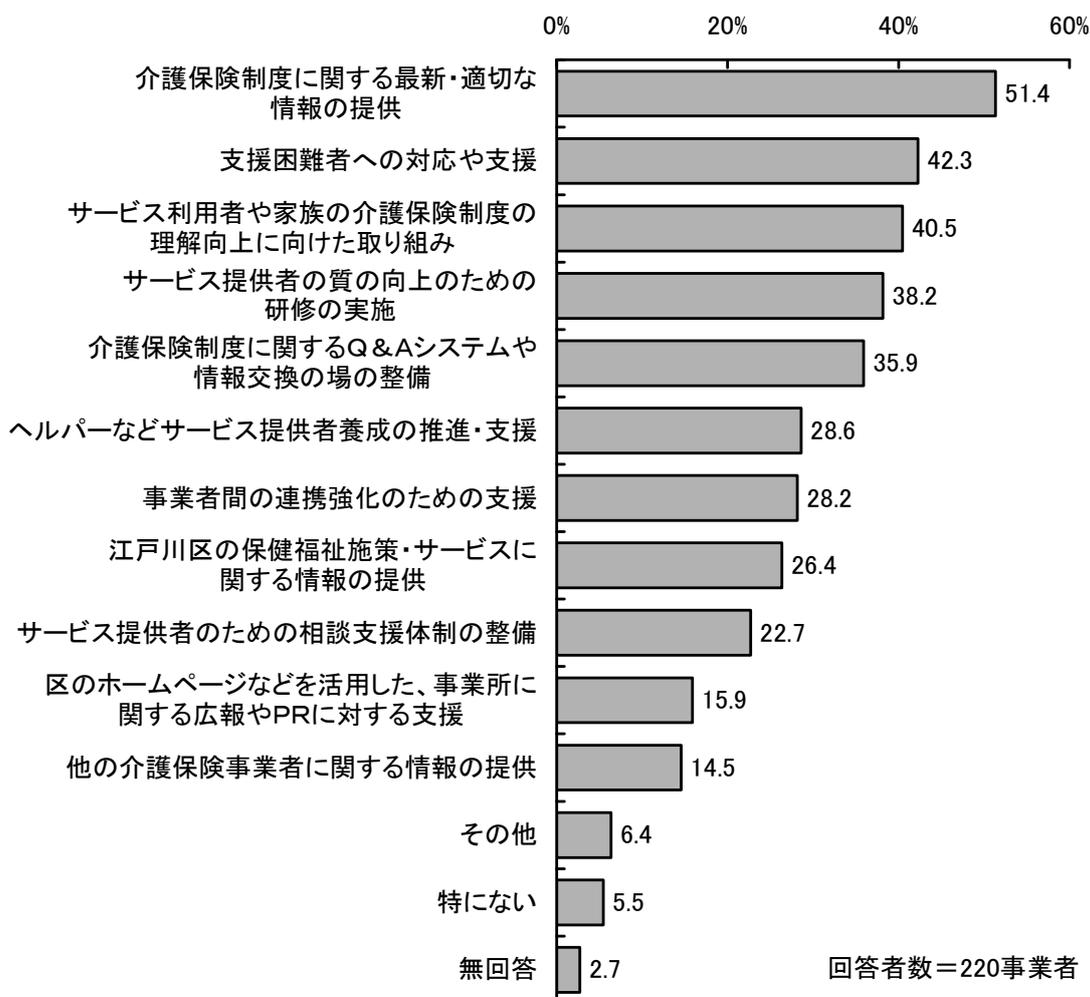
5. 区に対する要望について

(1) 区に充実・支援してほしいこと

問 21 介護サービス事業を展開する上で、江戸川区にさらに充実・支援してほしいと思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

区に充実・支援してほしいことは、「介護保険制度に関する最新・適切な情報の提供」51.4%がもっとも高い。続いて、「支援困難者への対応や支援」42.3%、「サービス利用者や家族の介護保険制度の理解向上に向けた取り組み」40.5%、「サービス提供者の質の向上のための研修の実施」38.2%、「介護保険制度に関するQ&Aシステムや情報交換の場の整備」35.9%となっており、これらが上位5項目にあげられている。

図表6-28 区に充実・支援してほしいこと(複数回答)

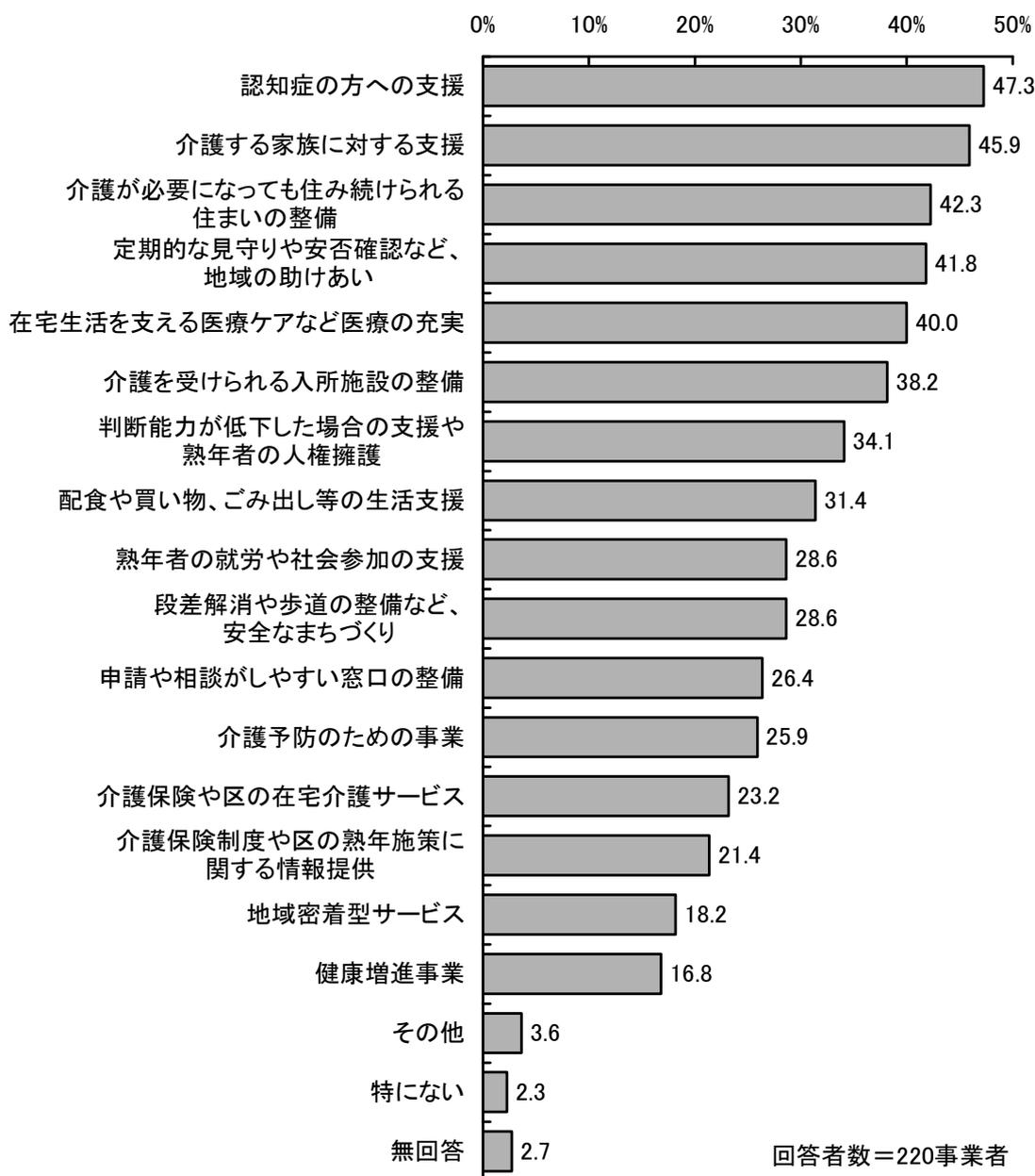


(2) 今後力を入れるべき江戸川区の熟年者施策

問 22 事業者の視点からみて、江戸川区の熟年者施策で、今後力を入れていくべきと思うものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

今後力を入れるべき江戸川区の熟年者施策は、「認知症の方への支援」47.3%がもっとも高く、「介護する家族に対する支援」45.9%、「介護が必要になっても住み続けられる住まいの整備」42.3%、「定期的な見守りや安否確認など、地域の助けあい」41.8%、「在宅生活を支える医療ケアなど医療の充実」40.0%が、いずれも4割台で続いている。

図表6-29 今後力を入れるべき江戸川区の熟年者施策(複数回答)



(3) 区への意見・要望

最後に、江戸川区が熟年者の保健福祉施策や介護保険事業を推進していくにあたり、ご意見等がありましたら、自由にご記入ください。

(28 件より抜粋して記載)

- ・ 孤独死、行方不明高齢者が問題となり、地域コミュニケーションが失われている昨今、独居高齢者、老々介護の実態を把握し、地域で問題解決できるよう地域のきずなを強化したい。そのためには、地域力のプロジェクトを小さな芽活動的に実施する必要がある。区にはもっとその先頭に立ち、本来の福祉行政政策を行い、思いやりのある温かい社会をつくって頂きたい。
- ・ 認定結果を早く出せるように、また、結果の問い合わせに対して具体的な返答を家族に対してもケアマネジャーに対しても行って頂きたい。
- ・ 介護をしている人の精神的な支えだけで、今の介護保険事業は成り立っている。今必要なのはハード（建物）ではなく、ソフト（人）である。
- ・ 医療福祉の連携の場を多くつくってほしい。また、医療に対して、福祉の実情などもっと知ってほしい。医師があまり福祉のことを知らないことが多い。
- ・ 通所介護の事業者連絡会が必要。情報交換や勉強会を全事業所が行うことが、サービスの質の向上に必ずつながるし、江戸川区の利益にもなるはず。
- ・ 利用者は、ヘルパーのことをお手伝い感覚に思う人がまだ多い。区として、介護保険の利用に関する説明や、わかりやすく細かい部分も説明されている資料を作成してほしい。
- ・ 事業者、従業員の教育、指導をもっと行ってほしい。
- ・ 地域の方にどんなサービスがあって、どんな事をしているのかを知ってもらえる機会を設けてほしい。
- ・ 各区で対応が違う部分があるので、江戸川区としての考え、方針など示したものがあるとよい（訪問介護、居宅介護支援サービス）。
- ・ 予防事業に力を入れるとともに、コストがかかる施設からの脱却をはかるためにも、区民一人ひとりの意識を変えるような働きかけをして頂きたい。
- ・ 困難事例の支援について、安心して援助できるように各機関が協力して取り組んでほしい。

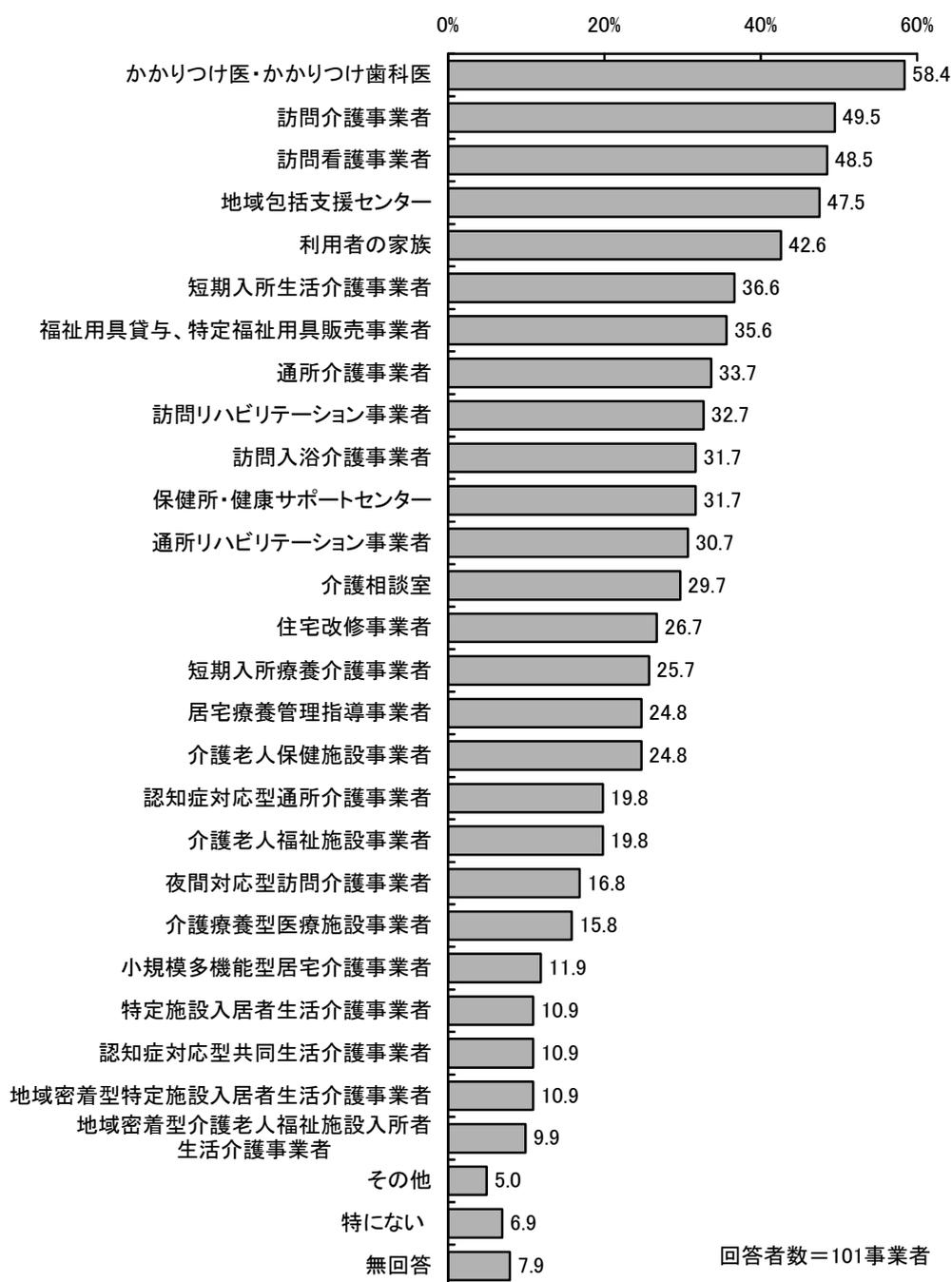
6. 居宅介護支援事業について（居宅介護支援事業者向け設問）

(1) 連絡調整や連携が上手くいくと業務が円滑に進むと感じる事業者

問 23 江戸川区で連絡調整や連携が上手くいくと業務が円滑に進むと感じる事業者や関連機関等がありますか。(あてはまるものすべてに○)

居宅介護支援事業者が、連絡調整や連携が上手くいくと業務が円滑に進むと感じる事業者は、「かかりつけ医・かかりつけ歯科医」58.4%がもっとも高く6割近くがあげている。次いで、「訪問介護事業者」49.5%、「訪問看護事業者」48.5%、「地域包括支援センター」47.5%、「利用者の家族」42.6%が4割台で続いている。

図表6-30 連絡調整や連携が上手くいくと業務が円滑に進むと感じる事業者(複数回答)

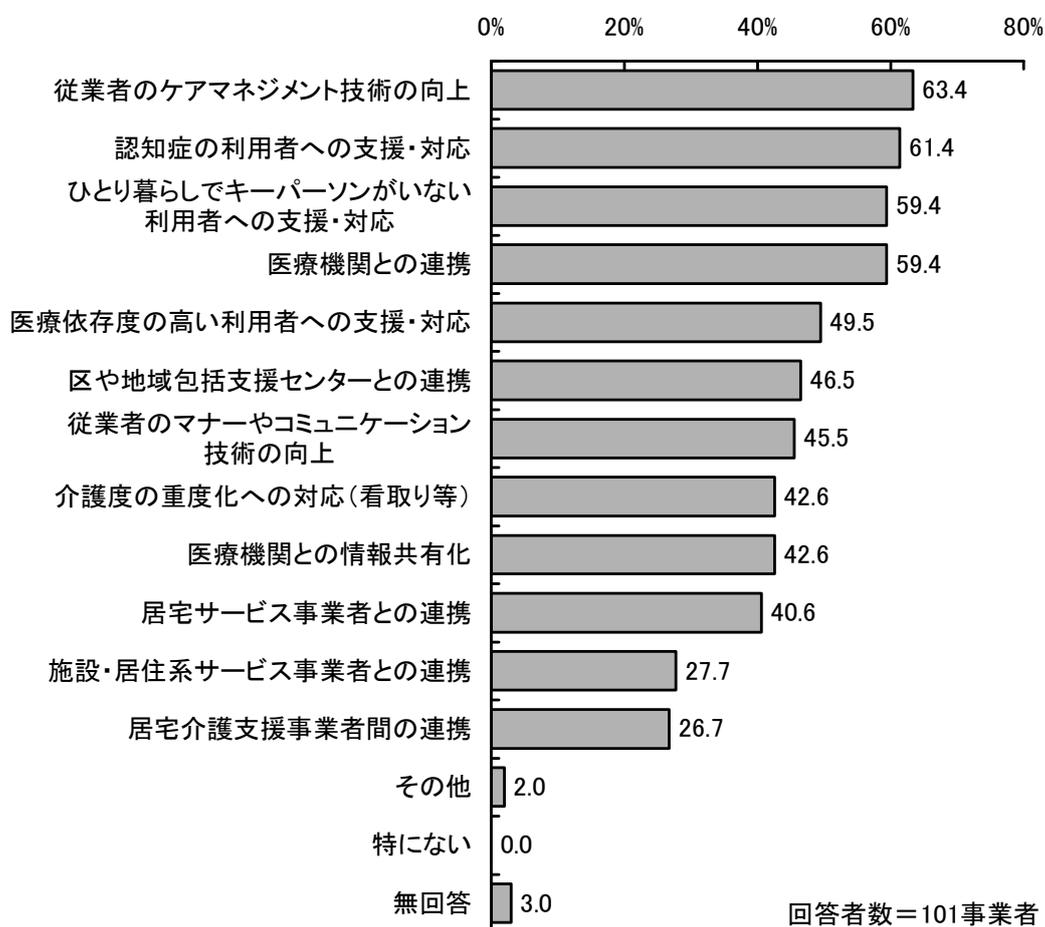


(2) 質の高いサービスを提供するために必要な取り組み

問 24 貴事業所では、より質の高いサービス提供を行うために、今後、どのような取り組みに力を入れる必要があると考えていますか。(あてはまるものすべてに○)

居宅介護支援事業者が質の高いサービスを提供するために必要と考える取り組みは、「従業員のケアマネジメント技術の向上」63.4%、「認知症の利用者への支援・対応」61.4%、「ひとり暮らしでキーパーソンがいない利用者への支援・対応」「医療機関との連携」各59.4%、「医療依存度の高い利用者への支援・対応」49.5%、「区や地域包括支援センターとの連携」46.5%の順となっている。

図表6-31 質の高いサービスを提供するために必要な取り組み(複数回答)



7. 居宅サービス事業について

(居宅サービス・地域密着型サービス事業者向け設問)

(1) 居宅介護支援事業者について問題と感ずること

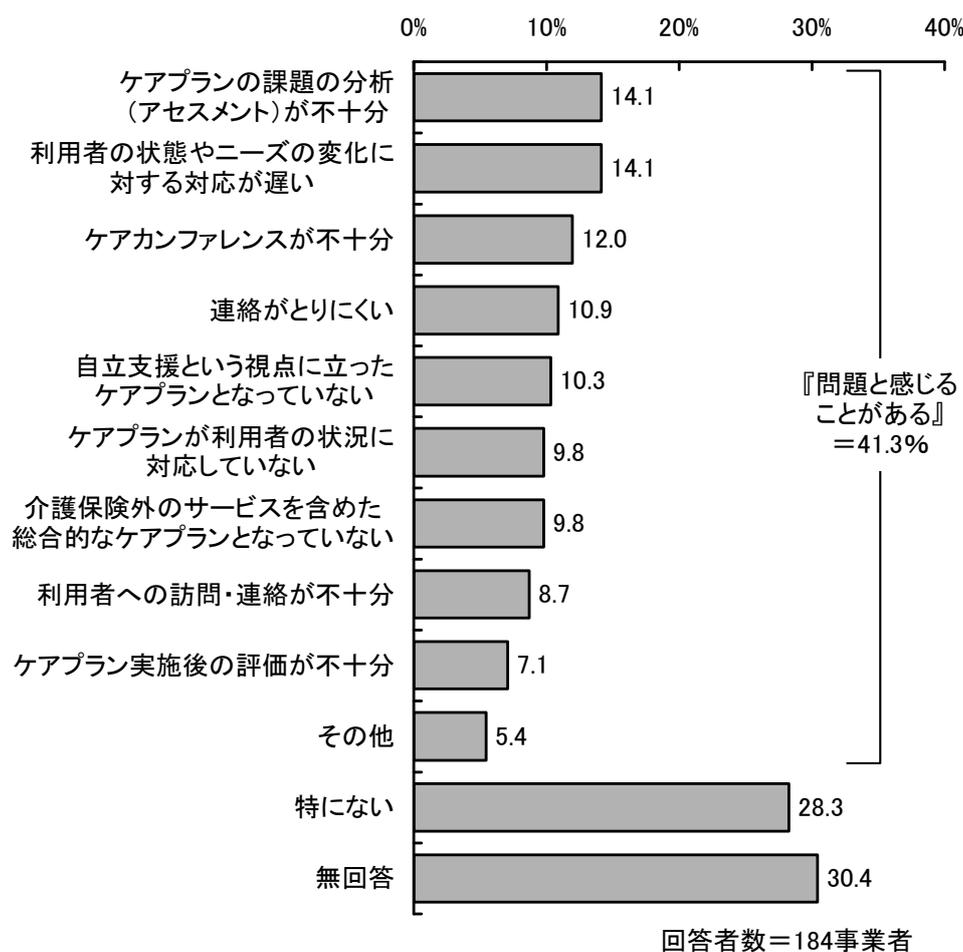
問 25 居宅介護支援事業者のケアマネジメントの対応で、問題と感ずることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

居宅サービス・地域密着型サービス事業者の 41.3%が、居宅介護支援事業者のケアマネジメントの対応で『問題と感ずることがある』と回答している。

具体的には、「ケアプランの課題の分析（アセスメント）が不十分」「利用者の状態やニーズの変化に対する対応が遅い」が各 14.1%、「ケアカンファレンスが不十分」が 12.0%、「連絡がとりにくい」が 10.9%、「自立支援という視点に立ったケアプランとなっていない」が 10.3%となっている。

図表6-32 居宅介護支援事業者について問題と感ずること(複数回答)



※『問題と感ずることがある』 = 100% - 「特にない」 - 「無回答」

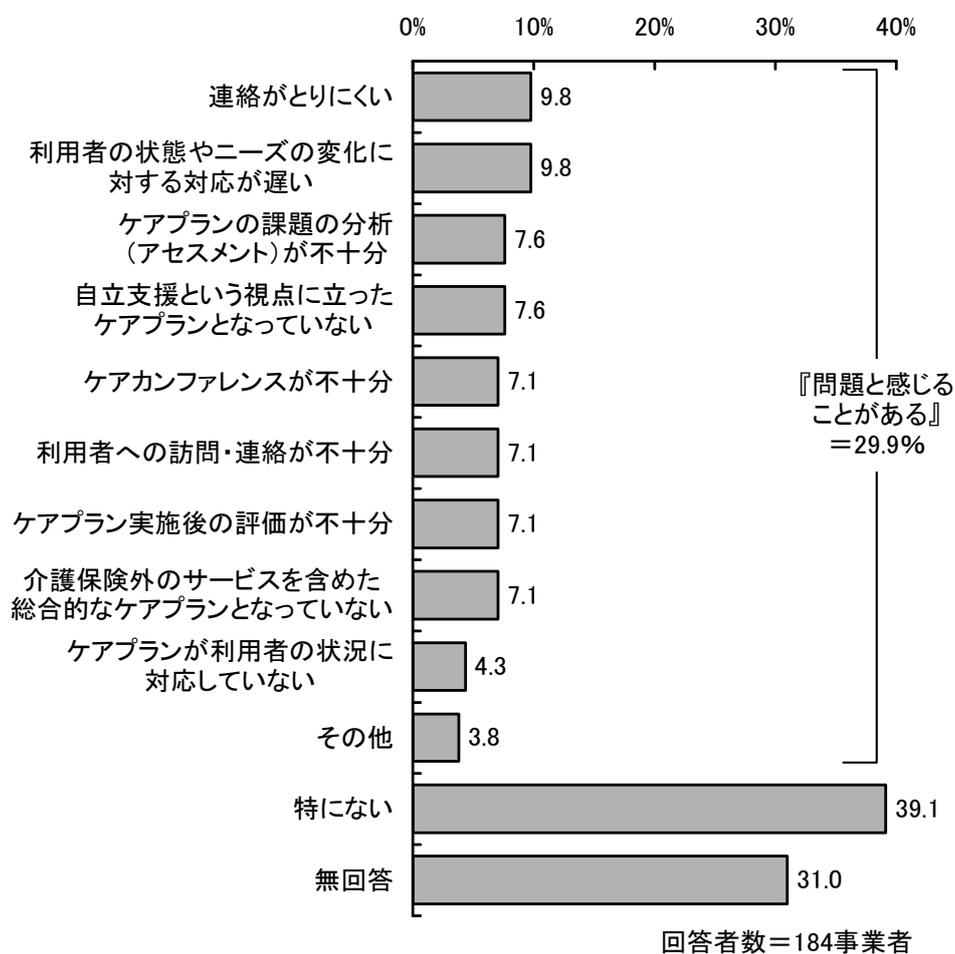
(2) 地域包括支援センターについて問題と感ずること

問 26 地域包括支援センターのケアマネジメントの対応で、問題と感ずることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

居宅サービス・地域密着型サービス事業者の 29.9%が、地域包括支援センターのケアマネジメントの対応で『問題と感ずることがある』と回答している。

具体的には、「連絡がとりにくい」「利用者の状態やニーズの変化に対する対応が遅い」が各 9.8%、「ケアプランの課題の分析（アセスメント）が不十分」「自立支援という視点に立ったケアプランとなっていない」各 7.6%などとなっている。

図表6-33 地域包括支援センターについて問題と感ずること(複数回答)



※『問題と感ずることがある』 = 100% - 「特にない」 - 「無回答」

(3) 地域包括支援センターに対する意見・要望

問 27 地域包括支援センターに対するご意見・ご要望等がありましたら、自由にご記入ください。

(17 件より抜粋して記載)

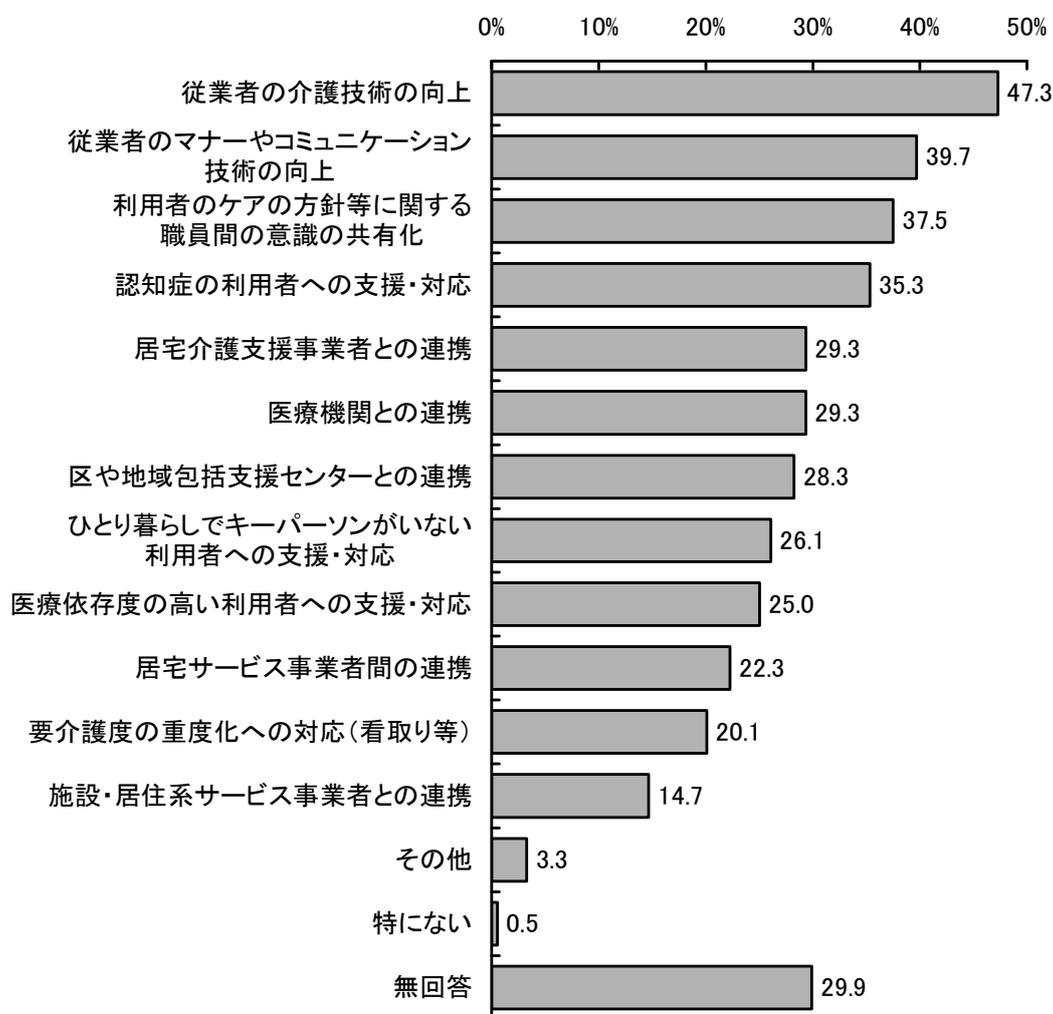
- ・ 予防プランにおいて、目標の視点が現在の生活とかけ離れている。週に 1 回訪問する訪問介護に、その目標に向かってどのような支援を盛り込めば良いのか戸惑いを感じる。
- ・ 地域の実情を熟知している職員が少なすぎる。単なるデータの取りまとめ役になっている。業務を整理して、本来の地域支援ができる人員を業務にあててほしい。
- ・ もっと現場で、ともに生活主体の相談にのってもらいたい。同じ目線で共に解決する姿勢が不足がちで、上からの目線で指導的立場に立っている方々が多すぎる。
- ・ 気軽に相談できる、そして専門分野の回答が得られる専門家を常駐してほしい。特に医療系（PT、OT）、住環境、福祉用具。
- ・ 公正、中立な立場で、各事業所と公平な関係を保持すること。
- ・ センターにより温度差がありすぎる。
- ・ 相談をしやすい窓口にしてほしい。
- ・ センターや職員を増やし、委託をなるべくしないようにしてほしい。
- ・ 事務的で介護現場の状況をつかんでいない。
- ・ 予防プランに忙殺されているように見受けられる。地域の相談機能の場となってほしい（住民及び事業者の）。

(4) 質の高いサービスを提供するために必要な取り組み

問 28 貴事業所では、より質の高いサービス提供を行うために、今後、どのような取り組みに力を入れる必要があると考えていますか。(あてはまるものすべてに○)

居宅サービス・地域密着型サービス事業者が質の高いサービスを提供するために必要と考える取り組みとしては、「従業員の介護技術の向上」47.3%がもっとも高く、「従業員のマナーやコミュニケーション技術の向上」39.7%、「利用者のケアの方針等に関する職員間の意識の共有化」37.5%、「認知症の利用者への支援・対応」35.3%、「居宅介護支援事業者との連携」「医療機関との連携」各29.3%と続いている。

図表6-34 質の高いサービスを提供するために必要な取り組み(複数回答)



回答者数=184事業者

8. 施設・居住系サービス事業について

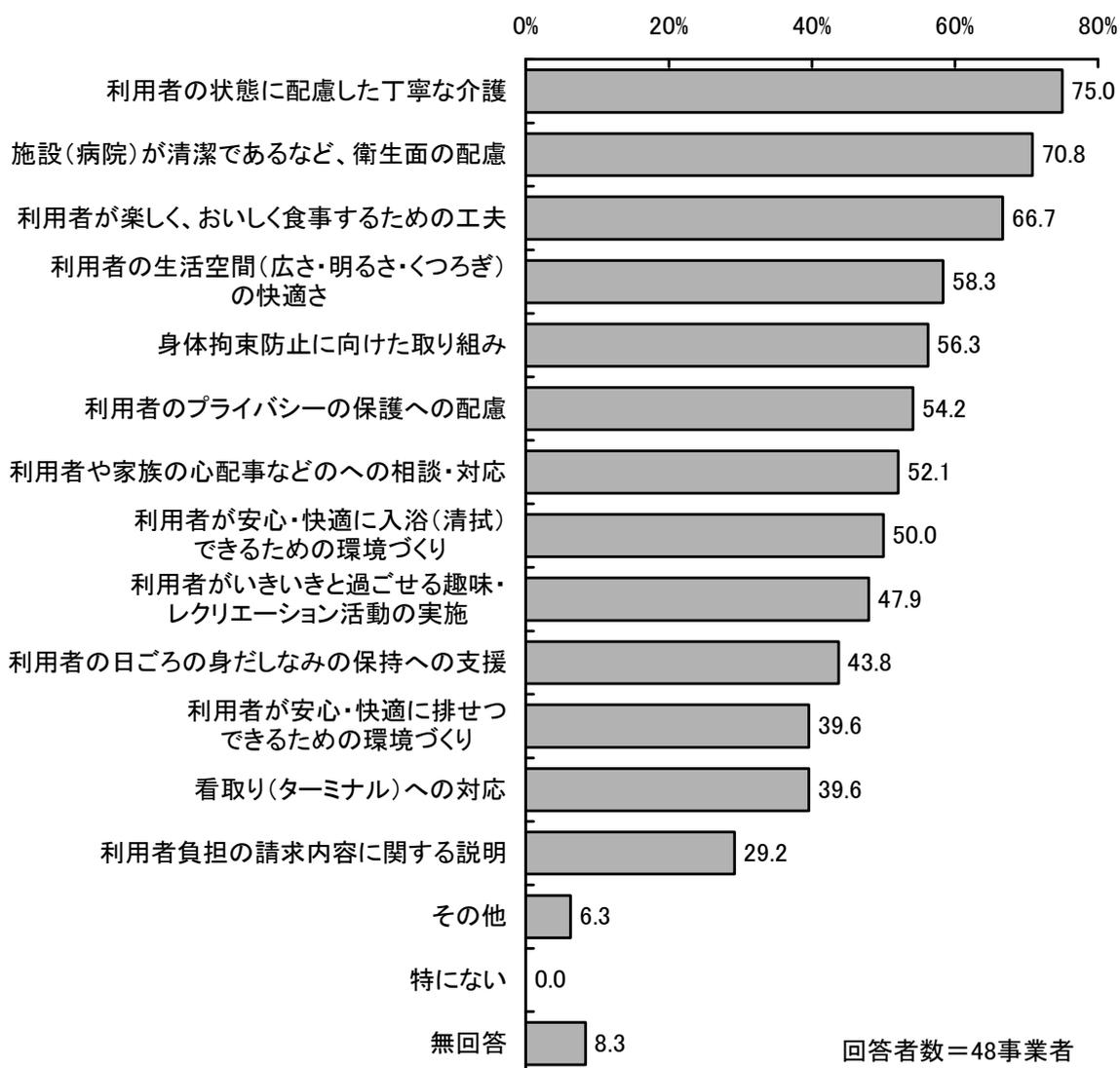
(施設・居住系サービス事業者向け設問)

(1) 力を入れている取り組み

問 29 利用者の生活への支援や対応において、貴事業所が力を入れていることは次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

施設・居住系サービス事業者が力を入れている取り組みをみると、「利用者の状態に配慮した丁寧な介護」「施設（病院）が清潔であるなど、衛生面の配慮」「利用者が楽しく、おいしく食事するための工夫」が6割を超え、「利用者の生活空間（広さ・明るさ・くつろぎ）の快適さ」「身体拘束防止に向けた取り組み」「利用者のプライバシーの保護への配慮」「利用者や家族の心配事などのへの相談・対応」「利用者が安心・快適に入浴（清拭）できるための環境づくり」が5割台となっている。

図表6-35 力を入れている取り組み(複数回答)



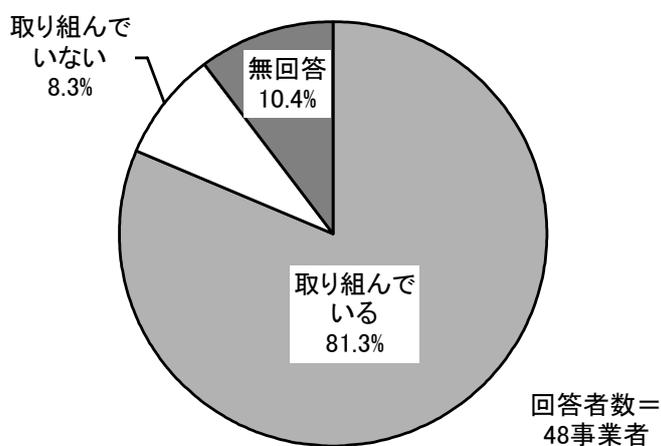
(2) 虐待を防止するための取り組み状況

問 30 貴事業所では、利用者への虐待を防止するための取り組みをしていますか。

(1つに○)

施設・居住系サービス事業者の虐待を防止するための取り組み状況は、「取り組んでいる」が81.3%を占める。「取り組んでいない」は8.3%となっている。

図表6-36 虐待を防止するための取り組み状況(単数回答)



(虐待を防止するための取り組み内容：41件より抜粋して記載)

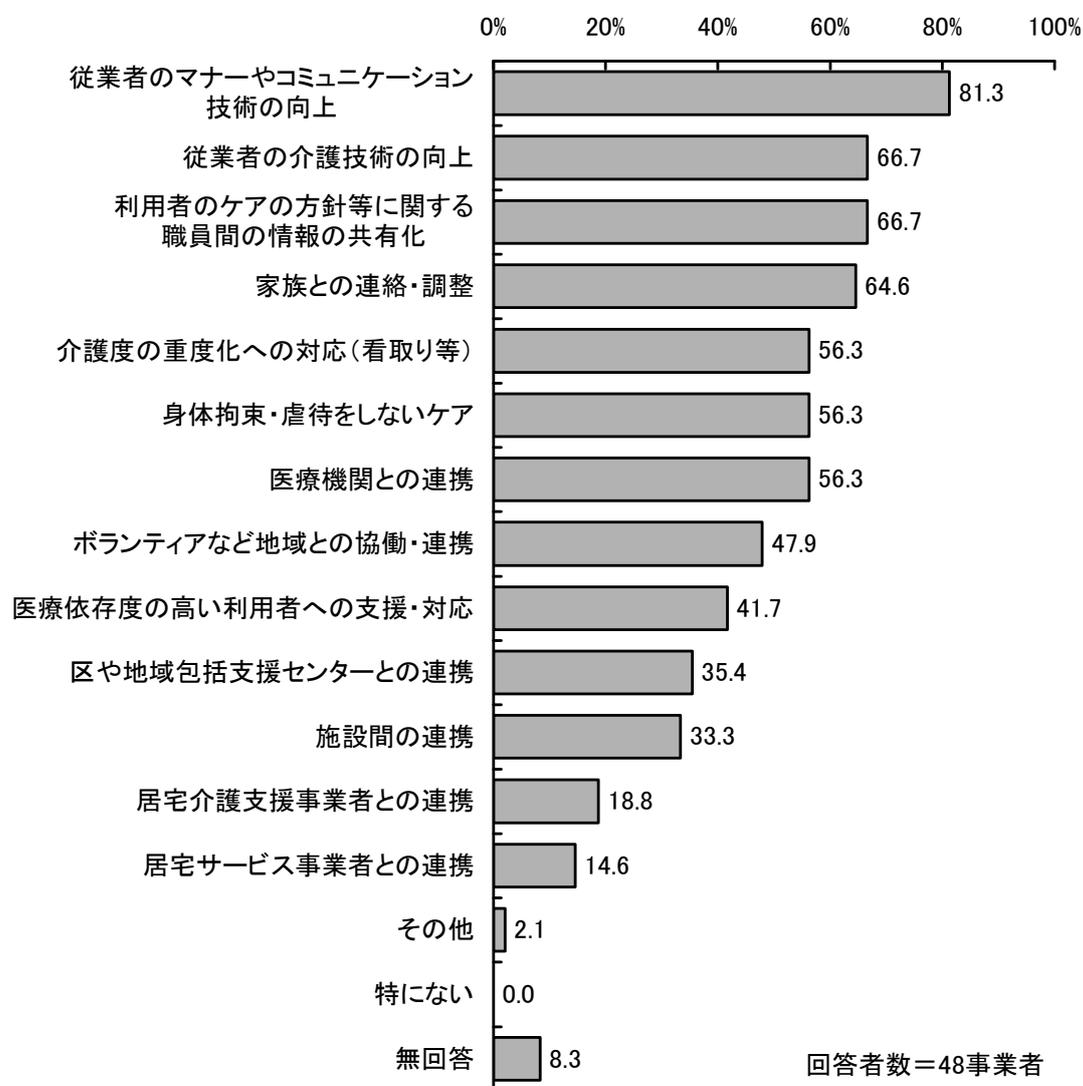
- ・ 定期的なカンファレンス、研修等による職員教育。
- ・ 事業所内で勉強会を行っている。
- ・ 毎月1回、処遇会議及び安全委員会を設け、検討、改善を実施している。
- ・ マニュアルを作成し、いつでも確認できるようにしている。
- ・ 虐待事例の共有化・検討を実施。
- ・ 環境面について、拘束に繋がらないように配慮。
- ・ 定期的な利用者への聞き取り調査。
- ・ 入浴時には、身体に損傷があるか否かを常に確認することを義務化している。
- ・ 研修、入社時におけるオリエンテーションの実施。社員相談窓口の設置。
- ・ 外部の相談機関と契約し、職員が悩み事を相談できる体制を整えた（ストレスの低下）。
- ・ 関連事業所との情報共有の強化。

(3) 質の高いサービスを提供するために必要な取り組み

問 31 貴事業所では、より質の高いサービス提供を行うために、今後、どのような取り組みに力を入れる必要があると考えていますか。(あてはまるものすべてに○)

施設・居住系サービス事業者が質の高いサービスを提供するために必要と考える取り組みは、「従業員のマナーやコミュニケーション技術の向上」がもっとも高く 8 割台である。次いで、「従業員の介護技術の向上」「利用者のケアの方針等に関する職員間の情報の共有化」「家族との連絡・調整」が 6 割台、「介護度の重度化への対応（看取り等）」「身体拘束・虐待をしないケア」「医療機関との連携」が 5 割台で続いている。

図表6-37 質の高いサービスを提供するために必要な取り組み(複数回答)



第 7 章

介護支援専門員調査

< 調 査 概 要 >

調査方法	郵送配付、郵送回収
調査対象者	NPO法人江戸川区ケアマネジャー協会に加入し、介護支援専門員として従事している会員
抽出元	NPO法人江戸川区ケアマネジャー協会会員名簿
調査期間	平成23年1月11日～1月31日
対象者数 及び 回収率	対象者数：381 有効回収数：244 有効回収率：64.0%

1. 勤務先の概要

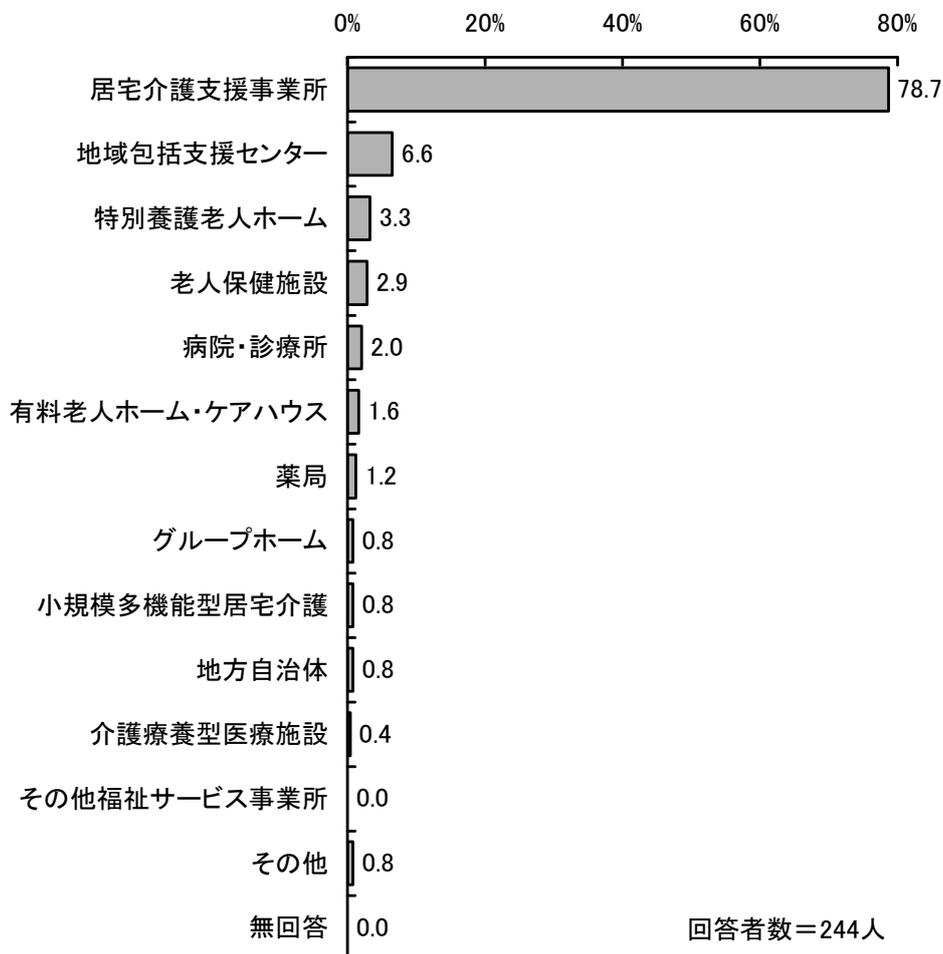
(1) 勤務先

問2 あなたのお勤め先等について、おうかがいします。

(1) 介護支援専門員としてのお勤め先等は、どちらですか。(1つに○)

勤務先は、「居宅介護支援事業所」が78.7%と8割近くを占める。次いで、「地域包括支援センター」6.6%、「特別養護老人ホーム」3.3%、「老人保健施設」2.9%の順となっている。

図表7-1 勤務先(単数回答)



(2)勤務地及び法人形態

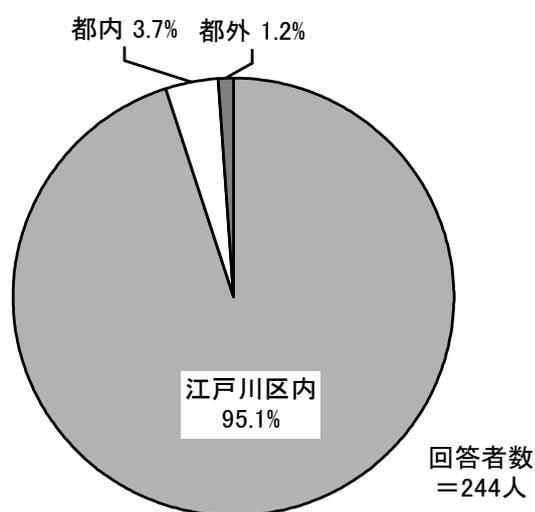
問 2(2)勤務地はどちらですか。(1つに○)

問 2(3)お勤め先の法人形態は、次のどれにあてはまりますか。(1つに○)

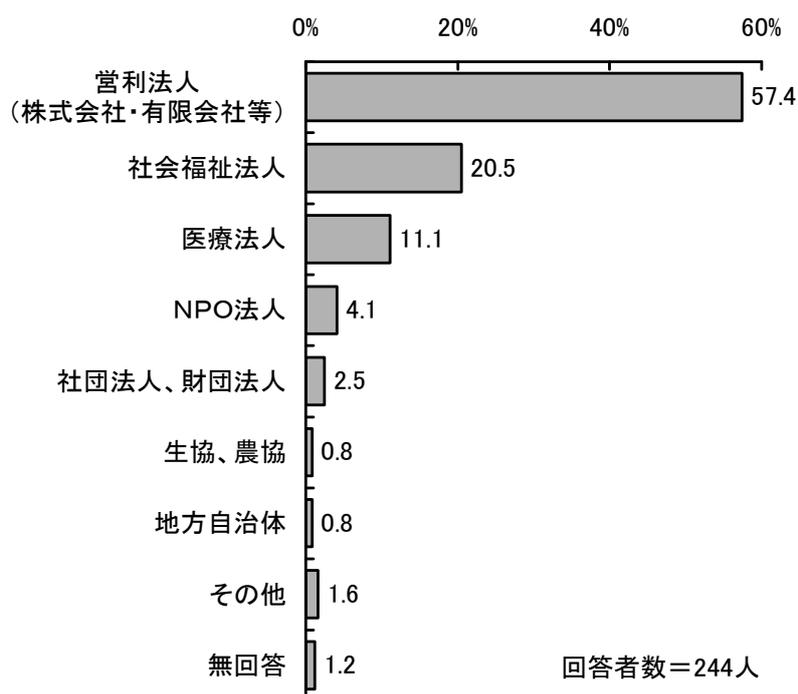
勤務地は、「江戸川区内」が95.1%を占める。

勤務先の法人形態は、「営利法人（株式会社・有限会社等）」57.4%がもっとも高く、次いで「社会福祉法人」20.5%、「医療法人」11.1%、「NPO法人」4.1%の順となっている。

図表7-2 勤務地(単数回答)



図表7-3 勤務先の法人形態(単数回答)



(3) 勤務先の併設事業の有無

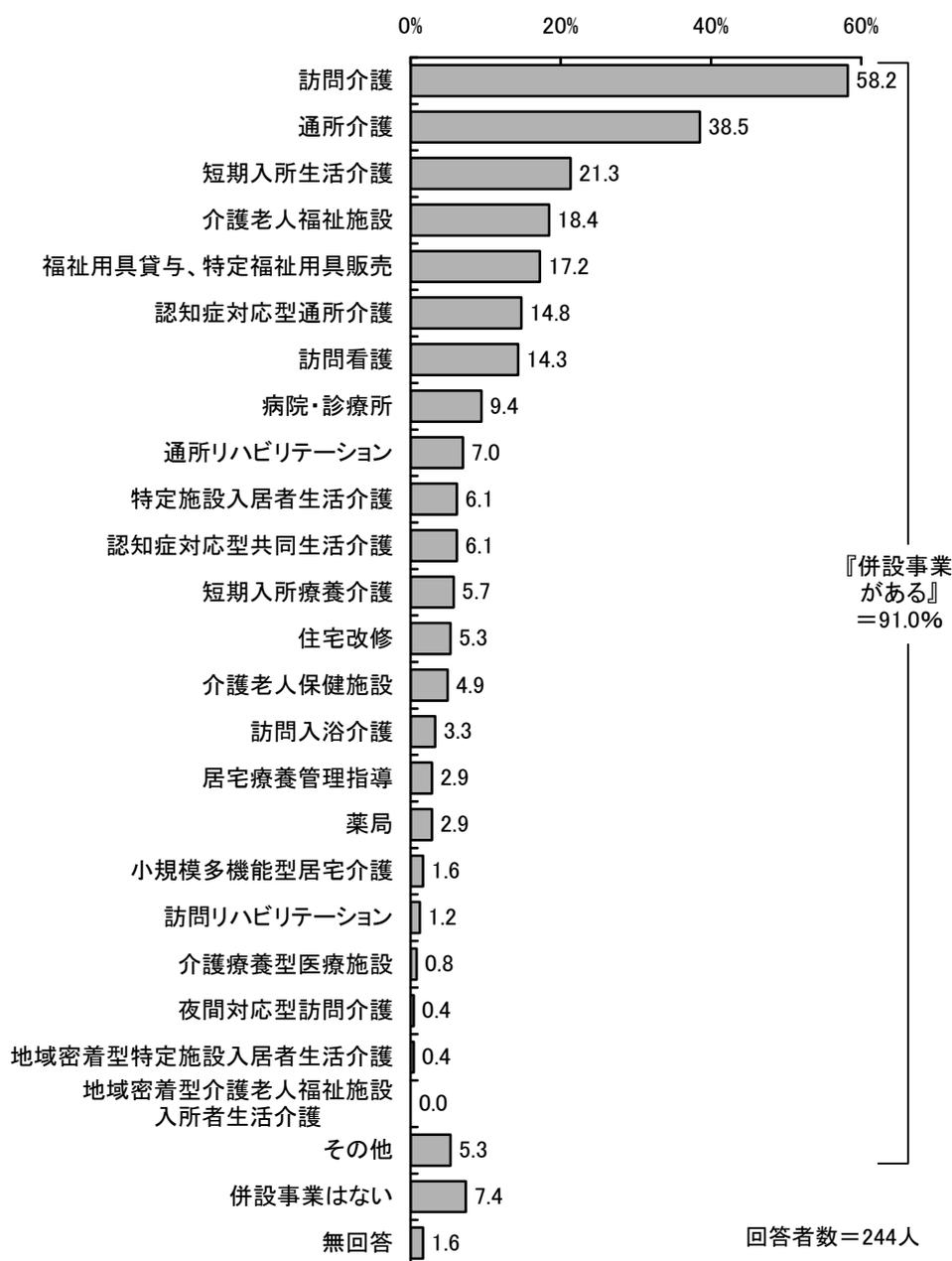
問3 あなたのお勤め先の事業所は、どのような介護サービス等を併設していますか。

(あてはまるものすべてに○)

勤務先の併設事業の有無をみると、「併設事業はない」は7.4%であり、91.0%が『併設事業がある』事業所に勤務していると回答している。

併設事業としては、「訪問介護」58.2%がもっとも高く、次いで「通所介護」38.5%、「短期入所生活介護」21.3%、「介護老人福祉施設」18.4%、「福祉用具貸与、特定福祉用具販売」17.2%、「認知症対応型通所介護」14.8%、「訪問看護」14.3%などとなっている。

図表7-4 勤務先の併設事業の有無(複数回答)



※『併設事業がある』 = 100% - 「併設事業はない」 - 「無回答」

2. 基本的属性

(1) 本人の性別、現在の満年齢

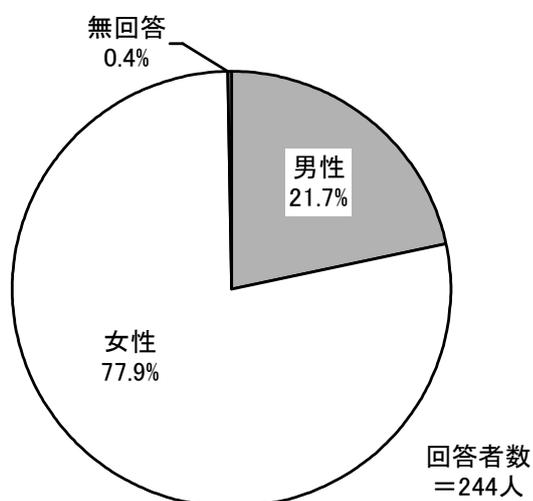
問1 あなたの性別と平成23年1月1日現在の満年齢をお答えください。

(それぞれ1つに○)

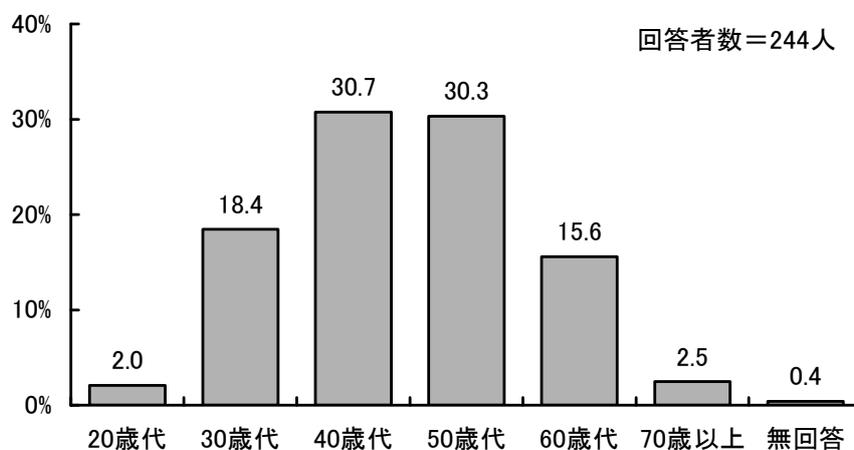
性別は、「男性」が21.7%であり、「女性」が77.9%を占める。

年齢は、「40歳代」30.7%、「50歳代」30.3%であり、40～50歳代が約6割を占める。次いで、「30歳代」18.4%、「60歳代」15.6%となっている。

図表7-5 性別(単数回答)



図表7-6 年齢(単数回答)



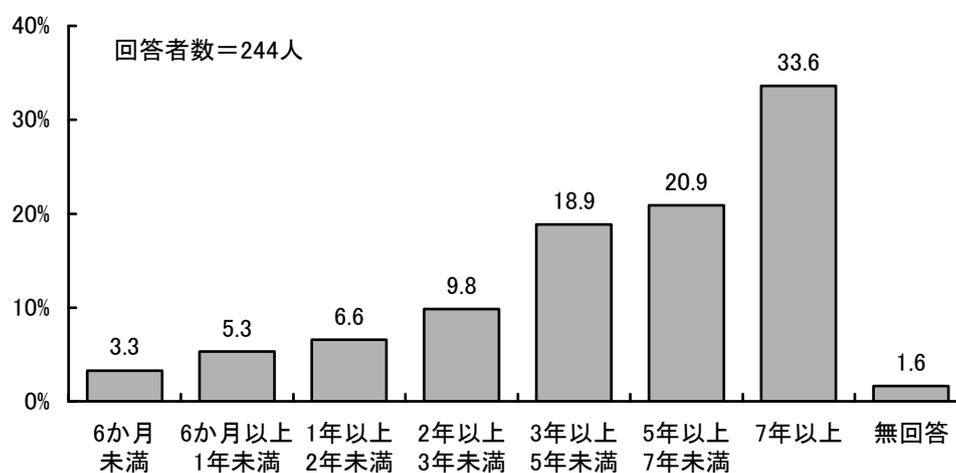
(2) 介護支援専門員としての実務年数

問4 あなたは、平成23年1月1日現在、介護支援専門員としての業務に従事してどのくらいの経験がありますか。転職などを行っている場合、前職なども含めた合計期間でお答えください。(1つに○)

介護支援専門員としての実務年数は、「7年以上」が33.6%ともっとも高い割合を占める。次いで、「5年以上7年未満」20.9%、「3年以上5年未満」18.9%であり、半数以上が実務経験5年以上となっている。

性別にみると、実務年数が3年未満の人の割合は、男性32.0%、女性23.1%と男性の方が高い。5年以上の人の割合は、男性が56.6%、女性が53.7%となっている。

図表7-7 介護支援専門員としての実務年数(単数回答)



図表7-8 介護支援専門員としての実務年数

		回答者数(人)	6か月未満	6か月以上1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上7年未満	7年以上	無回答
全体		244	3.3	5.3	6.6	9.8	18.9	20.9	33.6	1.6
性別	男性	53	5.7	11.3	7.5	7.5	9.4	18.9	37.7	1.9
	女性	190	2.6	3.7	6.3	10.5	21.6	21.6	32.1	1.6
年齢別	20歳代	5	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代	45	2.2	8.9	6.7	17.8	13.3	28.9	22.2	0.0
	40歳代	75	2.7	5.3	5.3	8.0	30.7	17.3	29.3	1.3
	50歳代	74	2.7	2.7	8.1	10.8	14.9	23.0	37.8	0.0
	60歳代	38	5.3	5.3	5.3	2.6	7.9	18.4	50.0	5.3
	70歳以上	6	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	50.0	16.7

(3)主任介護支援専門員の割合、経験年数

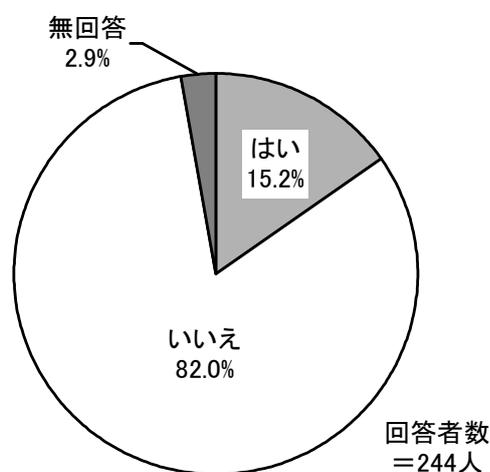
問5 あなたは、主任介護支援専門員ですか。(1つに○)

「1. はい」と回答した方は、主任介護支援専門員としての経験年数をご記入ください。

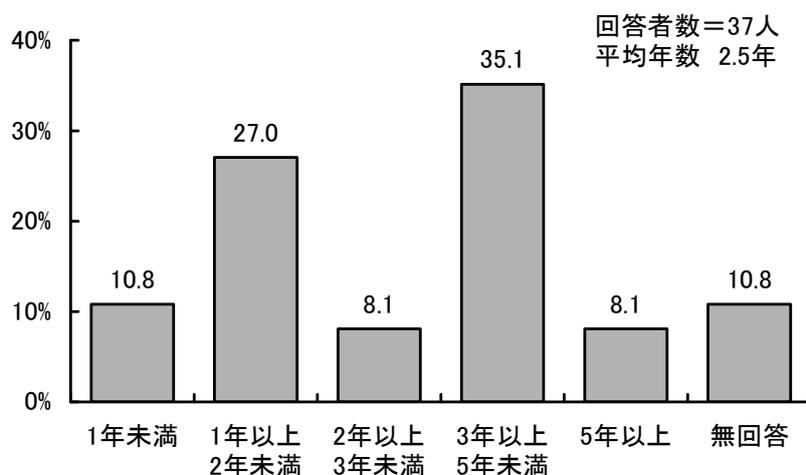
主任介護支援専門員の割合は15.2%となっている。

主任介護支援専門員としての経験年数は、「3年以上5年未満」35.1%がもっとも高く、次いで「1年以上2年未満」27.0%であり、平均2.5年となっている。

図表7-9 主任介護支援専門員資格の有無(単数回答)



図表7-10 主任介護支援専門員としての経験年数(単数回答)

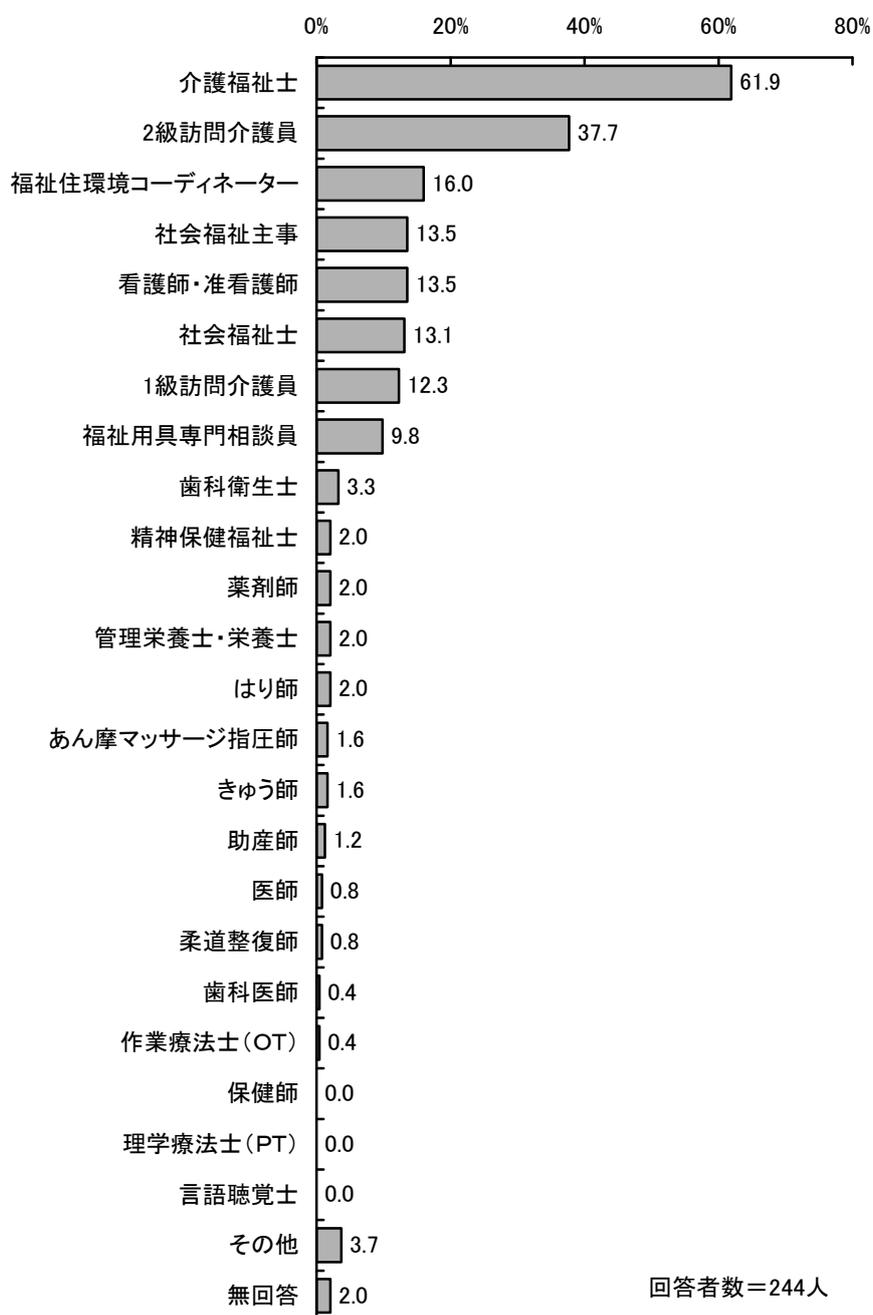


(4) 介護支援専門員以外の保有資格

問6 あなたは、介護支援専門員以外にどのような保健医療福祉関係の資格をお持ちですか。(あてはまるものすべてに○)

介護支援専門員以外の保有資格をみると、「介護福祉士」61.9%がもっとも高く、次いで「2級訪問介護員」37.7%、「福祉住環境コーディネーター」16.0%、「社会福祉主事」「看護師・准看護師」各13.5%、「社会福祉士」13.1%、「1級訪問介護員」12.3%の順となっている。

図表7-11 介護支援専門員以外の保有資格(複数回答)



(5)現在の勤務形態、兼務している業務

問7 あなたの現在の勤務形態は、次のうちどれですか。(1つに○)

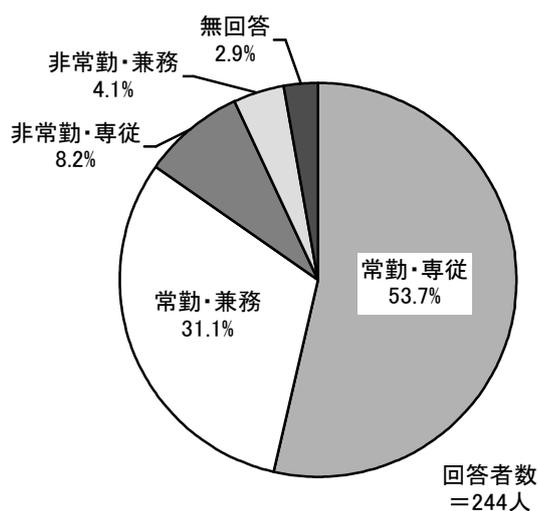
「2. 常勤・兼務」「4. 非常勤・兼務」と回答した方におうかがいします。

問7-1 どのような業務を兼務していますか。(あてはまるものすべてに○)

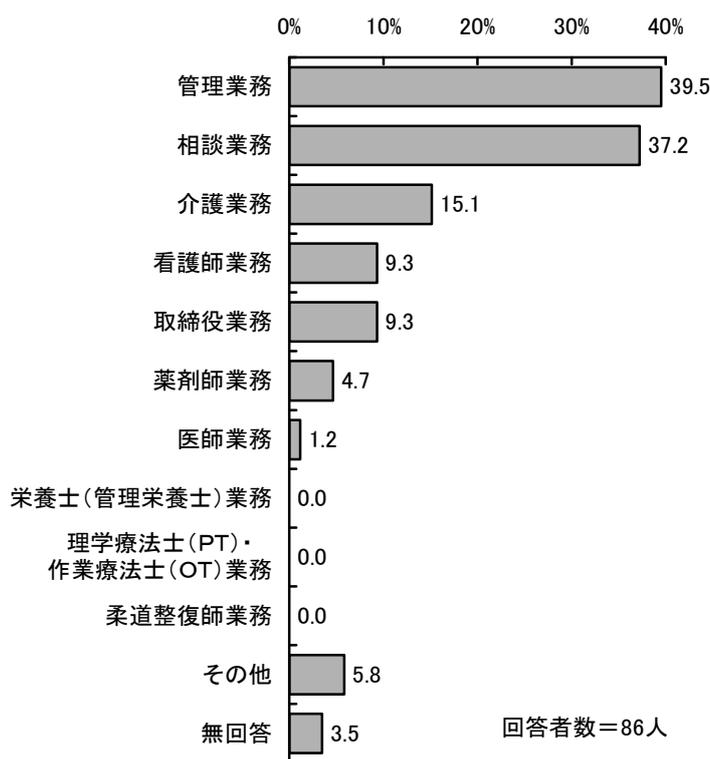
現在の勤務形態は、「常勤・専従」が53.7%と半数強を占めている。次いで、「常勤・兼務」31.1%と、これらをあわせた84.8%が常勤勤務となっている。「非常勤・専従」は8.2%、「非常勤・兼務」は4.1%である。

勤務形態が兼務の人が兼務している業務は、「管理業務」39.5%、「相談業務」37.2%、「介護業務」15.1%、「看護師業務」9.3%、「取締役業務」各9.3%などとなっている。

図表7-12 現在の勤務形態(単数回答)



図表7-13 兼務している業務(複数回答)



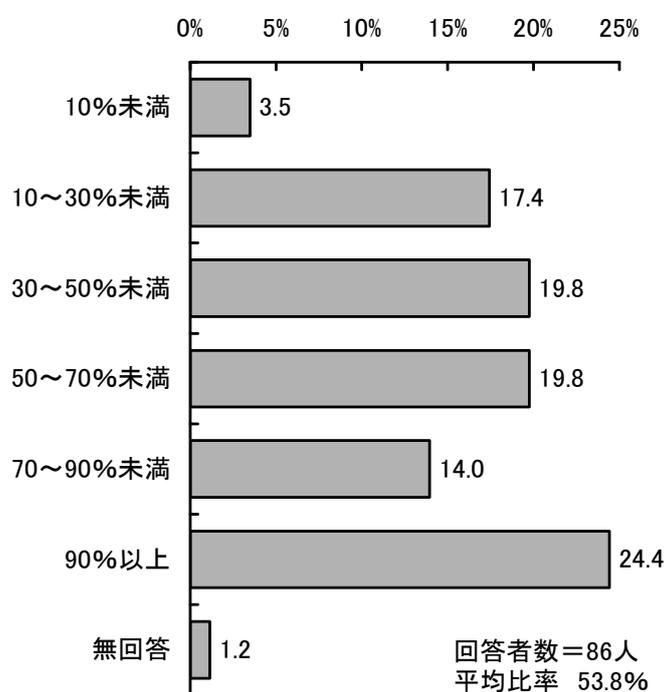
(6) 介護支援専門員業務の比率

問7で「2. 常勤・兼務」「4. 非常勤・兼務」と回答した方におうかがいします。

問7-2 介護支援専門員としての業務の比率は、何%くらいですか。

勤務形態が兼務の人の介護支援専門員業務の比率は、「90%以上」が24.4%を占めるのに次いで、「30～50%未満」「50～70%未満」が各19.8%となっており、平均53.8%となっている。

図表7-14 介護支援専門員業務の比率(単数回答)



3. ケアマネジメント業務の状況

(1) 担当している利用者数

問8 居宅介護支援事業所、地域包括支援センターにお勤めの介護支援専門員の方(問2(1)で1か2に○)にのみ、おうかがいします。

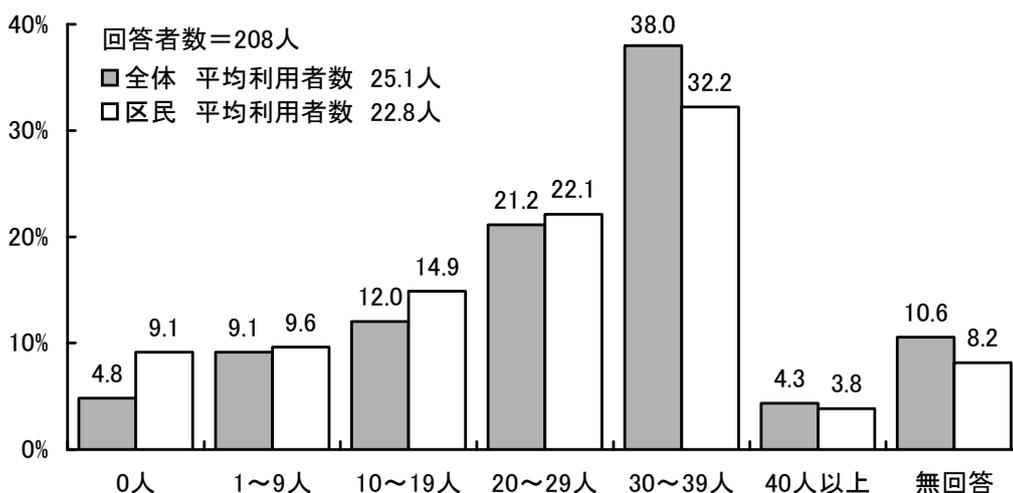
(1)あなたが担当している利用者数は何人ですか。いない場合は、「0」を記入してください。

(それぞれ、全体と江戸川区について数値を記入)

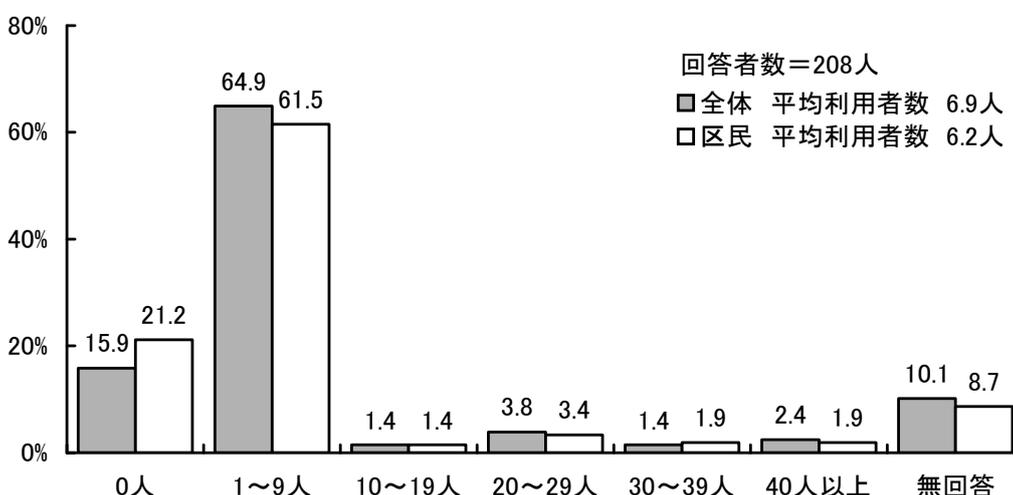
担当している利用者数をみると、要介護者では、「30～39人」がもっとも高く、次いで「20～29人」となっている。全体の平均は25.1人で、そのうち区民の平均利用者数は22.8人となっている。

要支援者では、「1～9人」が6割台を占めており、全体の平均は6.9人、そのうち区民の平均利用者数は6.2人となっている。

図表7-15 担当している利用者数<要介護者>(単数回答)



図表7-16 担当している利用者数<要支援者>(単数回答)

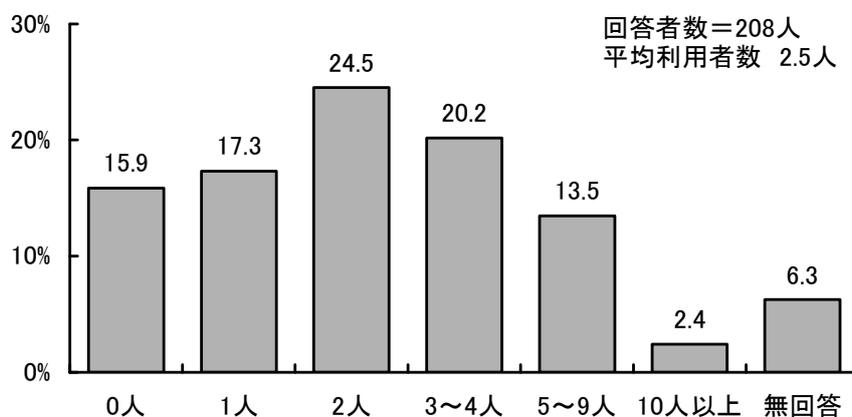


(2) 支援や対応に困難を感じている利用者数

問 8(2) あなたが担当している利用者の中に、支援や対応に困難を感じている利用者は何人くらいいますか。いない場合は、「0」を記入してください。

支援や対応に困難を感じている利用者数は、「2人」24.5%、「3～4人」20.2%の順であり、平均2.5人となっている。

図表7-17 支援や対応に困難を感じている利用者数(単数回答)

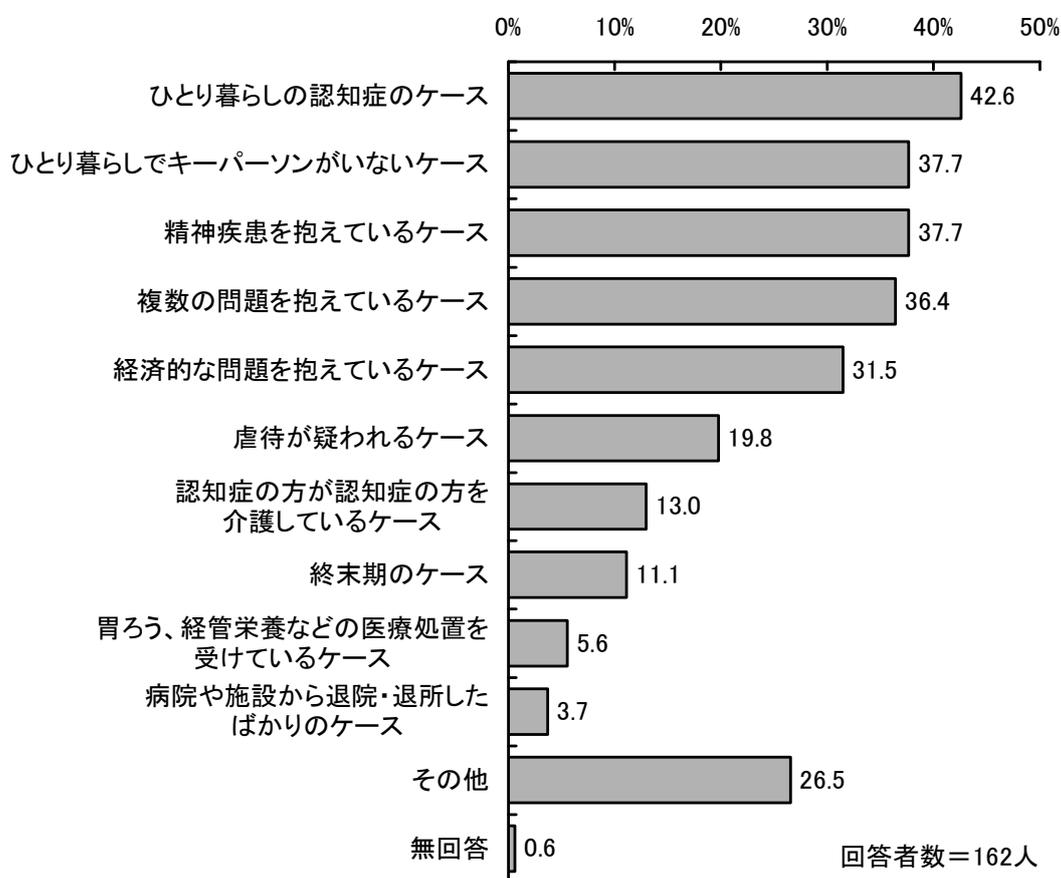


(3) 支援や対応に困難を感じているケースの状況

問 8(3) 支援や対応に困難を感じている利用者がある方におうかがいします。
それはどのようなケースですか。(あてはまるものすべてに○)

支援や対応に困難を感じているケースの状況は、「ひとり暮らしの認知症のケース」42.6%がもっとも高く、次いで「ひとり暮らしでキーパーソンがいないケース」「精神疾患を抱えているケース」が各 37.7%、「複数の問題を抱えているケース」36.4%、「経済的な問題を抱えているケース」31.5%の順となっている。

図表7-18 支援や対応に困難を感じているケースの状況(複数回答)

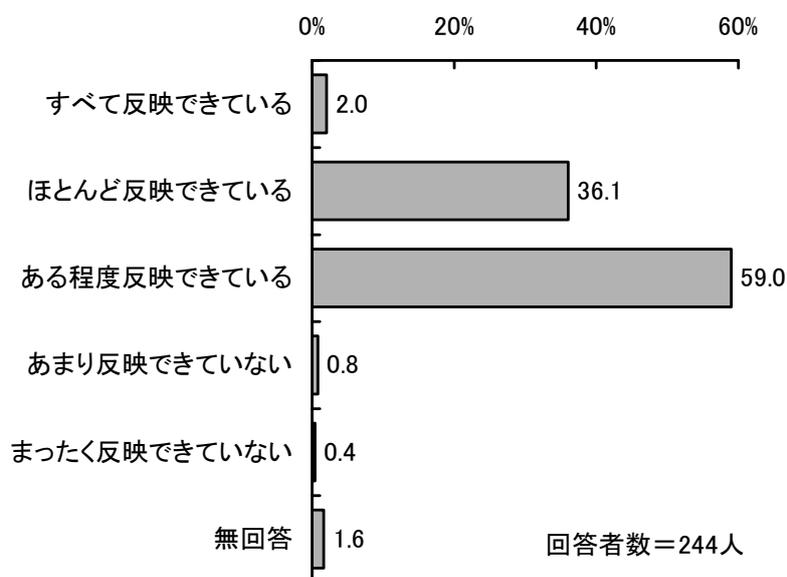


(4)ケアプランへの利用者等の要望・意向の反映状況

問9 あなたは、ケアプラン(施設等のサービス計画を含む)に、利用者や家族の要望・意向をどの程度反映できていると思いますか。(1つに○)

ケアプランへの利用者等の要望・意向の反映状況は、「ある程度反映できている」が59.0%ともっとも高い。次いで「ほとんど反映できている」36.1%となっている。

図表7-19 ケアプランへの利用者等の要望・意向の反映状況(単数回答)

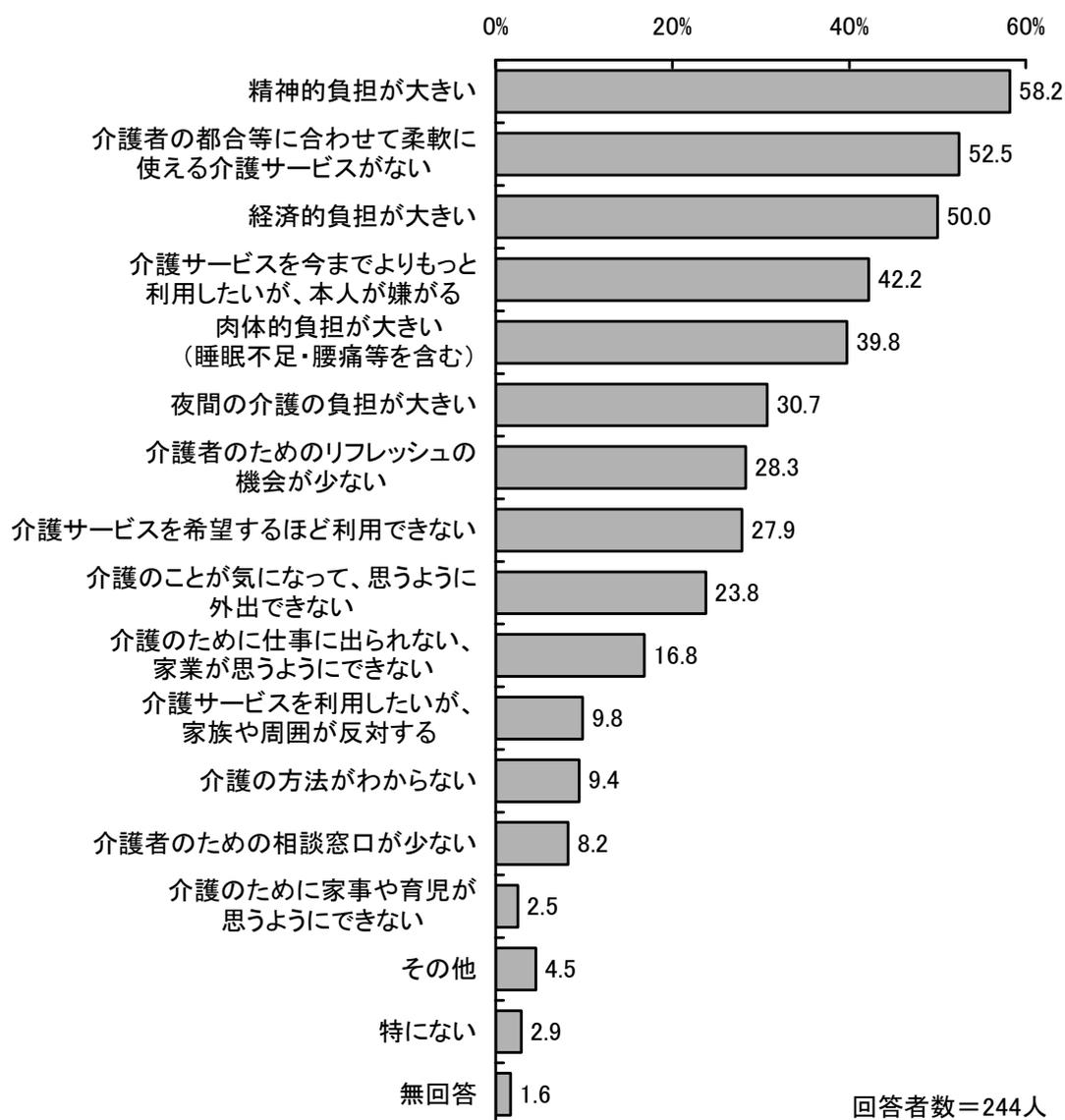


(5) 家族の不安や悩み等について感じる事

問 10 あなたが利用者の家族と接する中で、家族が感じている日常生活での不安、悩み、心配ごとには、どのようなことがありますか。(主なもの5つまでに○)

家族の不安や悩み等について感じることをみると、「精神的負担が大きい」58.2%、「介護者の都合等に合わせて柔軟に使える介護サービスがない」52.5%、「経済的負担が大きい」50.0%が、半数以上からあげられた内容である。次いで、「介護サービスを今までよりもっと利用したいが、本人が嫌がる」42.2%、「肉体的負担が大きい（睡眠不足・腰痛等を含む）」39.8%、「夜間の介護の負担が大きい」30.7%が続いている。

図表7-20 家族の不安や悩み等について感じる事(複数回答)

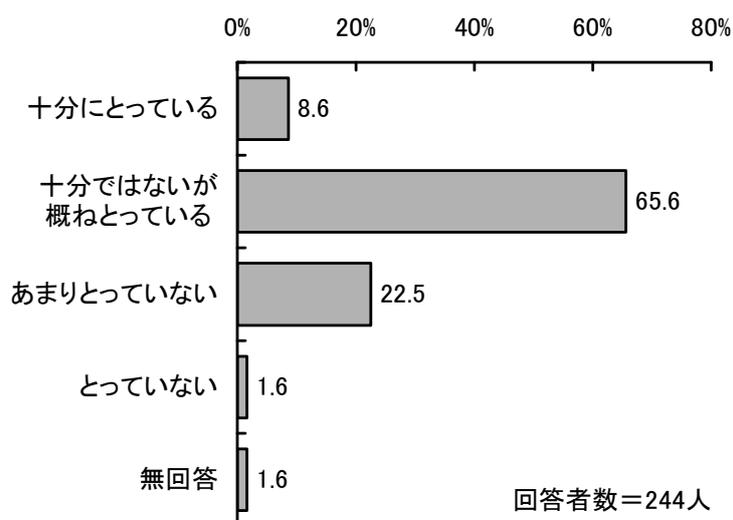


(6) 主治医等の医療機関との連携状況

問 11 あなたは、主治医等の医療機関との連携は、十分にとっていますか。(1つに○)

主治医等の医療機関との連携状況をみると、「十分ではないが概ねとっている」が65.6%を占める。次いで、「あまりとっていない」22.5%となっており、「とっていない」1.6%をあわせた24.1%が連携をとっていない状況となっている。

図表7-21 主治医等の医療機関との連携状況(単数回答)



(連携をとっていない理由：44件より抜粋して記載)

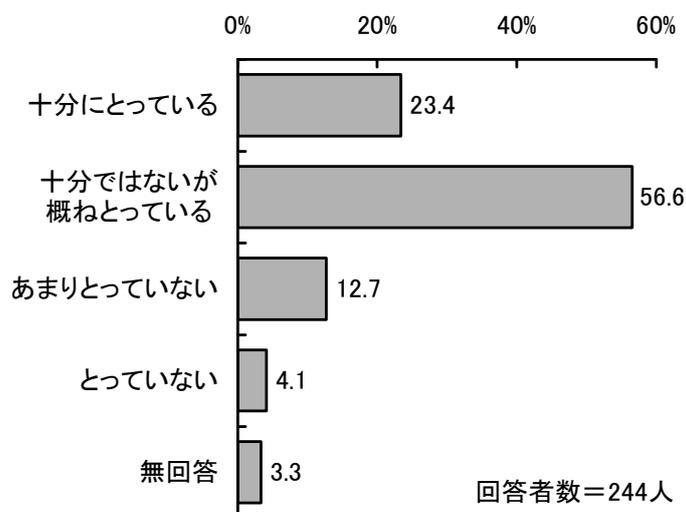
- ・ 医師は忙しく、連絡がとりづらい。
- ・ とりやすい医師ととりにくい医師（病院）があり、どのように連携をとっていいのかわからない。
- ・ 大学病院等の大きな病院は、先生の時間がとれなかったり、相談員としか話をさせてくれない。
- ・ サービス上必要があると判断した場合にとっている。
- ・ 訪問看護を利用しているケースは、医療機関・医師への連絡は訪問看護に頼ることが多い。
- ・ 医療ニーズの高いケースが少ない。
- ・ 主治医意見書を利用している。どうしても必要な時は照会を送っている。
- ・ 担当が全て要支援の方であり、ある程度自立している方が多く、ご本人からの聞き取りが多い。
- ・ 時間の調整が難しい。通院に同行するなどの時間がない。
- ・ 本人や家族の受診時に情報を得ている。
- ・ 連携を取りたいが窓口で断られることがしばしばある。
- ・ 自分に医療の知識が乏しく、気後れする。
- ・ 敷居が高く感じ、苦手意識が強い。
- ・ 情報をもらおうとしても思うように時間をとってもらえない事が多い。

(7) 地域包括支援センターとの連携状況

問 12 あなたは、地域包括支援センターとの連携は、十分にとっていますか。(1つに○)

地域包括支援センターとの連携状況を見ると、「十分ではないが概ねとっている」56.6%、「十分にとっている」23.4%の順となっている。「あまりとっていない」12.7%と「とっていない」4.1%をあわせた16.8%が連携をとっていない状況となっている。

図表7-22 地域包括支援センターとの連携状況(単数回答)



(連携をとっていない理由：29件より抜粋して記載)

- ・あまり相談に乗ってもらえない。
- ・必要とする部分が少ない。
- ・施設サービスとの連携は限定的。
- ・関係機関との担当者会議を行う事で、解決しているから。
- ・要介護者のケースなので、相談しても思ってしまう。
- ・区役所との連携で解決するため。
- ・相談しても解決につながらないケースが多い。
- ・特定施設のため、あまり必要性を感じていないが、時折連絡を頂くとうれしい。

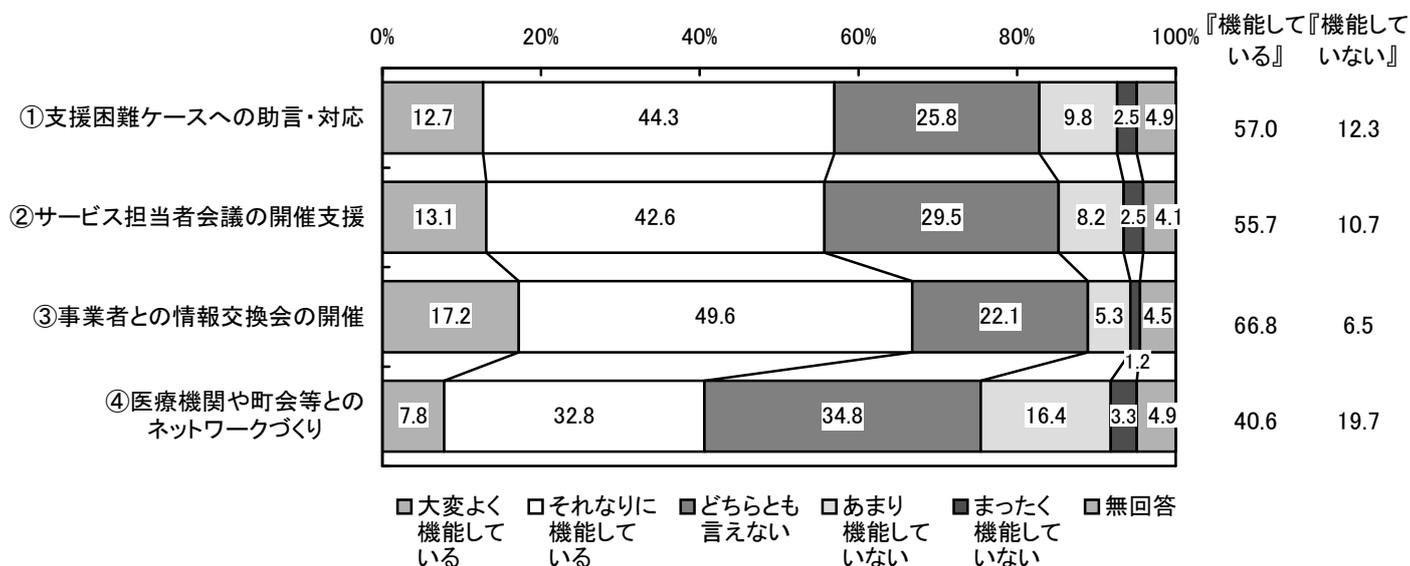
(8) 地域包括支援センター機能に対する評価

問 13 あなたは地域包括支援センターの①～④の機能について、現状ではどの程度機能していると感じていますか。(それぞれ1つに○)

地域包括支援センター機能に対する評価について、「大変よく機能している」「それなりに機能している」をあわせた『機能している』割合をみると、“③事業者との情報交換会の開催”が66.8%でもっとも高い。

一方、「あまり機能していない」「まったく機能していない」をあわせた『機能していない』は、“④医療機関や町会等とのネットワークづくり”19.7%がもっとも高くなっている。

図表7-23 地域包括支援センター機能に対する評価(各単数回答)



回答者数=244人

※『機能している』 = 「大変よく機能している」 + 「それなりに機能している」

※『機能していない』 = 「あまり機能していない」 + 「まったく機能していない」

(9) 地域包括支援センターに対する意見・要望等

問 14 地域包括支援センターとの連携における課題、地域包括支援センターに対するご意見・ご要望等がありましたら、自由にご記入ください。

(71 件より抜粋して記載)

- ・話を聞いてくれるだけなのであれば、あまり存在価値を見出せない。場合によって包括支援センター同士の横の連携や社協、行政とも調整して、具体的な対応をしてほしい。
- ・担当者会議に出席してほしい。虐待ケースへの助言を的確にしてほしい。
- ・ほとんどの業務が介護保険や介護予防の事務に忙殺され、「地域資源を育成する」センターとはなっていない。
- ・支援困難など、相談機関として相談しているので大変助かっている。
- ・ケアマネジャーの支援をもっとしてほしい。
- ・地域包括支援センターの役割が多過ぎて大変。基幹型のセンターを設置すべき。また要支援者のプランについては、プランセンター等の設置も検討してほしい。
- ・包括支援センターの業務が多岐にわたりすぎて、精神的にも肉体的にも限界に達しているように感じて、相談するのも気がひける。
- ・担当依頼の際に、最低限のアセスメントは行ってから依頼してほしい。
- ・各センターにより、対応の早さや情報量・アドバイス内容に差があるように思う。それがそのまま、その地域包括支援センターへの信頼感につながると思う。
- ・フットワークよく動いてもらって助かっているが、権限もなく、いつも同じような限界を感じて本人・ご家族の意向に添えきれない事が多い。
- ・各地域包括支援センターによって対応が違うため、どうしても頼るところは同じセンターになってしまう。
- ・他区では、地域包括支援センターごとに毎月 1 回勉強会があり、その後半は困っている事（ケース）の話し合いの場とし、活用していたので、江戸川区ももう少しその機会があればよいと思う。
- ・地域での存在感がまだまだ薄い。
- ・一緒に訪問し、実態を見てほしい。
- ・現場は常に動いているので、対応を迅速にしてほしい。人数を揃えるだけでなく、経験豊かでケアマネジャーの相談にもきめ細かく対応できる人材を登用願いたい。
- ・一般の人に地域包括支援センターの存在を知ってもらうために、今の堅苦しい名称を変えた方が覚えやすく、広まりやすいと思う。

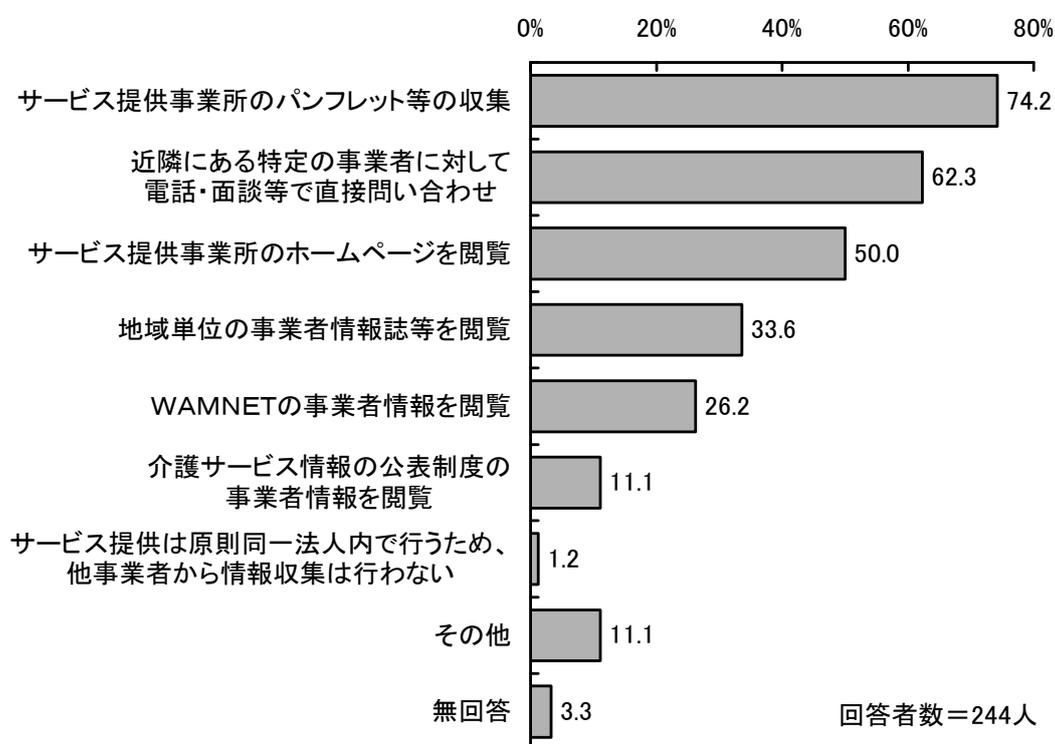
(10) サービス提供事業所に関する情報収集方法

問 19 あなたは、サービス提供事業所に関する情報収集は、どのように行っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

サービス提供事業所に関する情報収集方法は、「サービス提供事業所のパンフレット等の収集」74.2%、「近隣にある特定の事業者に対して電話・面談等で直接問い合わせ」62.3%、「サービス提供事業所のホームページを閲覧」50.0%の順となっている。

図表7-24 サービス提供事業所に関する情報収集方法(複数回答)



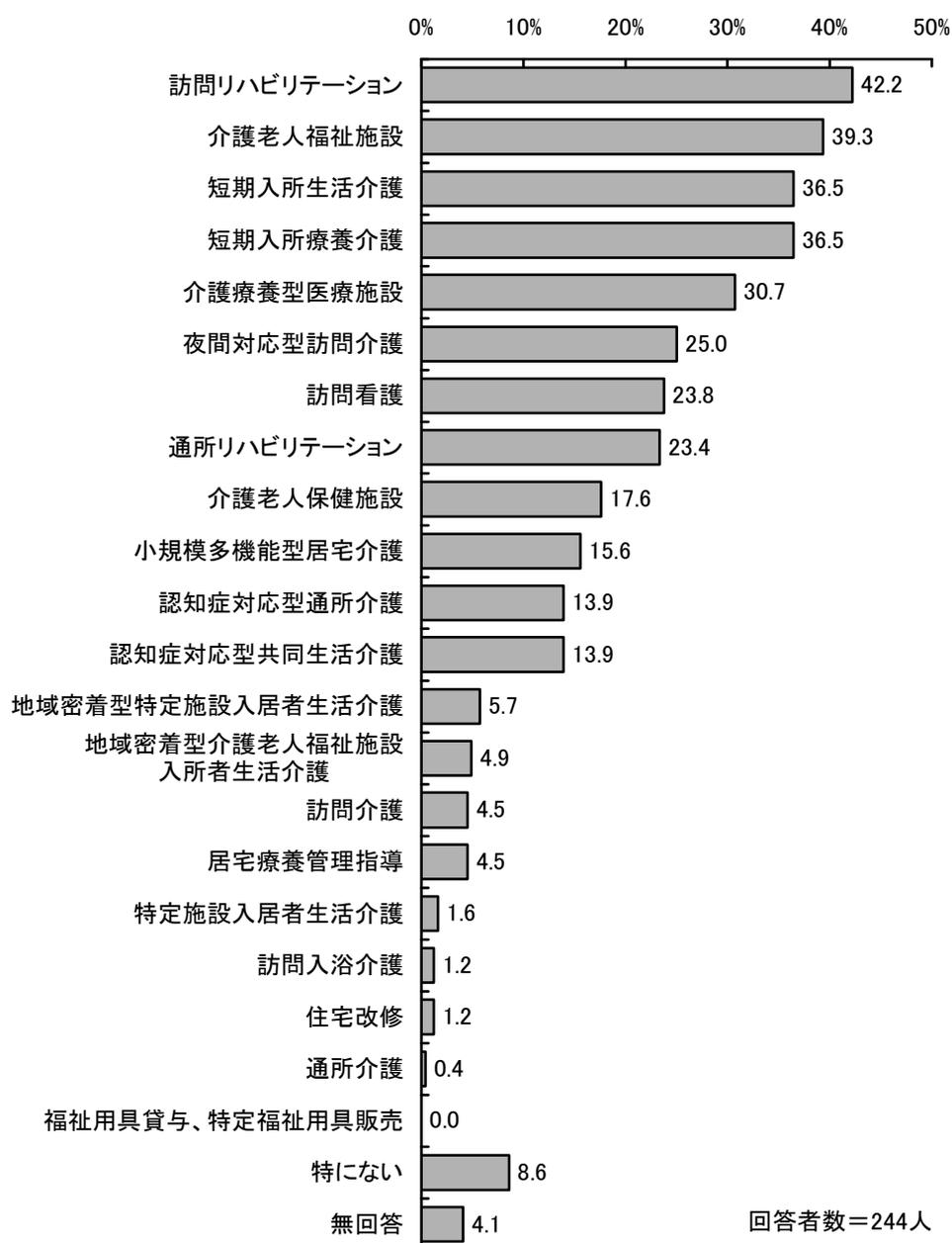
4. 業務に関する課題等について

(1) 不足していると感じる介護保険サービス

問 15 ケアマネジメント業務を行ううえで、江戸川区で不足していると感じる介護保険サービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

江戸川区で不足していると感じる介護保険サービスは、「訪問リハビリテーション」42.2%がもっとも高い。次いで、「介護老人福祉施設」39.3%、「短期入所生活介護」「短期入所療養介護」各 36.5%、「介護療養型医療施設」30.7%が 3 割台で続き、「夜間対応型訪問介護」25.0%、「訪問看護」23.8%、「通所リハビリテーション」23.4%が 2 割台となっている。

図表7-25 不足していると感じる介護保険サービス(複数回答)

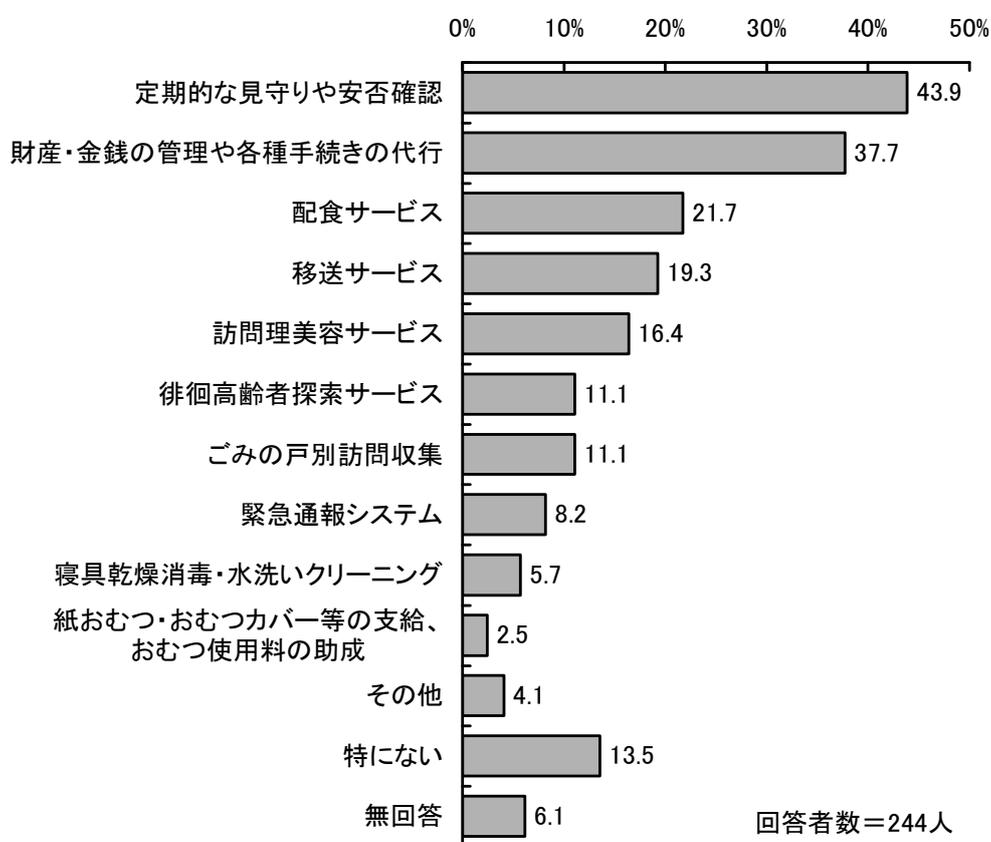


(2) 充実すべき区の保健福祉サービス

問 16 介護保険サービス以外の江戸川区の保健福祉サービスについて、もっと充実すべきと思うサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

充実すべき区の保健福祉サービスとしては、「定期的な見守りや安否確認」43.9%がもっとも高い。次いで、「財産・金銭の管理や各種手続きの代行」37.7%、「配食サービス」21.7%、「移送サービス」19.3%、「訪問理美容サービス」16.4%の順となっている。

図表7-26 充実すべき区の保健福祉サービス(複数回答)

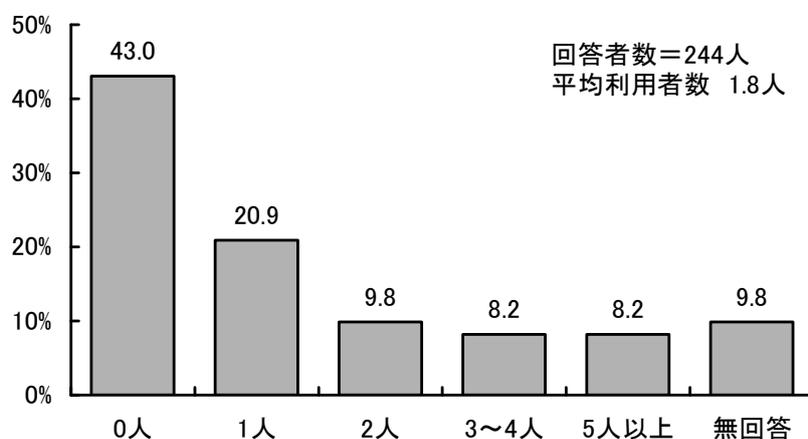


(3) 24時間対応の定期巡回・随時対応サービスが必要と思われる利用者数

問 17 あなたが担当している利用者の中で、「24 時間対応の定期巡回・随時対応サービス」の提供がふさわしいと思われる利用者数をご記入ください。いない場合は、「0」を記入してください。

回答者が担当している利用者の中で、24 時間対応の定期巡回・随時対応サービスが必要と思われる利用者数は、「0 人」が 43.0%を占めている。次いで、「1 人」20.9%であり、平均 1.8 人となっている。

図表7-27 24時間対応の定期巡回・随時対応サービスが必要と思われる利用者数(単数回答)



(4) 24時間対応の定期巡回・随時対応サービスが必要な利用者のイメージ

問 18 「24 時間対応の定期巡回・随時対応サービス」の利用がふさわしい利用者のイメージがありましたら、自由にご記入ください。

(148 件について分類・要約して記載)

【1】ひとり暮らしの方(42 件より抜粋)

- ・ 単身で転倒や急変等の恐れのある方。
- ・ 日頃元気であるが、時々状態が悪くなり、転倒や意識消失してしまう独居高齢者。
- ・ ひとり暮らしで夜間ポータブルトイレを使用しているが、転倒により起き上がれない場合。
- ・ 独居の方のオムツ交換や水分補給。
- ・ 具合が悪くなり、朝まで待てないひとり暮らしの方。
- ・ 独居で夜間に不安のある方。
- ・ 独居で精神的に不穏で混乱してしまうことが多い利用者。
- ・ 独居で夜間のトイレ誘導やオムツ交換が必要な利用者。
- ・ 普段はADL自立をしている独居利用者が、体調不良になり通院したい時。

【2】家族による介護が困難な方(29 件より抜粋)

- ・ 高齢者世帯にて、常時介護が必要な方。
- ・ 高齢者世帯で夜間の介護（排尿介助・体位交換・状態の確認など）の対応が困難な方。
- ・ 家族介護が困難で、病気や歩行困難等で何らかの介護を要する方。突発的な対応の必要度が高い方。
- ・ 介護者が高齢などの理由で、急な体調悪化時に起こせない、起き上がれない等。
- ・ 家族が介護に協力的でなく、夜間・早朝の排泄介助等が受けられない方等。
- ・ 夜間不穏だが、家人が対応困難な時。

【3】医療ニーズの高い方(22 件より抜粋)

- ・ 随時吸引が必要な方。
- ・ 胃ろうや鼻腔からの経管栄養で嘔吐し易い方。
- ・ 経管栄養や点滴施行で、カテーテルなどを自己抜去してしまう方。
- ・ 独居で医療管理が必要な人。
- ・ 褥瘡のリスクの高い方。

【4】認知症の方(15 件より抜粋)

- ・ 認知症の周辺症状があり、家族だけでの対応が困難な場合。
- ・ 認知症でベッドからの転倒事例が多い利用者（ひとり暮らし等）。
- ・ ひとり暮らしの認知症で夜中の安否確認が必要なケース。
- ・ 認知症で独居の方で、徘徊の心配がある方。

【5】夜間の介護が必要な方(18件より抜粋)

- ・夜間の排泄介助、トイレへの移乗、オムツ交換（老老介護で）が必要な方。
- ・夜間の不安を強く訴えるケース（呼吸器疾患の呼吸音のある利用者等）。
- ・夜間帯に介護・医療依存度が高い人。
- ・疾患により服薬時間が決められていて、夜中等に必要な場合（独居等）。
- ・夜中に徘徊してしまう方。

【6】末期ガンの方(4件より抜粋)

- ・末期ガンで自分で動けないが、介護者が高齢で身体看護の困難なケース。
- ・末期ガンなどで、巡回し安否確認の必要な方。

【7】その他(22件より抜粋)

- ・施設入所を希望しない方で、目の離せない方。
- ・本人、家族ともに夜間外部の者が来訪する事に抵抗を感じない方。
- ・うつ病のある方から体調不良の訴えで頻繁に呼び出されることもあると思う。その場合の対応。
- ・急なADL（日常生活動作）の低下で、ご本人様も混乱されている時。
- ・体調の変動が多い人。
- ・不安感の強い人。

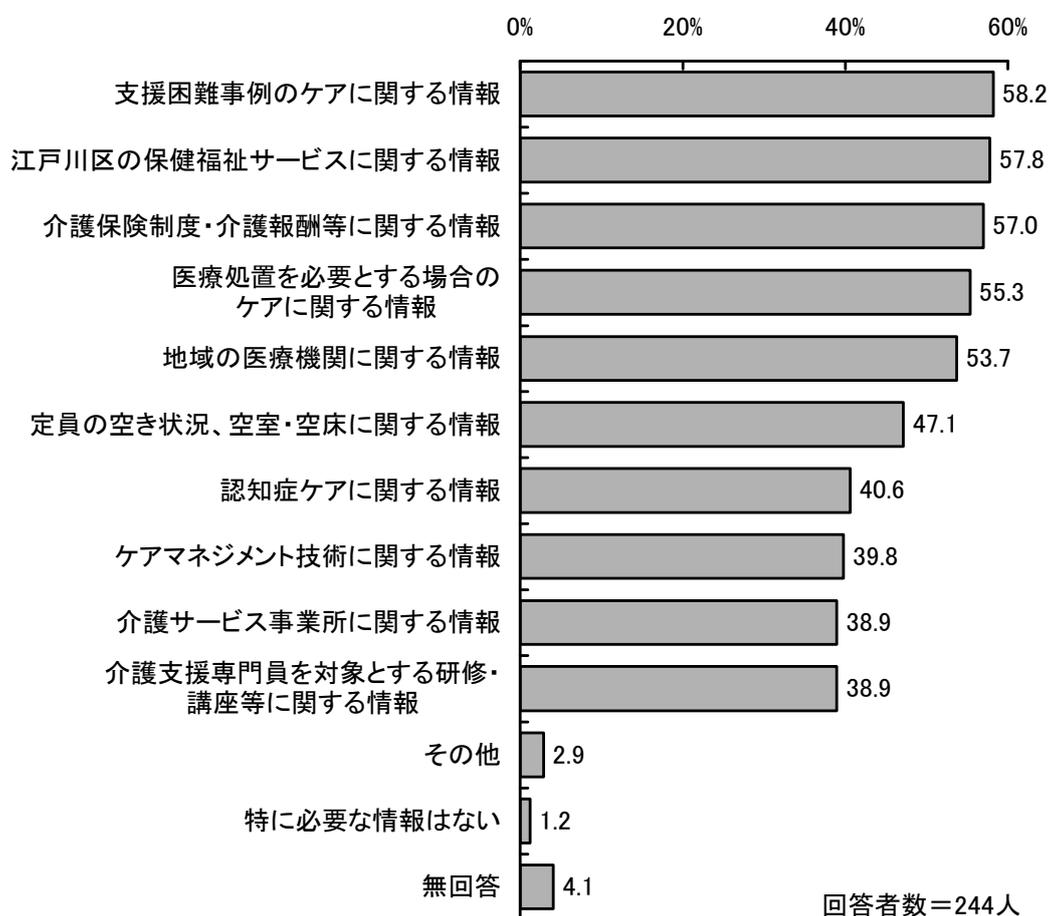
(5) ケアマネジメント業務を行ううえで必要な情報

問 20 ケアマネジメント業務を行ううえで、どのような情報が必要ですか。

(あてはまるものすべてに○)

ケアマネジメント業務を行ううえで必要な情報としては、「支援困難事例のケアに関する情報」58.2%がもっとも高い。次いで、「江戸川区の保健福祉サービスに関する情報」57.8%、「介護保険制度・介護報酬等に関する情報」57.0%、「医療処置を必要とする場合のケアに関する情報」55.3%、「地域の医療機関に関する情報」53.7%の順であり、これらはいずれも半数以上が必要な情報としてあげている。

図表7-28 ケアマネジメント業務を行ううえで必要な情報(複数回答)



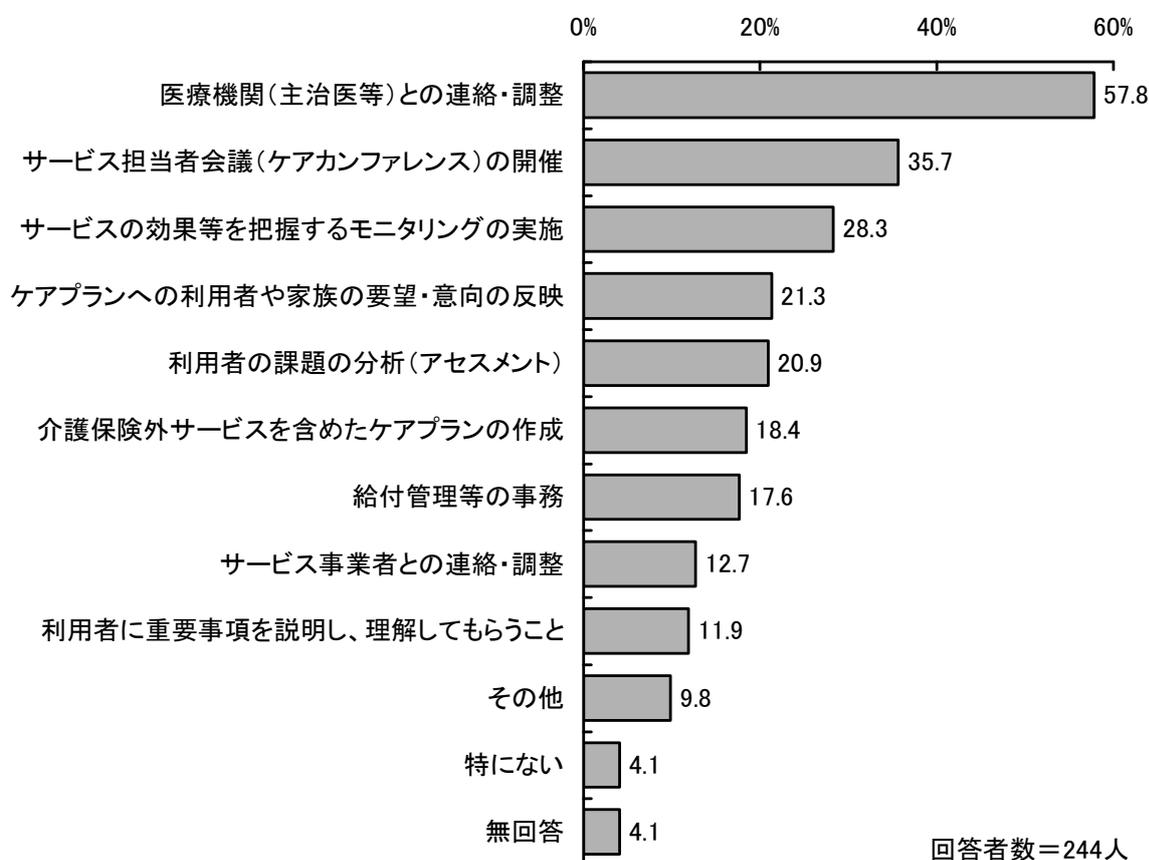
(6) 負担に感じるケアマネジメント業務

問 21 ケアマネジメント業務の中で、あなたが負担に感じていることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

負担に感じるケアマネジメント業務は、「医療機関（主治医等）との連絡・調整」57.8%がもっとも高く、半数以上からあげられている。次いで、「サービス担当者会議（ケアカンファレンス）の開催」35.7%、「サービスの効果等を把握するモニタリングの実施」28.3%、「ケアプランへの利用者や家族の要望・意向の反映」21.3%の順となっている。

図表7-29 負担に感じるケアマネジメント業務(複数回答)



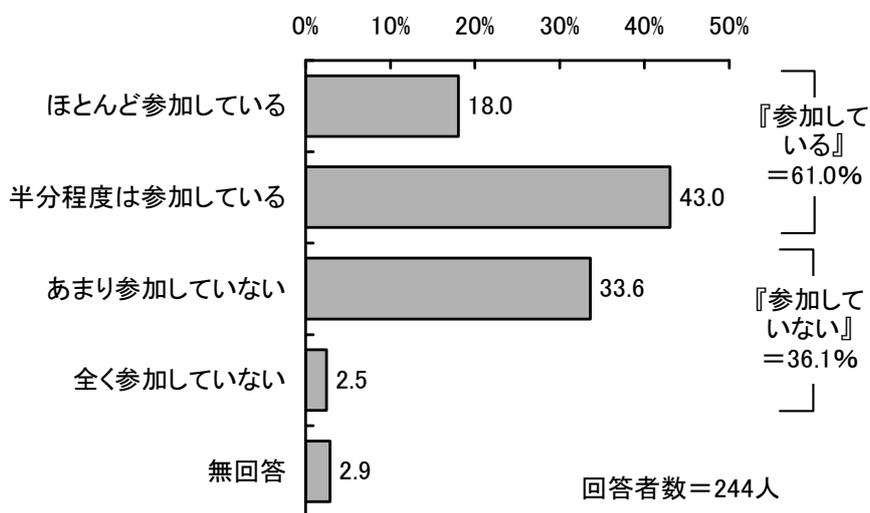
5. 質の確保等について

(1) 研修の参加状況

問 22 あなたは、この1年間に、東京都や区市町村、ケアマネジャー協会等が実施する介護支援専門員向け研修会に、どの程度参加しましたか。(1つに○)

研修の参加状況は、「半分程度は参加している」43.0%がもっとも高く、これに「ほとんど参加している」18.0%をあわせた61.0%が『参加している』と回答している。一方、「あまり参加していない」は33.6%であり、「全く参加していない」2.5%をあわせた『参加していない』は36.1%となっている。

図表7-30 研修の参加状況(単数回答)



※『参加している』 = 「ほとんど参加している」 + 「半分程度は参加している」

※『参加していない』 = 「あまり参加していない」 + 「全く参加していない」

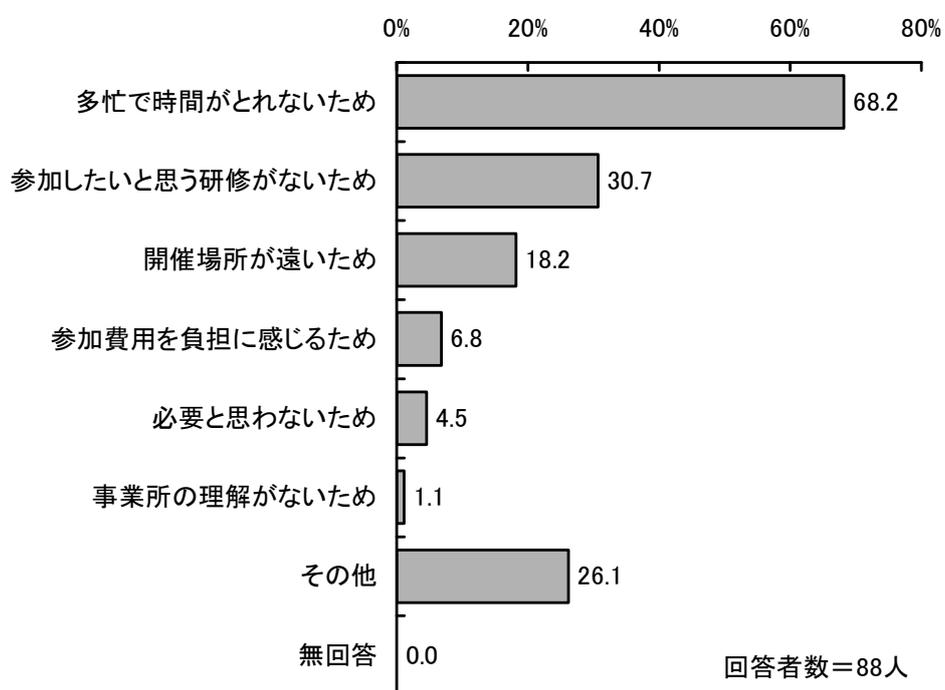
(2) 研修に参加していない理由

問 22-1 介護支援専門員向け研修会に参加していないのはなぜですか。

(あてはまるものすべてに○)

研修に参加していない理由としては、「多忙で時間がとれないため」68.2%がもっとも高く、次いで、「参加したいと思う研修がないため」30.7%、「開催場所が遠いため」18.2%の順となっている。

図表7-31 研修に参加していない理由(複数回答)



(3) 希望する研修の内容

問 23 今後、どのような内容の研修を希望しますか。具体的にご記入ください。

(109 件について分類・要約して記載)

【1】介護保険制度、介護保険外の区の支援に関する研修(18 件より抜粋)

- ・ 制度改正に向けた研修等。
- ・ 今後の介護保険の動向。
- ・ 介護保険以外の資源や、情報に関する研修。

【2】医療情報、医療との連携に関する研修(18 件より抜粋)

- ・ 医療全般の知識、情報。
- ・ 専門的な医療知識、ドクターとの交流、薬の副作用等の研修。
- ・ 精神疾患（うつ、統合失調症など）の病気についての知識。
- ・ 医療が必要な方、ターミナルなどの家族に対するケア。
- ・ 医療連携に関する研修は内容をもっと分散し、細かい所までやってほしい（会場、内容量が多くわかりづらい）。

【3】ケアマネジメント技術に関する研修(16 件より抜粋)

- ・ アセスメントから、課題分析をどのようにするか、短期・長期目標の設定の仕方。
- ・ サービス担当者会議の進め方、記録のとり方、モニタリングや支援経過の記録の仕方等、実際の現場での、困り事に対する研修を取り入れてほしい。
- ・ 施設のケアマネジャー向けの研修について、できる限り参加したいので機会を増やしてほしい。

【4】支援困難事例への対応に関する研修(8 件より抜粋)

- ・ 実際の現場における困難事例の対応方法。社会資源の内容。
- ・ 虐待・困難（精神障害）ケースの事例研修。

【5】権利擁護、経済的困窮者への対応に関する研修(5 件より抜粋)

- ・ 成年後見人制度について。
- ・ 経済的困窮者への対応。世帯分離、生保申請など。

【6】メンタルヘルス・ストレスマネジメント研修(6 件より抜粋)

- ・ 仕事を前向きに考えられるような研修。
- ・ ストレスをどう解消していけばよいか（自分自身のメンテナンス）。

【7】研修方法等に対する意見(16 件より抜粋)

- ・ 講師の話聞く形式ではなく、少人数でのグループワークや、実際の社会資源を探策するフィールドワークを望む。
- ・ グループで話し合ったり、実際に、その場で考える事ができる内容。
- ・ 事例を通しての研修等。

- ・他の機関が開催する内容や日程と重ならないように、できれば月 2 回程度のペースで研修が受けられるよう調整をお願いしたい。

【8】その他(11 件より抜粋)

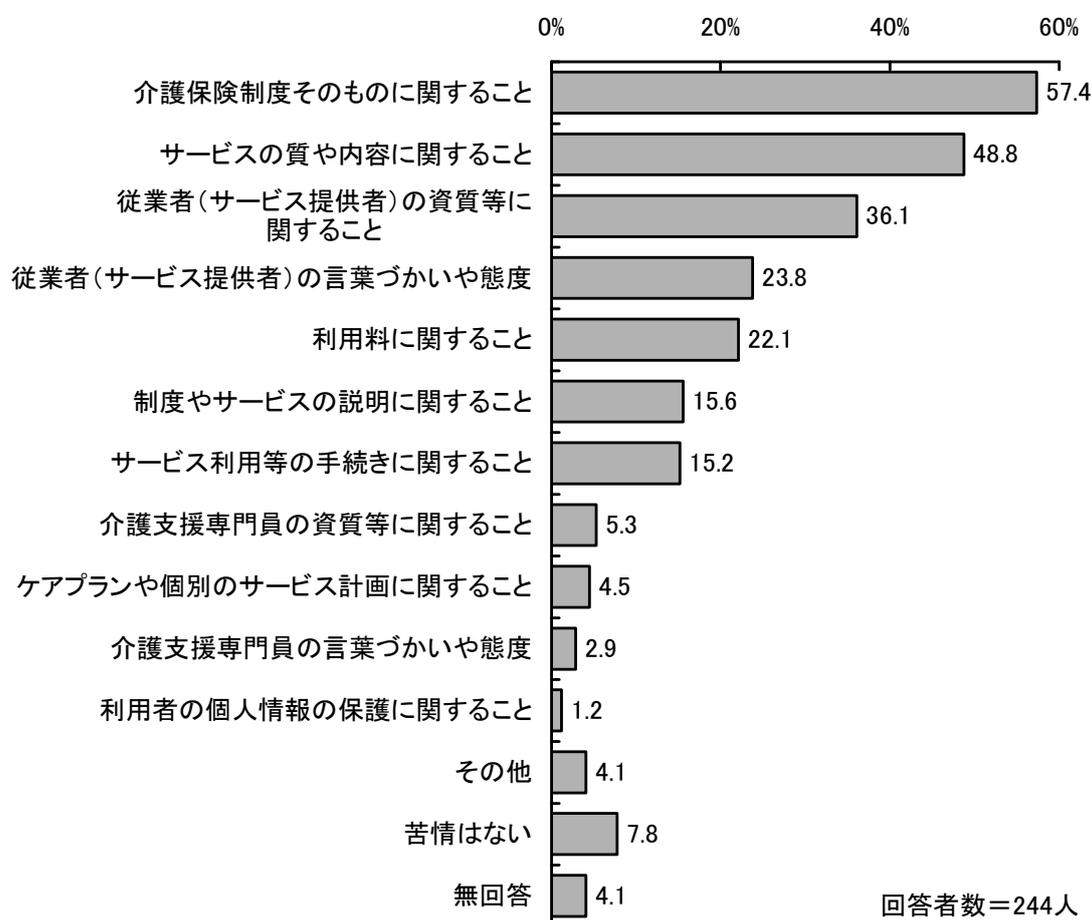
- ・認知症ケアについての研修。
- ・スーパービジョンなど、事務所の質の向上により利用者や福祉に貢献できるような内容の研修。
- ・介護状態から社会復帰したなど、改善した事例（プロセス）などを聞いてみたい。
- ・住環境マネジメント。
- ・精神疾患の対応及びケアマネジメントに関する研修。
- ・特定施設を対象とした研修。
- ・東京都の見解に沿った書類作成の方法を学びたい。

(4) 利用者や家族からの苦情の内容

問 24 利用者や家族からあげられる苦情の内容としては、どういったものが多くありますか。
(主なもの5つまでに○)

利用者や家族からの苦情の内容としては、「介護保険制度そのものに関すること」57.4%がもっとも高い。次いで、「サービスの質や内容に関すること」48.8%、「従業者（サービス提供者）の資質等に関すること」36.1%、「従業者（サービス提供者）の言葉づかいや態度」23.8%が続いている。

図表7-32 利用者や家族からの苦情の内容(複数回答)



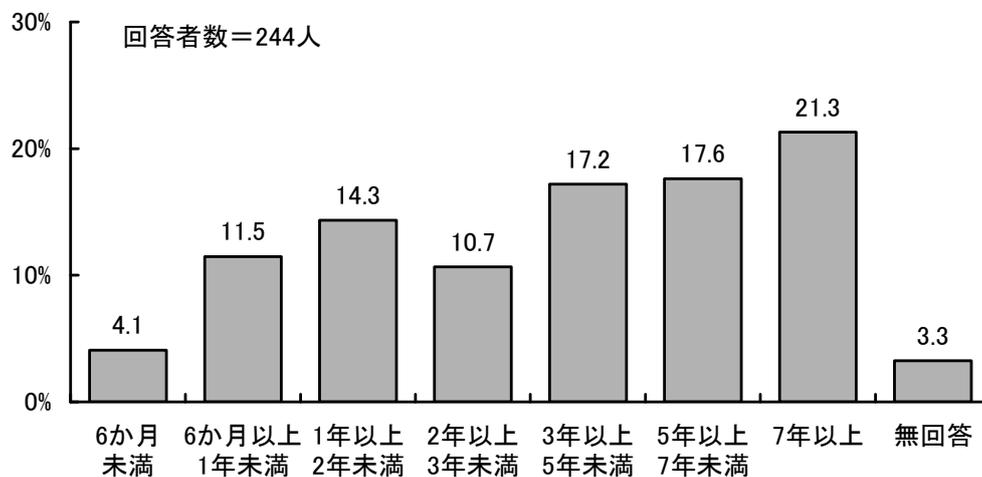
6. 業務の満足度と今後の意向について

(1) 現在の勤務先での在職年数

問 25 平成 23 年 1 月 1 日現在、現在の事業所(法人)で介護支援専門員として在籍している期間はどのくらいですか。(1つに○)

現在の勤務先での在職年数は、「7年以上」21.3%がもっとも高く、次いで「5年以上7年未満」17.6%、「3年以上5年未満」17.2%の順である。38.9%が5年以上、56.1%が3年以上の在職年数となっている。

図表7-33 現在の勤務先での在職年数(単数回答)



(2) 業務及び勤務先に対する満足度

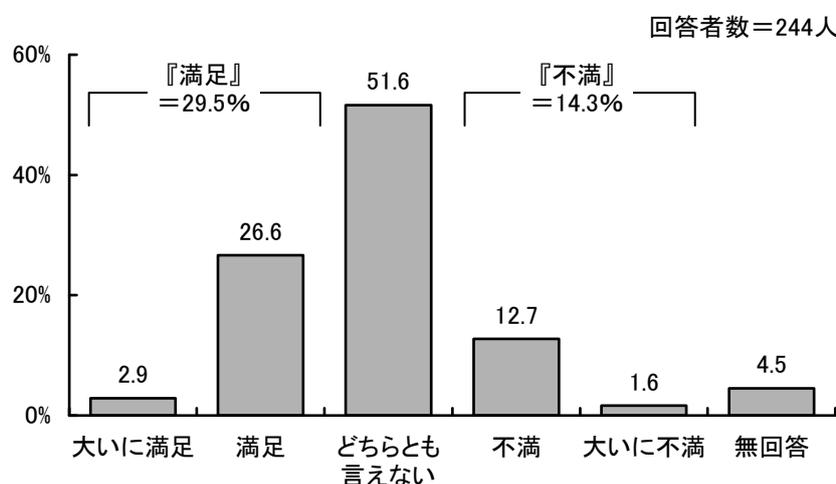
問 26 現在の自分の業務内容(介護支援専門員業務及び兼任業務を含む)に対する満足度はいかがですか。(1つに○)

問 27 現在所属している事業所に対する満足度はいかがですか。(1つに○)

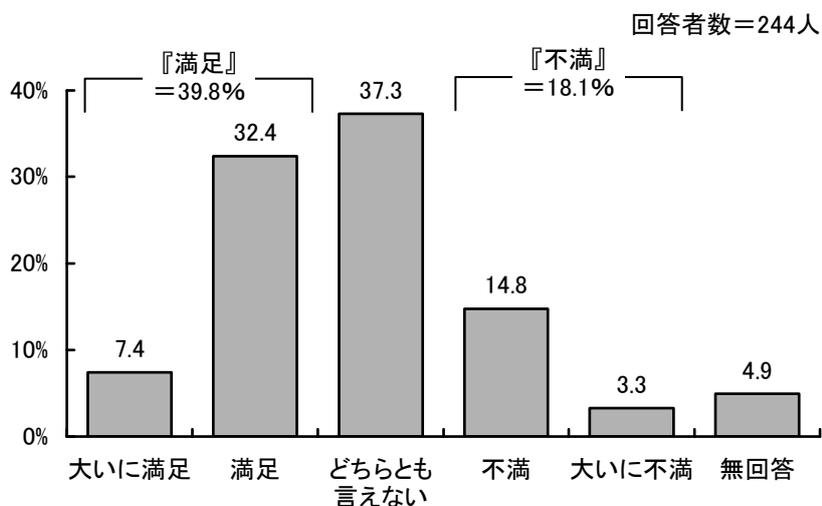
業務に対する満足度をみると、「どちらとも言えない」51.6%がもっとも高い。「大いに満足」2.9%、「満足」26.6%をあわせた『満足』は29.5%、「不満」12.7%、「大いに不満」1.6%をあわせた『不満』は14.3%となっている。

勤務先に対する満足度をみると、『満足』が39.8%、『不満』が18.1%となっている。

図表7-34 業務に対する満足度(単数回答)



図表7-35 勤務先に対する満足度(単数回答)



※『満足』 = 「大いに満足」 + 「満足」 『不満』 = 「不満」 + 「大いに不満」

業務に対する満足度について、『不満』の割合に着目すると、性別では男性、年齢別では60歳代、実務年数では1年未満の人において、それぞれ他に比べて『不満』と回答した人の割合がもっとも高くなっている。

図表7-36 業務に対する満足度

		回答者数(人)	大いに満足	満足	どちらとも言えない	不満	大いに不満	無回答	『満足』	『不満』
全 体		244	2.9	26.6	51.6	12.7	1.6	4.5	29.5	14.3
性別	男性	53	5.7	24.5	49.1	18.9	1.9	0.0	30.2	20.8
	女性	190	2.1	26.8	52.6	11.1	1.6	5.8	28.9	12.7
年齢別	20歳代	5	0.0	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0
	30歳代	45	8.9	24.4	53.3	11.1	2.2	0.0	33.3	13.3
	40歳代	75	1.3	20.0	61.3	13.3	1.3	2.7	21.3	14.6
	50歳代	74	0.0	27.0	51.4	12.2	1.4	8.1	27.0	13.6
	60歳代	38	2.6	34.2	36.8	15.8	2.6	7.9	36.8	18.4
	70歳以上	6	16.7	66.7	0.0	16.7	0.0	0.0	83.4	16.7
実務年数別	1年未満	21	4.8	23.8	47.6	14.3	4.8	4.8	28.6	19.1
	1年以上3年未満	40	5.0	30.0	50.0	12.5	2.5	0.0	35.0	15.0
	3年以上5年未満	46	2.2	28.3	50.0	13.0	0.0	6.5	30.5	13.0
	5年以上7年未満	51	3.9	29.4	51.0	9.8	2.0	3.9	33.3	11.8
	7年以上	82	1.2	22.0	56.1	14.6	1.2	4.9	23.2	15.8

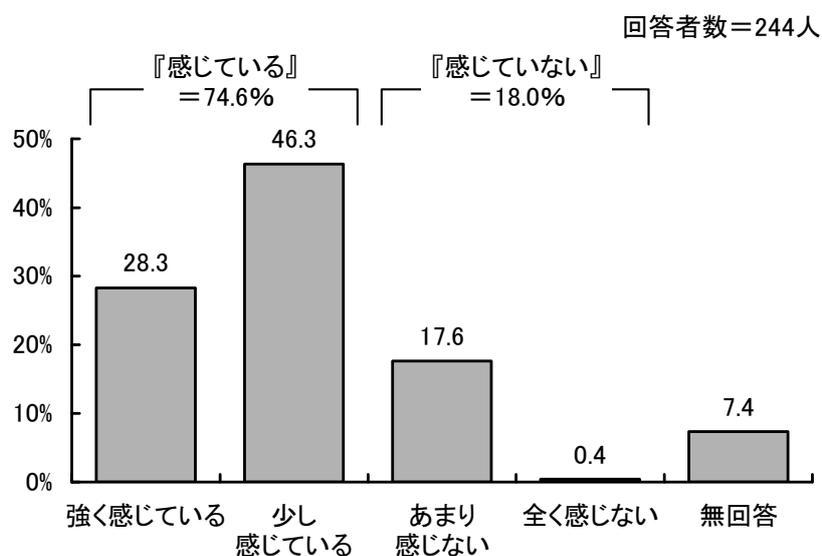
※『満足』＝「大いに満足」＋「満足」 『不満』＝「不満」＋「大いに不満」

(3) ケアマネジメント業務に関するストレスの有無

問 28 ケアマネジメント業務を行う中で、あなたはストレスを感じていますか。(1つに○)

ケアマネジメント業務に関するストレスの有無をみると、「少し感じている」46.3%がもっとも高く、「強く感じている」28.3%をあわせた74.6%、約4人に3人が『感じている』と回答している。「あまり感じない」は17.6%、「全く感じない」0.4%であった。

図表7-37 ケアマネジメント業務に関するストレスの有無(単数回答)



※『感じている』 = 「強く感じている」 + 「少し感じている」

※『感じていない』 = 「あまり感じない」 + 「全く感じない」

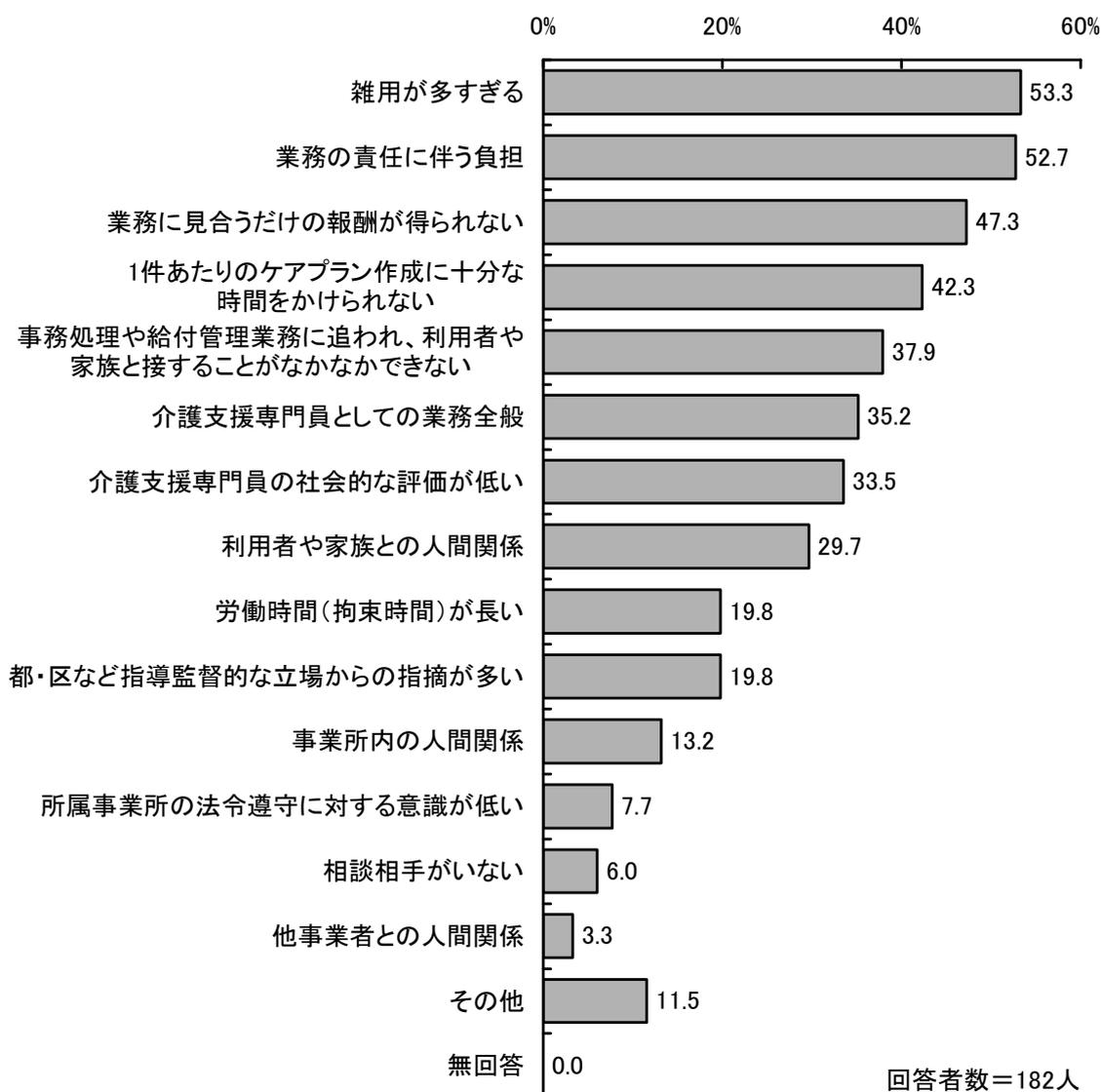
(4) ケアマネジメント業務に関するストレスの内容

問 28 で「1. 強く感じている」「2. 少し感じている」方におうかがいします。

問 28-1 どのようなことにストレスを感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

ストレスの内容としては、「雑用が多すぎる」「業務の責任に伴う負担」が5割を超えている。次いで、「業務に見合うだけの報酬が得られない」「1件あたりのケアプラン作成に十分な時間をかけられない」が4割台、「事務処理や給付管理業務に追われ、利用者や家族と接することがなかなかできない」「介護支援専門員としての業務全般」「介護支援専門員の社会的な評価が低い」が3割台となっている。

図表7-38 ストレスの内容(複数回答)



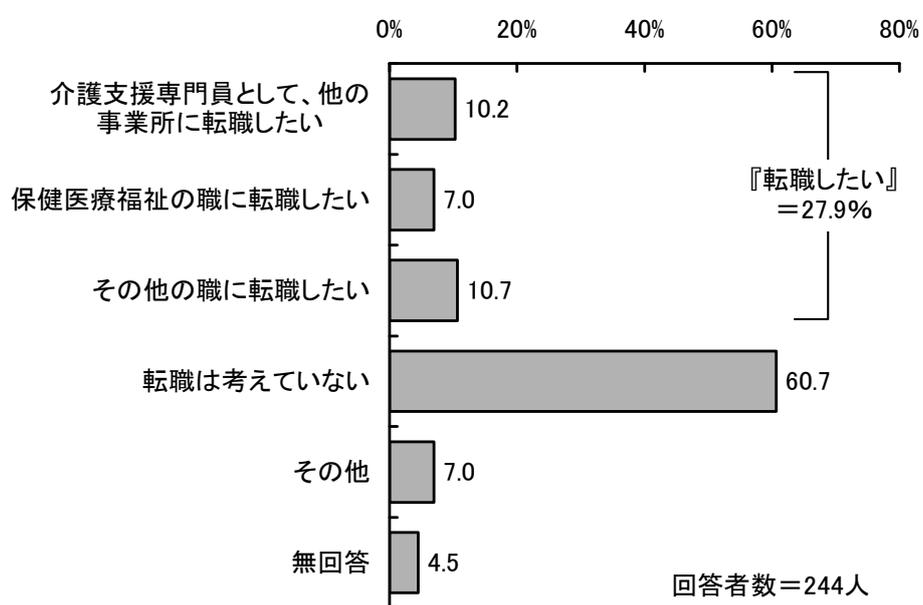
(5) 転職意向

問 29 あなたは現在、転職を考えていますか。(1つに○)

転職意向をみると、「転職は考えていない」は60.7%であり、27.9%が『転職したい』と回答している。

具体的には、「その他の職に転職したい」10.7%、「介護支援専門員として、他の事業所に転職したい」10.2%、「保健医療福祉の職に転職したい」7.0%となっている。

図表7-39 転職意向(単数回答)



※『転職したい』 = 「介護支援専門員として、他の事業所に転職したい」
+ 「保健医療福祉の職に転職したい」 + 「その他の職に転職したい」

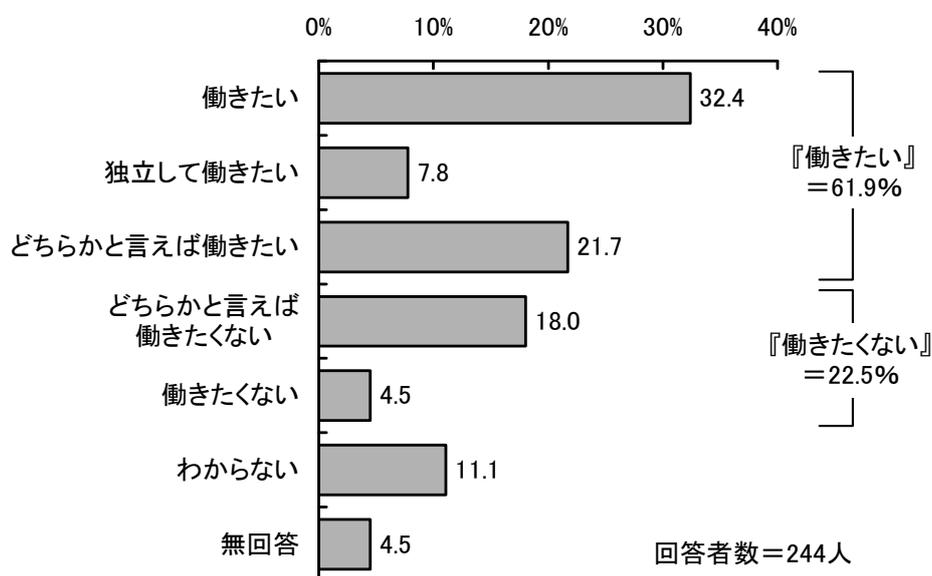
(6) 介護支援専門員としての就労意向

問 30 あなたは今後も介護支援専門員として働いていきたいと思いませんか。(1つに○)

介護支援専門員としての就労意向をみると、「働きたい」32.4%、「どちらかと言えば働きたい」21.7%の順であり、これに「独立して働きたい」7.8%をあわせた61.9%が『働きたい』と回答している。一方、「どちらかと言えば働きたくない」18.0%、「働きたくない」4.5%をあわせた『働きたくない』は22.5%となっている。

実務年数別にみると、実務年数が短い層の就労意向が高く、1年未満の人では76.2%が『働きたい』と意向を示している。

図表7-40 介護支援専門員としての就労意向(単数回答)



図表7-41 介護支援専門員としての就労意向

	回答者数(人)	働きたい	独立して働きたい	どちらかと言えば働きたい	どちらかと言えば働きたくない	働きたくない	わからない	無回答	『働きたい』	『働きたくない』	
全体	244	32.4	7.8	21.7	18.0	4.5	11.1	4.5	61.9	22.5	
実務年数別	1年未満	21	38.1	14.3	23.8	9.5	0.0	14.3	0.0	76.2	9.5
	1年以上3年未満	40	32.5	12.5	17.5	20.0	7.5	7.5	2.5	62.5	27.5
	3年以上5年未満	46	28.3	6.5	28.3	13.0	6.5	10.9	6.5	63.1	19.5
	5年以上7年未満	51	41.2	7.8	11.8	21.6	3.9	11.8	2.0	60.8	25.5
	7年以上	82	26.8	4.9	26.8	19.5	3.7	12.2	6.1	58.5	23.2

※『働きたい』 = 「働きたい」 + 「独立して働きたい」 + 「どちらかと言えば働きたい」

※『働きたくない』 = 「どちらかと言えば働きたくない」 + 「働きたくない」

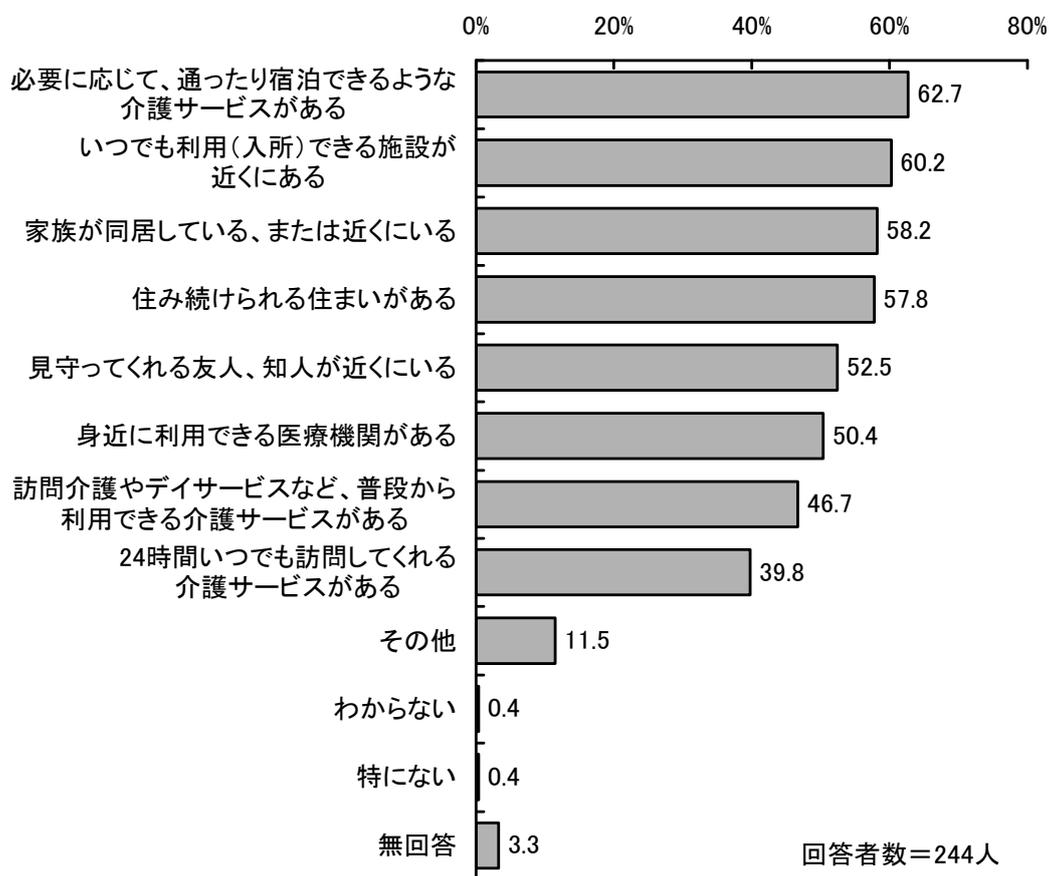
7. 今後の区の施策等について

(1) 在宅生活の継続に必要な条件

問 31 介護支援専門員として、利用者が在宅生活を続けていくために必要だと考えていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

在宅生活の継続に必要な条件をみると、「必要に応じて、通ったり宿泊できるような介護サービスがある」62.7%、「いつでも利用(入所)できる施設が近くにある」60.2%、「家族が同居している、または近くにいる」58.2%、「住み続けられる住まいがある」57.8%、「見守ってくれる友人、知人が近くにいる」52.5%が、上位5項目にあげられている。

図表7-42 在宅生活の継続に必要な条件(複数回答)



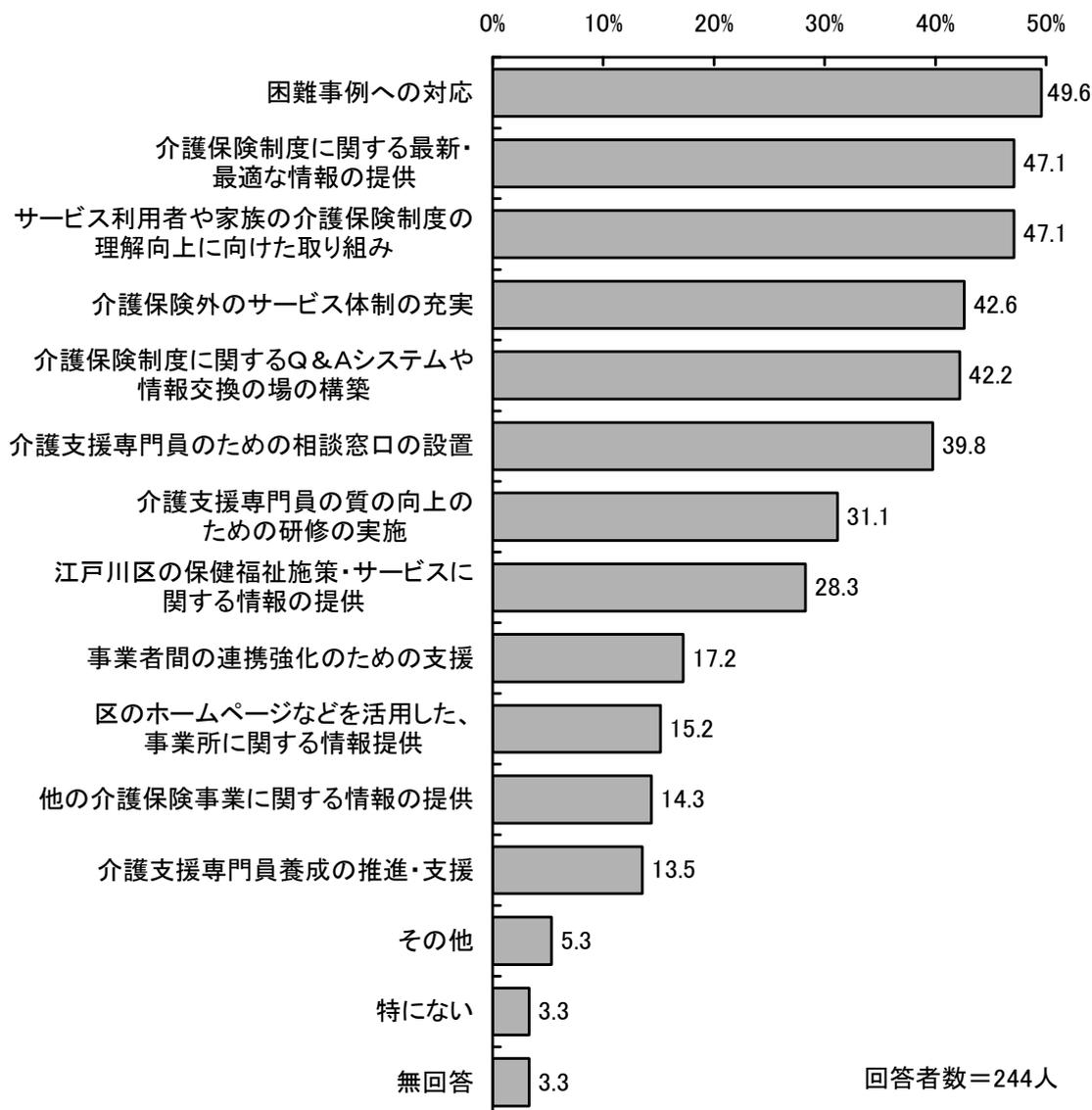
(2) 区に支援・充実してほしいと思うこと

問 32 介護支援専門員として、江戸川区に支援・充実してほしいと思うことはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

区に支援・充実してほしいと思うこととしては、「困難事例への対応」49.6%、「介護保険制度に関する最新・最適な情報の提供」「サービス利用者や家族の介護保険制度の理解向上に向けた取り組み」各 47.1%、「介護保険外のサービス体制の充実」42.6%、「介護保険制度に関するQ&Aシステムや情報交換の場の構築」42.2%が上位5項目であり、それぞれ4割を超えている。次いで、「介護支援専門員のための相談窓口の設置」39.8%、「介護支援専門員の質の向上のための研修の実施」31.1%が続いている。

図表7-43 区に支援・充実してほしいと思うこと(複数回答)



(3) 区への要望・意見

最後に、江戸川区が熟年者の保健福祉施策や介護保険事業を推進していくにあたり、ご意見等がありましたら、自由にご記入ください。

(100 件について分類・要約して記載)

【1】区民向けの施策に対する意見・要望(44 件より抜粋)

- ・在宅介護には限界があるので、お金のない方でも入れる入所施設を増やしてほしい。
- ・平井地区の配食サービスはひとつしかないので、他の事業所も選択できるといいと思う。
- ・特養の増設。待機待ちのないようにしてほしい。
- ・軽度者への福祉用具の貸与について、実態に応じて柔軟に対応してほしい（今までのように）。
- ・介護保険で利用できる事とできない事を印刷物だけでなく、高齢者に周知してほしい。
- ・区の熟年福祉サービスの見直し。例えば、激励手当は低所得者のみでよいのではないか？
- ・介護予防の充実。熟年健診で該当した方へのアプローチ含め、利用できるサービスの見直し（半日コースの設定など）を。
- ・独居の高齢者でも、安心して在宅生活できるような施策が必要。
- ・ヘルパーさんを家政婦と勘違いしている利用者が多い。区からも情報を常に流してほしい。トラブルもそういう認識の違いから生じている。
- ・緊急時に利用できるショートステイの充実とともに、医療処置があっても利用できるショートステイ、入所先を増やしてほしい。
- ・第 2 号被保険者で、高次脳機能障害を持つ方が増えてきているので、それらの方を対象にした福祉施設を充実してほしい。
- ・紙おむつ支給に関し、押し入れ一杯に積まれたおむつや、不要になった際の処分を相談されることも多く、ムダを生じさせないためにも何か良い方法はないのかと思う。
- ・独居の方や生活保護の方の緊急対処時、土・日曜日に行政の相談窓口がないのは対処に困ることもある。土・日しか休めない家族もいるので、対応して頂けると良い。
- ・介護予防として、スポーツセンター、健康サポートセンター等、常時（随時）利用できるよう充実してほしい。

【2】事業者への支援に関する意見・要望(47 件より抜粋)

- ・地域包括支援センターとして居宅介護支援事業所に予防プランを委託するが、きちんとプランも作れない人が多い。ケアマネジャーのレベルを向上させる必要がある。
- ・医療との連携を取りやすくしてほしい。特に介護保険の事があまりわからない主治医がおり、連携が深まらないことがある。
- ・虐待の対応をもっとして頂きたい。
- ・ケアマネジャー自身も努力が必要だが、区もケアマネジャーへの指導を丁寧に良くしてほしい。
- ・主任ケアマネ研修を受けられる範囲が狭いと思う。地域包括支援センターも良いが、一般の施設や事業所を利用するのも良いかもしれない。
- ・地域包括ケア実現のためにどうしていくのか、地域包括支援センターの機能を強化するためにどうするのか、地域でどう展開していくのかのモデルをきちんと区から示すべきではないか。
- ・区内の高齢者用住宅の情報をホームページで見られると助かる（高専賃、高優賃、シルバーピアの空き、受け入れ条件等）。
- ・介護老人保健施設や特別養護老人ホームに勤務するケアマネジャーの業務内容、施設プランの作成等、施設のケアマネジメントの情報をたくさんほしい。

- ・質の向上ができるよう、スタッフ等（ケアマネジャー、介護スタッフ）の指導について力を入れてほしい。
- ・介護保険以外の事業、サービス内容等を事業者向けに説明する会を行ってほしい。
- ・厚労省から出された最新情報を、区としてはどのような見解で判断しているのか等、年に数回程度ケアマネジャーを集めて説明会を開催してほしい。
- ・認定結果が翌月になってしまう時は、連絡してほしい。
- ・居宅サービス計画作成のための認定情報や意見書の開示に、1週間もかかるのはどうしてか。良いプランを作成するため、情報を早くケアマネジャーに出せるように検討してほしい。

【3】その他の意見・要望(9件より抜粋)

- ・福祉に限らず、民間企業やNPOの活用が進んでいるが、偏りがあるように思う。利用者サイドにとって本当に使いやすいサービスなのか？環境は良いか？もっとかゆい所に手の届く細やかなサービスの工夫を求めたい。
- ・地域福祉の理念に則り、地域住民の意識を呼び起こして、より具体的な支援を行う政策を期待する。
- ・江戸川区内の地域包括支援センターは少ないと感じる。中学校区とまではいかないが、もう少しあっても良いのではないか？
- ・今回のこのアンケートの集計結果と、分析した結果を教えてください。

【3】 参考資料

調査票

江戸川区 健康と生きがいに関する調査

—ご記入にあたってのお願い—

◇回答は、封筒のあて名の方ご本人について記入してください。
 ◇ご記入いただいた調査票は三つ折にして、同封した返信用封筒に入れ、
12月15日(水)までにポストに投かんしてください。切手は不要です。
 ◇返信用封筒の裏に、差出人のご住所、お名前等を書く必要はありません。

◆あなたご自身についておうかがいします

問1 あなたの性別、平成22年11月1日現在の満年齢をお答えください。

1. 男性	2. 女性	満()歳 ※年齢を記入してください
-------	-------	--------------------

問2 あなたのお住まいはどこですか。記入例を参考に記入してください。丁目がない場合は、町名だけ記入してください。

町 名 ()	()丁目
記入例 (中 央)	(1)丁目

問3 あなたの現在の世帯の構成は、次のうちどれですか。(1つに○)

1. ひとり暮らし
2. 夫婦のみ
3. 子どもと同居
4. 子どもと孫と同居
5. 親と同居
6. 親と子どもと同居
7. その他 ()

問4 あなたの現在のお住まいは、次のうちどれですか。(1つに○)

- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 一戸建て(持ち家) 2. 一戸建て(賃貸) | <ol style="list-style-type: none"> 3. 分譲マンション 4. 賃貸のマンション・アパート 5. 都営・区営・公団などの公営住宅 6. その他 () |
|---|--|

★マンションやアパート等にお住まいの方(問4で3~6に○)におうかがいします。

問4-1 現在、何階で生活していますか。また、2階以上で生活している場合、エレベーターはありますか。(それぞれ1つに○)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 1階 2. 2階 3. 3~5階 4. 6階以上 	<p style="text-align: center;">→ エレベーターの有無</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ある 2. ない
--	---

問5 あなたと配偶者(ひとり暮らしの方は、あなたのみ)の収入は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 年金収入 2. 給与収入 3. 事業収入 4. 不動産収入 | <ol style="list-style-type: none"> 5. 生活保護受給 6. 家族からの援助 7. その他 () |
|---|---|

問6 あなたと配偶者(ひとり暮らしの方は、あなたのみ)の税込みの年収(年金を含む)の合計は、次のうちどれですか。(1つに○)

1. 100万円未満
2. 100万円~300万円未満
3. 300万円~500万円未満
4. 500万円~700万円未満
5. 700万円~1,000万円未満
6. 1,000万円以上

◆健康や介護予防についておうかがいします

問 7 あなたには、かかりつけの医師（※）がいますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 区内にいる
2. 区外にいる
3. いない

※日頃から自分または家族の健康状態をよく知っていて、日常的な健康管理をまかせられる医師

問 8 あなたは、ご自分の健康状態について、どのように感じていますか。（1つに○）

1. とても健康だと思う
2. まあまあ健康だと思う
3. あまり健康ではないと思う
4. 健康ではないと思う

問 9 あなたは、現在かかっている、または治療中の病気がありますか。
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------------|---------|
| 1. 高血圧 | 19. その他 |
| 2. 脳卒中（脳出血・脳こうそく等） | () |
| 3. 心臓病 | 20. 特にな |
| 4. 糖尿病 | |
| 5. 高脂血症（脂質異常） | |
| 6. 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等） | |
| 7. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 | |
| 8. 腎臓・前立腺の病気 | |
| 9. 婦人科系の病気（子宮・卵巣・乳房等） | |
| 10. 筋骨格の病気（関節炎・骨粗しょう症等） | |
| 11. 外 傷（転倒・骨折等） | |
| 12. が ん（新生物） | |
| 13. うつ病 | |
| 14. 認知症（アルツハイマー病等） | |
| 15. パーキンソン病 | |
| 16. 目の病気（白内障・緑内障等） | |
| 17. 耳の病気（難聴等） | |
| 18. 歯の病気（歯周病・義歯調整等） | |

問 10 あなたは、健康な生活を送るために、日ごろから心がけていることはありますか。
（あてはまるものすべてに○）

1. 栄養バランスのとれた食事をする
2. 散歩など、できるだけ歩くようにする
3. 体力をつけるための体操や運動をする
4. 健康診断などを定期的に受ける
5. 休養や睡眠を十分にとる
6. タバコを吸わない
7. お酒を飲み過ぎない
8. 家にもらず、外出するようにする
9. 趣味や地域活動などに取り組む
10. その他 ()
11. 特に心がけていることはない

いつまでもいきいきと自分らしく生きること、それを実現するための手立てが介護予防です。病気の予防だけでなく、生活機能の低下をいち早く発見し、元気なうちから介護予防に取り組むことが重要です。

問 11 あなたは「介護予防」について、どのくらい知っていますか。（1つに○）

1. 意義や内容を理解している
2. 聞いたことはあるが、内容はよくわからない
3. 全く知らない

問 12 あなたは、健康づくりや介護予防について、どちらから情報を得ていますか。
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------|------------------|
| 1. テレビ・ラジオ | 7. 区が提供する教室・セミナー |
| 2. インターネット | 8. 広報えどがわ |
| 3. 書籍・新聞・雑誌 | 9. 区の窓口 |
| 4. 友人・知人 | 10. 地域包括支援センター |
| 5. 医療関係 | 11. 健康サポートセンター |
| 6. 介護関連施設 | 12. その他 () |
| | 13. 特にな |

問 13 区では健康づくりや介護予防のためのセミナーや講座、イベントなどを実施していますが、あなたは参加したことがありますか。(1つに○)

- | | | | |
|--------------|--------------|---|--------|
| 1. 参加したことはない | 2. 参加したことがある | } | 問 14 へ |
| | 3. わからない | | |

★参加したことがない方(問13で1に○)におうかがいします。

→ 問 13-1 参加したことがない理由は、次のどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 健康づくりや介護予防は個人で取り組みたい
2. 介護予防教室等の開催を知らない
3. 時間がない
4. 興味のある講座がない
5. 仲間や知り合いがない
6. 日程や回数の点で利用しにくい
7. 開催場所が遠い、または交通の便が悪い
8. 現在、特に必要性を感じない
9. 体をきたえる必要性を感じない
10. その他 ()
11. 特に理由はない

問 14 あなたは、今後、自分らしく介護を必要としない健康な生活を送るための「介護予防」の取り組みを、していきたいと考えていますか。

(もっとも近い考え1つに○)

1. 積極的に取り組みたい
2. 取り組みたい
3. どちらともいえない
4. あまり取り組みたくない
5. 取り組まない

◆就労、社会参加、生きがいづくりについておうかがいします

問 15 あなたは、現在、収入のある仕事をしていますか。(1つに○)

1. 常勤の社員・職員
2. 非常勤・嘱託・パート・アルバイト
3. 自営業・自営業手伝い、自由業
4. 熟年人材センターでの仕事
5. その他 ()
6. 仕事はしていない

問 16 あなたは、今後、収入のある仕事をしたい・続けたいと考えていますか。
(1つに○)

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 常勤の社員・職員 2. 非常勤・嘱託・パート・アルバイト 3. 自営業・自営業手伝い、自由業 4. 熟年人材センターでの仕事 5. その他 () | <ol style="list-style-type: none"> 6. 仕事をするつもりはない・する必要がない 7. 仕事はできない |
| ↓ | |
| 問 17 へ | |

★今後仕事をしたいと考えている方(問16で1～5に○)におうかがいします。

→ 問 16-1 それはどのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 経済的に働く必要があるため | 5. 持っている技術や資格を活かすため |
| 2. 生活にゆとりがほしいため | 6. 健康のため |
| 3. 将来の蓄え(預貯金)のため | 7. 時間に余裕があるため |
| 4. 生きがいを得るため | 8. その他 () |

→ 問 16-2 何歳くらいまで働きたいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|--------------------|
| 1. 65歳くらいまで | 5. 80歳以上 |
| 2. 70歳くらいまで | 6. 元気であればいつまでも働きたい |
| 3. 75歳くらいまで | 7. その他 () |
| 4. 80歳くらいまで | 8. わからない |

問 17 あなたは、現在、どのような余暇活動や社会参加活動をしていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 趣味・楽しみのための活動
2. 習い事や講座などの教養・学習活動
3. 体操、ウォーキング、水泳などの健康づくり・スポーツ活動
4. 町会・自治会・商店会の活動
5. くすのきクラブの活動
6. ボランティアやNPO活動
7. その他 ()
8. 特にしていない

問 18 あなたは、今後、どのような余暇活動や社会参加活動をしていきたいと思いませんか。(あてはまるものすべてに○)

1. 趣味・楽しみのための活動
2. 習い事や講座などの教養・学習活動
3. 体操、ウォーキング、水泳などの健康づくり・スポーツ活動
4. 町会・自治会・商店会の活動
5. くすのきクラブの活動
6. ボランティアやNPO活動
7. その他 ()
8. 特にしたい活動はない

問 19 次のようなボランティア活動について、あなたが取り組んでみたいと思う活動はありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 社会福祉施設での手伝い
2. 地域の高齢者の支援活動(見守りや話し相手、日常生活の支援など)
3. 子どもの健全育成活動(放課後の遊び相手や話し相手など)
4. 趣味や技術を活かした活動(演奏やレクリエーション指導など)
5. 地域の安全を守る活動(防犯パトロールなど)
6. 環境を守る活動(清掃やリサイクル、自然保護など)
7. 災害時の救援・支援活動
8. その他 ()
9. 特にない

問 20 あなたは、趣味や生活に必要な情報を得るために、パソコンなどのインターネットを利用することがありますか。(1つに○)

1. よく利用する
2. ときどき利用する
3. 利用したことはない

問 21 あなたは、ご近所の方との程度のつきあいをしていますか。(1つに○)

1. 家を行き来するなど親しいつきあいがある
2. 立ち話をする程度のつきあいがある
3. あいさつをする程度のつきあいがある
4. 近所づきあいはほとんどない

問 22 あなたは、ふだん、どのくらいご家族(同居を含む)・ご親族や知人等と話をしていますか(電話やメールを含む)。(1つに○)

1. ほぼ毎日
2. 週4～5日くらい
3. 週2～3日くらい
4. 週1日くらい
5. 週1日より少ない・ほとんど話をしない

◆地域の高齢者やその家族のさまざまな相談に対応する機関として、区内 14 か所に「地域包括支援センター」が設置されています。

問 27 あなたは、地域包括支援センターについて、どのくらい知っていますか。(1つに○)

- 1. 内容をよく知っている
- 2. だいたいの内容は知っている
- 3. 名前は知っているが内容は知らない
- 4. まったく知らない →問 28 へ

★内容や名前を知っている方(問 27 で 1～3 に○)におうかがいします。

→問 27-1 地域包括支援センターを利用したことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 相談で利用した
- 2. 介護保険及び生活支援等の受付で利用した
- 3. 講座・教室に参加した
- 4. その他 ()

} 問 28 へ

- 5. 利用したことはない

→問 27-2 「利用したことはない」方におうかがいします。利用したことがない理由は次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 利用する必要がないから
- 2. 場所がわからないから
- 3. 場所は知っているが遠いから
- 4. その他 ()

問 28 あなたは、介護保険サービスの利用のあり方について、どのようなお考えをお持ちですか。(1つに○)

- 1. 利用できるサービスはどんどん利用すべきだと思う
- 2. 必要なサービスだけを利用すべきだと思う
- 3. サービスはできるだけ利用しない方がよいと思う
- 4. わからない

問 29 介護保険の保険料について、家計への影響は次のうちどれに近いですか。(1つに○)

- 1. 大きい
- 2. やや大きい
- 3. 適当である
- 4. やや小さい
- 5. 小さい
- 6. わからない

問 30 江戸川区の熟年者施策について、あなたはどのように感じますか。(1つに○)

- 1. とても充実している
- 2. まあ充実している
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり充実していない
- 5. 充実していない

そのように感じている理由は何ですか

問 31 江戸川区が今後充実すべきと思う熟年者施策は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 健康づくりや介護が必要にならないための支援
- 2. 熟年者の就労や社会参加の支援
- 3. 配食や買い物、ごみ出し等の生活支援
- 4. 在宅生活を支える医療ケアなど医療の充実
- 5. 在宅生活を支える介護サービス
- 6. 介護が必要になっても住み続けられる住まいの整備
- 7. 介護を受けられる入所施設の整備
- 8. ひとり暮らしの人等を地域で見守るネットワークづくり
- 9. 介護する家族に対する支援
- 10. 介護保険制度や区の熟年者施策に関する情報提供
- 11. 申請や相談がしやすい窓口の整備
- 12. 判断能力が低下した場合の支援や熟年者の人権擁護
- 13. 段差解消や歩道の整備など、安全なまちづくり
- 14. その他 ()
- 15. 特にない

◆介護の経験についておうかがいします

問 32 あなたは、ご家族またはご親族の介護をしたことがありますか。(1つに○)

- 1. 現在、介護をしている
- 2. 過去に介護をしたことがある
- 3. 介護をしたことはない

★介護経験がある方(問 32 で1または2に○)におうかがいします。

→問 32-1 どなたを介護していますか、またはしましたか。あなたからみた続柄でお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 配偶者
- 2. 自分の親
- 3. 配偶者の親
- 4. 兄弟姉妹
- 5. その他の家族・親族

→問 32-2 介護をするうえで、困ることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 精神的にストレスがたまる
- 2. 身体的につらい
- 3. 経済的な負担が大きい
- 4. 自分の自由になる時間がもてない
- 5. 介護のことが気になって、思うように外出できない
- 6. 仕事や家事や育児が思うようにできない
- 7. 先の見通し・予定が立てられない
- 8. 介護に関して相談できる相手がいない
- 9. 介護の方法がわからない
- 10. 介護者のためのリフレッシュの機会が少ない
- 11. ストレスからイライラして本人に当たってしまうことがある
- 12. 家族や親族の協力が得られない
- 13. その他 ()
- 14. 特にない

次ページの間 32-3 にも回答してください

→問 32-3 介護をしているご家族に対して、どのような支援やサービスがあると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 映画鑑賞への招待などリフレッシュへの支援
- 2. はり・きゅう・マッサージ券(激励三療券)の配付
- 3. 介護者同士の交流の場の提供
- 4. 介護のコツなどが学べる介護教室の開催
- 5. 介護に関する相談支援の充実
- 6. 冠婚葬祭・急病時等に預けられる緊急ショートステイ
- 7. 必要に応じて夜間の利用や宿泊ができるサービスや施設
- 8. 経済的支援の充実
- 9. その他 ()
- 10. 特にない

江戸川区へのご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

返信用封筒に入れて、12月15日(水)までに、ポストに投かんしてください。

江戸川区 熟年者の健康と生きがいに関する調査

—ご記入にあたってのお願い—

- ◇回答は、封筒のあて名の方ご本人について記入してください。
できるだけあて名のご本人がご回答ください。
- ◇あて名のご本人がご病気等でお答えになれない場合、ご家族の方などが、ご本人に代わり、ご回答ください。
- ◇あて名のご本人が入院・入所している場合は、入院・入所前の状況をご回答ください。
- ◇ご記入いただいた調査票は三つ折にして、同封した返信用封筒に入れ、**12月15日(水)**までにポストに投かんしてください。切手は不要です。
- ◇返信用封筒の裏に、差出人のご住所、お名前等を書く必要はありません。

問1 はじめに、この調査票に回答される方はどなたですか。(1つに○)

1. あて名のご本人 (代筆・代読を含む)	
2. 家族	
3. その他の方 ()	

◆あなたご自身についておうかがいします

問2 あなた(あて名のご本人)の性別、平成22年11月1日現在の満年齢をお答えください。

1. 男性	2. 女性	満 () 歳	※年齢を記入してください
-------	-------	---------	--------------

問3 あなた(あて名のご本人)のお住まいはどこですか。記入例を参考に記入してください。丁目がない場合は、町名だけ記入してください。

町名 ()	()丁目
記入例 (中 央)	(1)丁目

問4 あなた(あて名のご本人)の現在の世帯の構成は、次のうちどれですか。(1つに○)

1. ひとり暮らし	5. 親と同居
2. 夫婦のみ	6. 親と子どもと同居
3. 子どもと同居	7. その他 ()
4. 子どもと孫と同居	

問5 あなた(あて名のご本人)は、日中、家にひとりであることがどのくらいありますか。(1つに○)

1. ひとりになることはほとんどない	
2. 週1日くらい	
3. 週2～3日くらい	
4. 週4日以上	

問6 あなた(あて名のご本人)の現在のお住まいは、次のうちどれですか。(1つに○)

1. 一戸建て(持ち家)	3. 分譲マンション
2. 一戸建て(賃貸)	4. 賃貸のマンション・アパート
	5. 都営・区営・公団などの公営住宅
	6. その他 ()

★マンションやアパート等にお住まいの方(問6で3～6に○)におうかがいします。

問6-1 現在、何階で生活していますか。また、2階以上で生活している場合、エレベーターはありますか。(それぞれ1つに○)

1. 1階	
2. 2階	→ エレベーターの有無 1. ある 2. ない
3. 3～5階	
4. 6階以上	

問7 あなた（あて名のご本人）と配偶者（ひとり暮らしの方は、あなたのみ）の収入は、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------|------------|
| 1. 年金収入 | 5. 生活保護受給 |
| 2. 給与収入 | 6. 家族からの援助 |
| 3. 事業収入 | 7. その他（ ） |
| 4. 不動産収入 | |

問8 あなた（あて名のご本人）と配偶者（ひとり暮らしの方は、あなたのみ）の税込みの年収（年金を含む）の合計は、次のうちどれですか。（1つに○）

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 100万円未満 | 4. 500万円～700万円未満 |
| 2. 100万円～300万円未満 | 5. 700万円～1,000万円未満 |
| 3. 300万円～500万円未満 | 6. 1,000万円以上 |

◆健康や介護予防についておうかがいします

問9 あなた（あて名のご本人）は、ご自分の健康状態について、どのように感じていますか。（1つに○）

1. とても健康だと思う
2. まあまあ健康だと思う
3. あまり健康ではないと思う
4. 健康ではないと思う

問10 あなた（あて名のご本人）には、かかりつけの医師（※）がいますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 区内にいる
2. 区外にいる
3. いない

※日頃から自分または家族の健康状態をよく知っていて、日常的な健康管理をまかせられる医師

問11 あなた（あて名のご本人）は、現在かかっている、または治療中の病気がありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 高血圧 | 11. 外傷（転倒・骨折等） |
| 2. 脳卒中（脳出血・脳こうそく等） | 12. がん（新生物） |
| 3. 心臓病 | 13. うつ病 |
| 4. 糖尿病 | 14. 認知症（アルツハイマー病等） |
| 5. 高脂血症（脂質異常） | 15. パーキンソン病 |
| 6. 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等） | 16. 目の病気（白内障・緑内障等） |
| 7. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 | 17. 耳の病気（難聴等） |
| 8. 腎臓・前立腺の病気 | 18. 歯の病気（歯周病・義歯調整等） |
| 9. 婦人科系の病気（子宮・卵巣・乳房等） | 19. その他（ ） |
| 10. 筋骨格の病気（関節炎・骨粗しょう症等） | 20. 特にない |

問12 あなた（あて名のご本人）は、現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか。（1つに○）

- | | |
|--------|-----------|
| 1. 1種類 | 4. 4種類 |
| 2. 2種類 | 5. 5種類以上 |
| 3. 3種類 | 6. 飲んでいない |

いつまでもいきいきと自分らしく生きること、それを実現するための手立が介護予防です。病気の予防だけでなく、生活機能の低下をいち早く発見し、元気なうちから介護予防に取り組むことが重要です。

問13 あなた（あて名のご本人）は、現在、介護予防のための取り組みをしていますか。（1つに○）

1. 積極的に取り組んでいる
2. たまに取り組んでいる
3. 取り組んでいないが、取り組む必要性は感じている
4. 関心はあるが、現在は取り組むほどの必要性を感じない
5. あまり関心はない

問 14 介護予防に取り組みやすくするには、どのような環境・条件が必要だと
思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護予防の必要性や効果等について広く情報提供されている
2. 楽しみながら参加できる活動である (例えば:)
3. からだの機能の回復が実感できる
4. 区民館等、身近な場所で活動できる
5. いっしょに取り組む仲間がいる
6. 自主的な取り組みに対して活動費の助成がある
7. 活動に継続して取り組むと特典が得られる
8. その他 ()
9. 特にない

問 15 あなた(あて名のご本人)が、今後、続けたい・新たに参加したいと思
う活動が、以下の中にありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. リズム運動 (熟年者がコミュニティ会館などで行う社交ダンスを取り入れた軽運動)
2. くすのきカルチャーセンター (熟年者を対象とした趣味や教養の教室)
3. 熟年ふれあいセンター (ふれあいの機会・生きがいつくりの場を提供し、閉じこも
りや介護が必要な状態になることを予防する活動を行う)
4. 熟年スポーツトレーニング (スタジオやプールで無理なく、楽しく運動する)
5. 地域ミニデイサービス (身近な町会会館を利用して、会食や趣味活動、健康づくり
などを行う)
6. いずれも参加したいとは思わない

◆あなたの日常生活についておうかがいします

問 16 あなた(あて名のご本人)の日常生活等についておうかがいします。
①～⑰について、それぞれあてはまる番号1つに○をしてください。

- | | | | | |
|----------------|---|---------|--------------|---------|
| ①バスや電車で一人で外出する | → | 1. している | 2. できるがしていない | 3. できない |
| ②日用品の買い物をする | → | 1. している | 2. できるがしていない | 3. できない |
| ③自分で食事の用意をする | → | 1. している | 2. できるがしていない | 3. できない |
| ④掃除や洗濯をする | → | 1. している | 2. できるがしていない | 3. できない |
| ⑤請求書の支払いをする | → | 1. している | 2. できるがしていない | 3. できない |
| ⑥預貯金の出し入れをする | → | 1. している | 2. できるがしていない | 3. できない |
| ⑦自分でご飯を食べる | → | 1. できる | 2. 介助があればできる | 3. できない |
| ⑧ベッド(寝床)へ移動する | → | 1. できる | 2. 介助があればできる | 3. できない |
| ⑨洗面や歯磨きをする | → | 1. できる | 2. 介助があればできる | 3. できない |
| ⑩座っていること | → | 1. できる | 2. 支えが必要 | 3. できない |
| ⑪トイレで排泄をする | → | 1. できる | 2. 介助があればできる | 3. できない |
| ⑫自分で入浴をする | → | 1. できる | 2. 介助があればできる | 3. できない |
| ⑬50メートル以上歩く | → | 1. できる | 2. 介助があればできる | 3. できない |
| ⑭階段を昇り降りする | → | 1. できる | 2. 介助があればできる | 3. できない |
| ⑮自分で着替えをする | → | 1. できる | 2. 介助があればできる | 3. できない |
| ⑯大便の失敗 | → | 1. ない | 2. ときどきある | 3. よくある |
| ⑰小便の失敗 | → | 1. ない | 2. ときどきある | 3. よくある |

問 17 以下の①～④のすべてについて、あなた（あて名のご本人）に「あてはまる」ことに○をしてください。

①運動や転倒

1. 階段は手すりや壁をつたわずに昇っている
2. 椅子から立ち上がる時、つかまらない
3. 15分位続けて歩いている
4. 昨年と比べて外出の回数が減った
5. この1年間に転んだことがある
6. 転倒に対する不安がある
7. 背中が丸くなってきた
8. 歩く速度が遅くなってきた
9. 杖を使っている
10. どれもあてはまらない

あてはまるもの
すべてに○

②栄養や口の健康

1. 最近6か月間で2～3kg以上体重が減った
2. 半年前に比べて固いものが食べにくくなった
3. お茶や汁物等でむせることがある
4. 口の渴（かわ）きが気になる
5. どれもあてはまらない

あてはまるもの
すべてに○

③社会活動

1. 年金の申請などの書類を自分で書ける
2. 新聞を読んでいる
3. 本や雑誌を読んでいる
4. 健康についての記事や番組に関心がある
5. 友人の家を訪ねている
6. 家族や友人の相談にのっている
7. 病人を見舞うことができる
8. 若い人に自分から話しかけることができる
9. どれもあてはまらない

あてはまるもの
すべてに○

④物忘れや気分

1. 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるといわれる
2. 電話番号を調べて、自分で電話をかけられる
3. 今日が何月何日かわからない時がある
4. 5分前のことを思い出せない
5. 毎日の生活に充実感がないと感じる
6. 楽しんでやれたことが、楽しめなくなった
7. 以前は楽にできたことが、今ではおっくうに感じられる
8. 自分は役に立つ人間だと思えない
9. わけもなく疲れたような感じがする
10. どれもあてはまらない

あてはまるもの
すべてに○

問 18 あなた（あて名のご本人）は、その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか。（1つに○）

1. 困難なくできる
2. いくらか困難であるが、できる
3. 判断する時に、他人からの声かけや見守りが必要
4. ほとんど判断できない

問 19 あなた（あて名のご本人）は、人に自分の考えをうまく伝えられますか。（1つに○）

1. 伝えられる
2. いくらか困難であるが、伝えられる
3. あまり伝えられない
4. ほとんど伝えられない

問 20 あなた（あて名のご本人）は、どのくらい外出をしていますか。（1つに○）

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 週1日くらい |
| 2. 週4～5日くらい | 5. 週1日より少ない |
| 3. 週2～3日くらい | |

問 21 あなた（あて名のご本人）は、日常生活の中で、手助けしてほしいと思うことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------|---------------------------------|
| 1. 買い物 | 7. 外出のつきそい（通院・散歩など） |
| 2. 食事のしたくや後片付け | 8. 話し相手 |
| 3. 掃除・洗濯・布団干し | 9. 定期的な声かけや見守り |
| 4. ごみ出しや電球の交換 | 10. 急病・災害時の手助け |
| 5. 大掃除・草むしり・衣替え | 11. その他（ ） |
| 6. 預貯金の出し入れや支払い手続き | 12. 特にない |

問 22 あなた（あて名のご本人）は、現在の生活で不安に感じることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 自分の健康・病気のこと
2. 配偶者や家族の健康・病気のこと
3. いざという時に頼れる人がいないこと
4. 生活費など経済的なこと
5. 住まいのこと
6. 財産の管理や相続のこと
7. 生活にはりや生きがいがいないこと
8. 友人や地域との交流が減ったこと
9. その他（ ）
10. 特にない

◆社会参加、生きがいつくり、就労についておうかがいします

問 23 あなた（あて名のご本人）は、ご近所の方とどの程度のつきあいをしていますか。（1つに○）

1. 家を行き来するなど親しいつきあいがある
2. 立ち話をする程度のつきあいがある
3. あいさつをする程度のつきあいがある
4. 近所づきあいはほとんどない

問 24 あなた（あて名のご本人）は、ふだん、どのくらいご家族（同居を含む）・ご親族や知人等と話をしていますか（電話やメールを含む）。（1つに○）

1. ほぼ毎日
2. 週4～5日くらい
3. 週2～3日くらい
4. 週1日くらい
5. 週1日より少ない・ほとんど話をしない

問 25 あなた（あて名のご本人）は、現在、どのような余暇活動や社会参加活動をしていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 趣味・楽しみのための活動
2. 習い事や講座などの教養・学習活動
3. 体操、ウォーキング、水泳などの健康づくり・スポーツ活動
4. 町会・自治会・商店会の活動
5. くすのきクラブの活動
6. ボランティアやNPO活動
7. その他（ ）
8. 特にしていない

問 26 あなた（あて名のご本人）は、今後、どのような余暇活動や社会参加活動をしていきたいと思いませんか。（あてはまるものすべてに○）

1. 趣味・楽しみのための活動
2. 習い事や講座などの教養・学習活動
3. 体操、ウォーキング、水泳などの健康づくり・スポーツ活動
4. 町会・自治会・商店会の活動
5. くすのきクラブの活動
6. ボランティアやNPO活動
7. その他（ ）
8. 特にしたい活動はない
9. 活動できない

問 27 次のようなボランティア活動について、あなた（あて名のご本人）が取り組んでみたいと思う活動はありますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1. 社会福祉施設での手伝い
- 2. 地域の高齢者の支援活動（見守りや話し相手、日常生活の支援など）
- 3. 子どもの健全育成活動（放課後の遊び相手や話し相手など）
- 4. 趣味や技術を活かした活動（演奏やレクリエーション指導など）
- 5. 地域の安全を守る活動（防犯パトロールなど）
- 6. 環境を守る活動（清掃やリサイクル、自然保護など）
- 7. 災害時の救援・支援活動
- 8. その他（ ）
- 9. 特にない

問 28 あなた（あて名のご本人）は、趣味や生活に必要な情報を得るために、パソコンなどのインターネットを利用することがありますか。（1つに○）

- 1. よく利用する
- 2. ときどき利用する
- 3. 利用したことはない

問 29 あなた（あて名のご本人）は、現在、収入のある仕事をしていますか。（1つに○）

- 1. 常勤の社員・職員
- 2. 非常勤・嘱託・パート・アルバイト
- 3. 自営業・自営業手伝い、自由業
- 4. 熟年人材センターでの仕事
- 5. その他（ ）
- 6. 仕事はしていない

問 30 あなた（あて名のご本人）は、今後、収入のある仕事をしたい・続けたいと考えていますか。（1つに○）

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. 常勤の社員・職員 2. 非常勤・嘱託・パート・アルバイト 3. 自営業・自営業手伝い、自由業 4. 熟年人材センターでの仕事 5. その他（ ） | <ul style="list-style-type: none"> 6. 仕事をするつもりはない・する必要がない 7. 仕事はできない |
| <p>問 31 へ</p> | |

★今後仕事をしたいと考えている方(問30で1～5に○)におうかがいします。

→ 問 30-1 それはどのような理由からですか。（あてはまるものすべてに○）

- 1. 経済的に働く必要があるため
- 2. 生活にゆとりがほしいため
- 3. 将来の蓄え（預貯金）のため
- 4. 生きがいを得るため
- 5. 持っている技術や資格を活かすため
- 6. 健康のため
- 7. 時間に余裕があるため
- 8. その他（ ）

→ 問 30-2 何歳くらいまで働きたいと思いますか。（1つに○）

- 1. 70歳くらいまで
- 2. 75歳くらいまで
- 3. 80歳くらいまで
- 4. 80歳以上
- 5. 元気であればいつまでも働きたい
- 6. その他（ ）
- 7. わからない

◆今後の生活等についておうかがいします

問 31 あなた（あて名のご本人）は、将来介護が必要になった場合、どのように暮らしたいですか。（もっとも近い考え1つに〇）

1. 主に家族の介護を受けながら、自宅（又は子どもの家）で暮らしたい
2. 主に介護サービスを利用して、自宅（又は子どもの家）で暮らしたい
3. 高齢者向け住宅に住み替えて、介護サービスを利用したい
4. 有料老人ホームなどで暮らしたい
5. 数人で暮らせる、家庭的な介護付きホーム（施設）で暮らしたい
6. 介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入りたい
7. その他（ ）
8. わからない

問 32 あなた（あて名のご本人）は、介護が必要になっても在宅で暮らし続けるために必要なことは、どのようなことだと思いますか。
（あてはまるものすべてに〇）

1. 住み続けられる住まいがある
2. 家族が同居している、または近くにいる
3. 見守ってくれる友人、知人が近くにいる
4. 訪問介護やデイサービスなど、普段から利用できる介護サービスがある
5. 必要に応じて、通ったり宿泊できるような介護サービスがある
6. 24時間いつでも訪問してくれる介護サービスがある
7. 身近に利用できる医療機関がある
8. いつでも利用（入所）できる施設が近くにある
9. その他（ ）
10. わからない
11. 特になし

問 33 あなた（あて名のご本人）は、介護保険サービスの利用のあり方について、どのようなお考えをお持ちですか。（1つに〇）

1. 利用できるサービスはどんどん利用すべきだと思う
2. 必要なサービスだけを利用すべきだと思う
3. サービスはできるだけ利用しない方がよいと思う
4. わからない

問 34 介護保険の保険料について、家計への影響は次のうちどれに近いですか。（1つに〇）

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 大きい | 3. 適当である | 4. やや小さい | 6. わからない |
| 2. やや大きい | | 5. 小さい | |

◆区民の健康づくりを支援する機関として、区内 8 か所に「健康サポートセンター」が設置されています。

問 35 あなた（あて名のご本人）は、健康サポートセンターについて、どのくらい知っていますか。（1つに〇）

1. 内容をよく知っている
2. だいたいの内容は知っている
3. 名前は知っているが内容は知らない
4. まったく知らない →問 36へ

★内容や名前を知っている方（問 35で1～3に〇）におうかがいします。

→ **問 35-1** 健康サポートセンターを利用したことはありますか。
（あてはまるものすべてに〇）

1. 講座・教室に参加した
2. 相談で利用した
3. 健診・検査で利用した
4. 介護保険及び生活支援等の受付で利用した
5. その他（ ）
6. 利用したことはない

江戸川区 介護予防に関する調査

—ご記入にあたってのお願い—

- ◇回答は、封筒のあて名の方ご本人について記入してください。
できるだけあて名のご本人がご回答ください。
- ◇あて名のご本人がご病気等でお答えになれない場合、ご家族の方などが、ご本人に代わり、ご回答ください。
- ◇あて名のご本人が入院・入所している場合は、入院・入所前の状況をご回答ください。
- ◇ご記入いただいた調査票は三つ折にして、同封した返信用封筒に入れ、**12月15日(水)**までにポストに投かんしてください。切手は不要です。
- ◇返信用封筒の裏に、差出人のご住所、お名前等を書く必要はありません。

問1 はじめに、この調査票に回答される方はどなたですか。(1つに○)

1. あて名のご本人 (代筆・代読を含む)
2. 家 族
3. その他の方 ()

◆あなたご自身についておうかがいします

問2 あなた(あて名のご本人)の性別、平成22年11月1日現在の満年齢をお答えください。

- | | | |
|-------|-------|----------------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 満 () 歳 ※年齢を記入してください |
|-------|-------|----------------------|

問3 あなた(あて名のご本人)のお住まいはどこですか。記入例を参考に記入してください。丁目がない場合は、町名だけ記入してください。

町 名 ()	() 丁目
記入例 (中 央)	(1) 丁目

問4 あなた(あて名のご本人)の現在の世帯の構成は、次のうちどれですか。(1つに○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ひとり暮らし | 5. 親と同居 |
| 2. 夫婦のみ | 6. 親と子どもと同居 |
| 3. 子どもと同居 | 7. その他 () |
| 4. 子どもと孫と同居 | |

問5 あなた(あて名のご本人)は、日中、家にひとりであることがどのくらいありますか。(1つに○)

1. ひとりになることはほとんどない
2. 週1日くらい
3. 週2～3日くらい
4. 週4日以上

問6 あなた(あて名のご本人)の現在のお住まいは、次のうちどれですか。(1つに○)

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 一戸建て(持ち家) | 3. 分譲マンション |
| 2. 一戸建て(賃貸) | 4. 賃貸のマンション・アパート |
| | 5. 都営・区営・公団などの公営住宅 |
| | 6. その他 () |

★マンションやアパート等にお住まいの方(問6で3～6に○)におうかがいします。

問6-1 現在、何階で生活していますか。また、2階以上で生活している場合、エレベーターはありますか。(それぞれ1つに○)

- | | |
|---------|-----------------------------|
| 1. 1階 | エレベーターの有無
1. ある
2. ない |
| 2. 2階 | |
| 3. 3～5階 | |
| 4. 6階以上 | |

◆医療の状況についておうかがいします

問7 あなた（あて名のご本人）には、かかりつけの医師（※）がいますか。
（あてはまるものすべてに○）

1. 区内にいる
2. 区外にいる
3. いない

※日頃から自分または家族の健康状態をよく知っていて、日常的な健康管理をまかせられる医師

問8 あなた（あて名のご本人）は、現在かかっている、または治療中の病気が
ありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 高血圧
2. 脳卒中（脳出血・脳こうそく等）
3. 心臓病
4. 糖尿病
5. 高脂血症（脂質異常）
6. 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）
7. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
8. 腎臓・前立腺の病気
9. 婦人科系の病気（子宮・卵巣・乳房等）
10. 筋骨格の病気（関節炎・骨粗しょう症等）
11. 外 傷（転倒・骨折等）
12. が ん（新生物）
13. うつ病
14. 認知症（アルツハイマー病等）
15. パーキンソン病
16. 目の病気（白内障・緑内障等）
17. 耳の病気（難聴等）
18. 歯の病気（歯周病・義歯調整等）
19. その他（)
20. 特にない

問9 あなた（あて名のご本人）は、現在、医師の処方した薬を何種類飲んで
いますか。（1つに○）

- | | | |
|--------|--------|-----------|
| 1. 1種類 | 3. 3種類 | 5. 5種類以上 |
| 2. 2種類 | 4. 4種類 | 6. 飲んでいない |

問10 あなた（あて名のご本人）は、次のような医療器具を利用したり、処置
を受けたりしていますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1. インシュリン注射 | 5. 人工透析 |
| 2. 人工肛門 | 6. その他（) |
| 3. 在宅酸素 | 7. 上記の処置は受けていない |
| 4. ペースメーカー | |

◆あなたの日常生活についておうかがいします

問11 あなた（あて名のご本人）の日常生活等についておうかがいします。
①～⑪について、それぞれあてはまる番号1つに○をしてください。

①バスや電車で一人で外出する → 1. している 2. できるがしていない 3. できない

②日用品の買い物をする → 1. している 2. できるがしていない 3. できない

③自分で食事の用意をする → 1. している 2. できるがしていない 3. できない

④掃除や洗濯をする → 1. している 2. できるがしていない 3. できない

⑤請求書の支払いをする → 1. している 2. できるがしていない 3. できない

⑥預貯金の出し入れをする → 1. している 2. できるがしていない 3. できない

⑦自分でご飯を食べる → 1. できる 2. 介助があればできる 3. できない

⑧ベッド（寝床）へ移動する → 1. できる 2. 介助があればできる 3. できない

⑨洗面や歯磨きをする → 1. できる 2. 介助があればできる 3. できない

⑩座っていること → 1. できる 2. 支えが必要 3. できない

⑪トイレで排泄をする → 1. できる 2. 介助があればできる 3. できない

⑫自分で入浴をする → 1. できる 2. 介助があればできる 3. できない

⑬50メートル以上歩く → 1. できる 2. 介助があればできる 3. できない

⑭階段を昇り降りする → 1. できる 2. 介助があればできる 3. できない

⑮自分で着替えをする → 1. できる 2. 介助があればできる 3. できない

⑯大便の失敗 → 1. ない 2. ときどきある 3. よくある

⑰小便の失敗 → 1. ない 2. ときどきある 3. よくある

問 12 以下の①～④のすべてについて、あなた（あて名のご本人）に「あてはまる」ことに○をしてください。

①運動や転倒

1. 階段は手すりや壁をつたわずに昇っている
2. 椅子から立ち上がる時、つかまらない
3. 15分位続けて歩いている
4. 昨年と比べて外出の回数が減った
5. この1年間に転んだことがある
6. 転倒に対する不安がある
7. 背中が丸くなってきた
8. 歩く速度が遅くなってきた
9. 杖を使っている
10. どれもあてはまらない

あてはまるもの
すべてに○

②栄養や口の健康

1. 最近6か月間で2～3kg以上体重が減った
2. 半年前に比べて固いものが食べにくくなった
3. お茶や汁物等でむせることがある
4. 口の渇（かわ）きが気になる
5. どれもあてはまらない

あてはまるもの
すべてに○

③社会活動

1. 年金の申請などの書類を自分で書ける
2. 新聞を読んでいる
3. 本や雑誌を読んでいる
4. 健康についての記事や番組に関心がある
5. 友人の家を訪ねている
6. 家族や友人の相談にのっている
7. 病人を見舞うことができる
8. 若い人に自分から話しかけることができる
9. どれもあてはまらない

あてはまるもの
すべてに○

④物忘れや気分

1. 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるといわれる
2. 電話番号を調べて、自分で電話をかけられる
3. 今日が何月何日かわからない時がある
4. 5分前のことを思い出せない
5. 毎日の生活に充実感がないと感じる
6. 楽しんでやれたことが、楽しめなくなった
7. 以前は楽にできたことが、今ではおっくうに感じられる
8. 自分は役に立つ人間だと思えない
9. わけもなく疲れたような感じがする
10. どれもあてはまらない

あてはまるもの
すべてに○

問 19 あなた（あて名のご本人）は、健康診査等の結果、地域包括支援センターで介護予防相談をするように勧められたと思いますが、介護予防相談に行きましたか。（1つに○）

1. 介護予防相談に行った →問 20 へ
 2. 介護予防相談に行っていない

★介護予防相談に行っていない方（問 19 で 2 に ○）におうかがいします。

→ 問 19-1 あなた（あて名のご本人）が、介護予防相談に行かなかったのは、なぜですか。（1つに○）

1. 健康なので、介護予防は必要ないと思った
 2. 健康に不安はあるが、介護予防に参加するほどではないと思った
 3. 介護予防事業の内容に興味を持てなかった
 4. 介護予防相談の内容がよくわからなかった
 5. その他（ ）
 6. 特に理由はない

↓
 11 ページの問 21 へ

★問 20 は介護予防相談に行った方（問 19 で 1 に ○）におうかがいします。

問 20 江戸川区では、介護予防のために以下の事業を行っています。どの事業に参加しましたか。（あてはまるものすべてに○）

1. 介護予防教室
 2. 熟年ふれあいセンターの事業
 3. 熟年口腔ケアセミナー → 次ページの問 20-1 へ
 4. 熟年いきいきトレーニング
 5. 熟年スポーツトレーニング事業
 6. 参加していない → 次ページの問 20-2 へ

★介護予防事業に参加した方（問 20 で 1～5 に ○）におうかがいします。

問 20-1 参加した結果、心身の状態でよくなったと感じることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 外出が増えた
 2. 階段の昇り降りが楽になった
 3. 体調がよくなった
 4. 食事がおいしくなった
 5. 精神的に安定した
 6. 友人等との付き合いが増えた
 7. やる気や張りが出た
 8. 何事も積極的に取り組むようになった
 9. その他（ ）
 10. 何も変わらない

↓
 11 ページの問 21 へ

★介護予防事業に参加していない方（問 20 で 6 に ○）におうかがいします。

問 20-2 介護予防事業に参加しなかった理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 自分は健康であるので介護予防の必要はないと思ったから
 2. 自分自身で介護予防に気をつけて実践しているから
 3. もう少し身体の状態に自信がなくなってから参加しても遅くはないと考えたから
 4. ほかに自分のやりたいことがあったから
 5. 介護予防事業の内容にあまり興味を持てなかったから
 6. 期間や回数に不安があったから
 7. 通うのがおっくうに感じたから
 8. 事業の仕組みや事業を受けるための手続きがよくわからなかったから
 9. 費用がかかるから
 10. 知らなかった
 11. その他（ ）
 12. 特に理由はない

★ここからは全員におうかがいします。

問 21 あなた（あて名のご本人）が、今後、続けたい・新たに参加したいと思う活動が、以下の中にありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 介護予防教室（転倒などによる骨折予防や健康体操、体力測定、趣味を活かした活動を行う）
2. 熟年ふれあいセンター（ふれあいの機会・生きがいづくりの場を提供し、閉じこもりや介護が必要な状態になることを予防する活動を行う）
3. 熟年口腔ケアセミナー（歯科医師や歯科衛生士が、口の健康法を紹介する）
4. 熟年いきいきトレーニング（足腰の筋力・機能の維持や向上のトレーニング）
5. 熟年スポーツトレーニング（スタジオやプールで無理なく、楽しく運動する）
6. 地域ミニデイサービス（身近な町会会館を利用して、会食や趣味活動、健康づくりなどを行う）
7. リズム運動（熟年者がコミュニティ会館などで行う社交ダンスを取り入れた軽運動）
8. くすのきクラブ（趣味やレクリエーション、ボランティア等を行う熟年者の会員組織）
9. くすのきカルチャーセンター（熟年者を対象とした趣味や教養の教室）
10. 熟年人材センター（熟年者の就労の場を提供するセンター）
11. いずれも参加したいとは思わない

問 22 介護予防に取り組みやすくするには、どのような環境・条件が必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 介護予防の必要性や効果等について広く情報提供されている
2. 楽しみながら参加できる活動である（例えば：_____）
3. からだの機能の回復が実感できる
4. 区民館等、身近な場所で活動できる
5. いっしょに取り組む仲間がいる
6. 自主的な取り組みに対して活動費の助成がある
7. 活動に継続して取り組むと特典が得られる
8. その他（_____）
9. 特にない

◆地域とのかかわりについておうかがいします

問 23 あなた（あて名のご本人）は、ご近所の方とどの程度のつきあいをしていますか。（1つに○）

1. 家を行き来するなど親しいつきあいがある
2. 立ち話をする程度のつきあいがある
3. あいさつをする程度のつきあいがある
4. 近所づきあいはほとんどない

問 24 あなた（あて名のご本人）は、ふだん、どのくらいご家族（同居を含む）・ご親族や知人等と話をしていますか（電話やメールを含む）。（1つに○）

1. ほぼ毎日
2. 週4～5日くらい
3. 週2～3日くらい
4. 週1日くらい
5. 週1日より少ない・ほとんど話をしない

◆今後の生活の希望についておうかがいします

問 25 あなた（あて名のご本人）は、今後、介護が必要になった場合どのように暮らしたいですか。（もっとも近い考え1つに○）

1. 主に家族の介護を受けながら、自宅（又は子どもの家）で暮らしたい
2. 主に介護サービスを利用して、自宅（又は子どもの家）で暮らしたい
3. 高齢者向け住宅に住み替えて、介護サービスを利用したい
4. 有料老人ホームなどで暮らしたい
5. 数人で暮らせる、家庭的な介護付きホーム（施設）で暮らしたい
6. 介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入りたい
7. その他（）
8. わからない

問 26 あなた（あて名のご本人）は、介護が必要になっても在宅で暮らし続けるために必要なことは、どのようなことであると思いますか。
（あてはまるものすべてに○）

1. 住み続けられる住まいがある
2. 家族が同居している、または近くにいる
3. 見守ってくれる友人、知人が近くにいる
4. 訪問介護やデイサービスなど、普段から利用できる介護サービスがある
5. 必要に応じて、通ったり宿泊できるような介護サービスがある
6. 24時間いつでも訪問してくれる介護サービスがある
7. 身近に利用できる医療機関がある
8. いつでも利用（入所）できる施設が近くにある
9. その他（）
10. わからない
11. 特にない

◆地域の高齢者やその家族のさまざまな相談に対応する機関として、区内14か所に「地域包括支援センター」が設置されています。

問 27 あなた（あて名のご本人）は、地域包括支援センターについて、どのくらい知っていますか。（1つに○）

1. 内容をよく知っている
2. だいたいの内容は知っている
3. 名前は知っているが内容は知らない
4. まったく知らない →問 28 へ

★内容や名前を知っている方（問 27 で1～3 に○）におうかがいします。

→問 27-1 地域包括支援センターを利用したことはありますか。
（あてはまるものすべてに○）

1. 相談で利用した
2. 介護保険及び生活支援等の受付で利用した
3. 講座・教室に参加した
4. その他（）
5. 利用したことはない

→問 27-2 「利用したことはない」方におうかがいします。利用したことがない理由は次のどれですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 利用する必要があるから
2. 場所がわからないから
3. 場所は知っているが遠いから
4. その他（）

◆区民の健康づくりを支援する機関として、区内 8 か所に「健康サポートセンター」が設置されています。

問 28 あなた（あて名のご本人）は、健康サポートセンターについて、どのくらい知っていますか。（1つに○）

- 1. 内容をよく知っている
- 2. だいたいの内容は知っている
- 3. 名前は知っているが内容は知らない
- 4. まったく知らない →問 29 へ

★内容や名前を知っている方（問 28 で1～3に○）におうかがいします。
→問 28-1 健康サポートセンターを利用したことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1. 講座・教室に参加した
- 2. 相談で利用した
- 3. 健診・検査で利用した
- 4. 介護保険及び生活支援等の受付で利用した
- 5. その他（ ）
- 6. 利用したことはない

問 29 江戸川区の熟年者施策について、あなた（あて名のご本人）はどのように感じますか。（1つに○）

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. とても充実している 2. まあ充実している 3. どちらともいえない 4. あまり充実していない 5. 充実していない | そのように感じている理由は何ですか
() |
|--|---|

問 30 江戸川区が今後充実すべきと思う熟年者施策は、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

- 1. 健康づくりや介護が必要にならないための支援
- 2. 熟年者の就労や社会参加の支援
- 3. 配食や買い物、ごみ出し等の生活支援
- 4. 在宅生活を支える医療ケアなど医療の充実
- 5. 在宅生活を支える介護サービス
- 6. 介護が必要になっても住み続けられる住まいの整備
- 7. 介護を受けられる入所施設の整備
- 8. ひとり暮らしの人等を地域で見守るネットワークづくり
- 9. 介護する家族に対する支援
- 10. 介護保険制度や区の熟年者施策に関する情報提供
- 11. 申請や相談がしやすい窓口の整備
- 12. 判断能力が低下した場合の支援や熟年者の人権擁護
- 13. 段差解消や歩道の整備など、安全なまちづくり
- 14. その他（ ）
- 15. 特にない

江戸川区へのご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。
返信用封筒に入れて、12月15日（水）までに、ポストに投かんしてください。

江戸川区 介護保険サービス利用に関する調査

—ご記入にあたってのお願い—

- ◇回答は、封筒のあて名の方ご本人について記入してください。
できるだけあて名のご本人がご回答ください。
- ◇あて名のご本人がご病気等でお答えになれない場合、ご家族の方などが、ご本人に代わり、ご回答ください。
- ◇あて名のご本人が入院・入所している場合は、入院・入所前の状況をご回答ください。
- ◇ご記入いただいた調査票は三つ折にして、同封した返信用封筒に入れ、**12月15日(水)**までにポストに投かんしてください。切手は不要です。
- ◇返信用封筒の裏に、差出人のご住所、お名前等を書く必要はありません。

問1 はじめに、この調査票に回答される方はどなたですか。(1つに○)

1. あて名のご本人 (代筆・代読を含む)	
2. 家 族	
3. その他の方 ()	

◆あなたご自身についておうかがいします

問2 あなた(あて名のご本人)の性別、平成22年11月1日現在の満年齢をお答えください。

1. 男性	2. 女性	満 () 歳	※年齢を記入してください
-------	-------	---------	--------------

問3 あなた(あて名のご本人)のお住まいはどこですか。記入例を参考に記入してください。丁目がない場合は、町名だけ記入してください。

町 名 ()	() 丁目
記入例 (中 央)	(1) 丁目

問4 あなた(あて名のご本人)の現在の世帯の構成は、次のうちどれですか。(1つに○)

1. ひとり暮らし	5. 親と同居
2. 夫婦のみ	6. 親と子どもと同居
3. 子どもと同居	7. その他 ()
4. 子どもと孫と同居	

問5 あなた(あて名のご本人)は、日中、家にひとりであることがどのくらいありますか。(1つに○)

1. ひとりになることはほとんどない	
2. 週1日くらい	
3. 週2～3日くらい	
4. 週4日以上	

問6 あなた(あて名のご本人)の現在のお住まいは、次のうちどれですか。(1つに○)

1. 一戸建て(持ち家)	3. 分譲マンション
2. 一戸建て(賃貸)	4. 賃貸のマンション・アパート
	5. 都営・区営・公団などの公営住宅
	6. その他 ()

★マンションやアパート等にお住まいの方(問6で3～6に○)におうかがいします。

問6-1 現在、何階で生活していますか。また、2階以上で生活している場合、エレベーターはありますか。(それぞれ1つに○)

1. 1階	
2. 2階	→ エレベーターの有無 1. ある 2. ない
3. 3～5階	
4. 6階以上	

問 12 あなた（あて名のご本人）は、現在かかっている、または治療中の病気がありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 高血圧
2. 脳卒中（脳出血・脳こうそく等）
3. 心臓病
4. 糖尿病
5. 高脂血症（脂質異常）
6. 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）
7. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
8. 腎臓・前立腺の病気
9. 婦人科系の病気（子宮・卵巣・乳房等）
10. 筋骨格の病気（関節炎・骨粗しょう症等）
11. 外 傷（転倒・骨折等）
12. が ん（新生物）
13. うつ病
14. 認知症（アルツハイマー病等）
15. パーキンソン病
16. 目の病気（白内障・緑内障等）
17. 耳の病気（難聴等）
18. 歯の病気（歯周病・義歯調整等）
19. その他（ ）
20. 特にない

問 13 あなた（あて名のご本人）は、現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか。（1つに○）

1. 1 種類
2. 2 種類
3. 3 種類
4. 4 種類
5. 5 種類以上
6. 飲んでいない

問 14 あなた（あて名のご本人）は、次のような医療器具を利用したり、処置を受けたりしていますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------|---|
| 1. 胃ろう・経管栄養 | 7. ペースメーカー |
| 2. 気管切開 | 8. 人工透析 |
| 3. インシュリン注射 | 9. たんの吸引 |
| 4. 尿道カテーテル | 10. 床ずれの処置 |
| 5. 人工肛門 | 11. その他（ ） |
| 6. 在宅酸素 | 12. 上記の処置は受けていない |

★問 15～20 は、要支援 1・2、要介護 1・2 の方がお答えください。

※要介護 3～5 の方は、10 ページの間 21 におすすめください。

◆あなたの日常生活についておうかがいします

問 15 あなた（あて名のご本人）の日常生活等についておうかがいします。

①～⑦について、それぞれあてはまる番号 1 つに○をしてください。

-
- ①バスや電車で一人て外出する → 1. している 2. できるがしていない 3. できない
-
- ②日用品の買い物をする → 1. している 2. できるがしていない 3. できない
-
- ③自分で食事の用意をする → 1. している 2. できるがしていない 3. できない
-
- ④掃除や洗濯をする → 1. している 2. できるがしていない 3. できない
-
- ⑤請求書の支払いをする → 1. している 2. できるがしていない 3. できない
-
- ⑥預貯金の出し入れをする → 1. している 2. できるがしていない 3. できない
-
- ⑦自分でご飯を食べる → 1. できる 2. 介助があればできる 3. できない
-
- ⑧ベッド（寝床）へ移動する → 1. できる 2. 介助があればできる 3. できない
-

⑨洗面や歯磨きをする → 1. できる 2. 介助があればできる 3. できない

⑩座っていること → 1. できる 2. 支えが必要 3. できない

⑪トイレで排泄をする → 1. できる 2. 介助があればできる 3. できない

⑫自分で入浴をする → 1. できる 2. 介助があればできる 3. できない

⑬50メートル以上歩く → 1. できる 2. 介助があればできる 3. できない

⑭階段を昇り降りする → 1. できる 2. 介助があればできる 3. できない

⑮自分で着替えをする → 1. できる 2. 介助があればできる 3. できない

⑯大便の失敗 → 1. ない 2. ときどきある 3. よくある

⑰小便の失敗 → 1. ない 2. ときどきある 3. よくある

問 16 以下の①～④のすべてについて、あなた（あて名のご本人）に「あてはまる」ことに○をしてください。

①運動や転倒

1. 階段は手すりや壁をつたわずに昇っている
2. 椅子から立ち上がる時、つかまらない
3. 15分位続けて歩いている
4. 昨年と比べて外出の回数が減った
5. この1年間に転んだことがある
6. 転倒に対する不安がある
7. 背中が丸くなってきた
8. 歩く速度が遅くなってきた
9. 杖を使っている
10. どれもあてはまらない

あてはまるもの
すべてに○

②栄養や口の健康

1. 最近6か月間で2～3kg以上体重が減った
2. 半年前に比べて固いものが食べにくくなった
3. お茶や汁物等でむせることがある
4. 口の渇（かわ）きが気になる
5. どれもあてはまらない

あてはまるもの
すべてに○

③社会活動

1. 年金の申請などの書類を自分で書ける
2. 新聞を読んでいる
3. 本や雑誌を読んでいる
4. 健康についての記事や番組に関心がある
5. 友人の家を訪ねている
6. 家族や友人の相談にのっている
7. 病人を見舞うことができる
8. 若い人に自分から話しかけることができる
9. どれもあてはまらない

あてはまるもの
すべてに○

④物忘れや気分

1. 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるといわれる
2. 電話番号を調べて、自分で電話をかけられる
3. 今日が何月何日かわからない時がある
4. 5分前のことを思い出せない
5. 毎日の生活に充実感がないと感じる
6. 楽しんでやれたことが、楽しめなくなった
7. 以前は楽にできたことが、今ではおっくうに感じられる
8. 自分は役に立つ人間だと思えない
9. わけもなく疲れたような感じがする
10. どれもあてはまらない

あてはまるもの
すべてに○

問 17 あなた（あて名のご本人）は、その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか。（1つに○）

1. 困難なくできる
2. いくらか困難であるが、できる
3. 判断する時に、他人からの声かけや見守りが必要
4. ほとんど判断できない

問 18 あなた（あて名のご本人）は、人に自分の考えをうまく伝えられますか。（1つに○）

1. 伝えられる
2. いくらか困難であるが、伝えられる
3. あまり伝えられない
4. ほとんど伝えられない

問 19 あなた（あて名のご本人）は、どのくらい外出をしていますか。（1つに○）

1. ほぼ毎日
2. 週 4～5 日くらい
3. 週 2～3 日くらい
4. 週 1 日くらい
5. 週 1 日より少ない

問 20 あなた（あて名のご本人）は、日常生活の中で、手助けしてほしいと思うことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------|----------|
| 1. 買い物 | 11. その他 |
| 2. 食事のしたくや後片付け | () |
| 3. 掃除・洗濯・布団干し | 12. 特にない |
| 4. ごみ出しや電球の交換 | |
| 5. 大掃除・草むしり・衣替え | |
| 6. 預貯金の出し入れや支払い手続き | |
| 7. 外出のつきそい（通院・散歩など） | |
| 8. 話し相手 | |
| 9. 定期的な声かけや見守り | |
| 10. 急病・災害時の手助け | |

★ここからは全員におうかがいします。

◆介護保険サービス等の利用についておうかがいします

問 21 あなた（あて名のご本人）は、現在、介護保険サービスを利用していますか。（1つに○）

1. 利用している →問 22 へ
2. 利用していたが、現在は利用していない
3. 利用したことはない
4. わからない →13 ページの間 23 へ

★介護保険サービスを利用していない方（問 21 で 2・3 に○）におうかがいします。

→問 21-1 あなた（あて名のご本人）が、介護保険サービスを利用していないのはなぜですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 他人の世話になりたくない
2. 他人を家に入れたくない
3. 家族の介護で十分
4. 利用の仕方がわからない
5. 利用料金が高い
6. 利用したいサービス等がない
7. サービス事業者に断られた
8. 入院した
9. 身体・健康状況が改善した
10. その他 ()
11. 特に理由はない

↓
13 ページの間 23 へ

問 22 在宅の介護保険サービスの満足度についておたずねします。以下の①～⑩すべてについて、それぞれもっとも近い意見1つに○をしてください。

現在利用していないサービスは、「6. 利用していない」に○をしてください。

サービス名	サービスの満足度
①ケアプラン ※ケアマネジャーが作成するサービス計画	1. とても満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. とても不満 <input type="checkbox"/> → <input type="checkbox"/> 6. 利用していない 不満の理由は何ですか <input type="text"/>
②訪問介護 (ホームヘルプサービス) ※ホームヘルパーが自宅を訪問し、身体介護や家事等の支援を行う	1. とても満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. とても不満 <input type="checkbox"/> → <input type="checkbox"/> 6. 利用していない 不満の理由は何ですか <input type="text"/>
③夜間対応型訪問介護 ※自宅への定時訪問や通報システムによる緊急訪問等の夜間専用の介護を行う	1. とても満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. とても不満 <input type="checkbox"/> → <input type="checkbox"/> 6. 利用していない 不満の理由は何ですか <input type="text"/>
④訪問入浴介護 ※自宅に組み立て式の浴槽を持ち込み、入浴の介護を行う	1. とても満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. とても不満 <input type="checkbox"/> → <input type="checkbox"/> 6. 利用していない 不満の理由は何ですか <input type="text"/>
⑤訪問看護 ※看護師等が自宅を訪問し、療養上の世話や診療補助を行う	1. とても満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. とても不満 <input type="checkbox"/> → <input type="checkbox"/> 6. 利用していない 不満の理由は何ですか <input type="text"/>

サービス名	サービスの満足度
⑥訪問リハビリテーション ※理学療法士等が自宅を訪問し、リハビリを行う	1. とても満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. とても不満 <input type="checkbox"/> → <input type="checkbox"/> 6. 利用していない 不満の理由は何ですか <input type="text"/>
⑦居宅療養管理指導 ※医師・歯科医師等が自宅を訪問し、療養上の管理や指導を行う	1. とても満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. とても不満 <input type="checkbox"/> → <input type="checkbox"/> 6. 利用していない 不満の理由は何ですか <input type="text"/>
⑧デイサービス(通所介護・通所リハビリテーション) ※施設等で趣味、生きがい活動等を目帰りで行う	1. とても満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. とても不満 <input type="checkbox"/> → <input type="checkbox"/> 6. 利用していない 不満の理由は何ですか <input type="text"/>
⑨ショートステイ(短期入所生活介護・短期入所療養介護) ※施設等に短期入所し、日常生活上の支援やリハビリ等を行う	1. とても満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. とても不満 <input type="checkbox"/> → <input type="checkbox"/> 6. 利用していない 不満の理由は何ですか <input type="text"/>
⑩認知症対応型デイサービス ※認知症の高齢者が施設等に通り、食事、入浴等の支援やリハビリ等を行う	1. とても満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. とても不満 <input type="checkbox"/> → <input type="checkbox"/> 6. 利用していない 不満の理由は何ですか <input type="text"/>
⑪小規模多機能型居宅介護 ※施設への通所を中心として、ホームヘルパーの訪問やショートステイを組み合わせたサービスを行う	1. とても満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. とても不満 <input type="checkbox"/> → <input type="checkbox"/> 6. 利用していない 不満の理由は何ですか <input type="text"/>

サービス名	サービスの満足度
⑫福祉用具の貸与、購入費の支給 <small>※日常生活の自立に必要な福祉用具を貸与・購入費の一部を支給する</small>	1. とても満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. とても不満 6. 利用していない <small>不満の理由は何ですか</small> <input type="checkbox"/> → ()
⑬住宅改修費の支給 <small>※住宅改修をした際の費用の一部を支給する</small>	1. とても満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. とても不満 6. 利用していない <small>不満の理由は何ですか</small> <input type="checkbox"/> → ()

問 23 あなた（あて名のご本人）は、今後、ご自宅で生活するうえで、どのような介護保険サービスを利用したい（し続けたい）と思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 訪問介護（ホームヘルパーが自宅を訪問し、身体介護や家事等の支援を行う）
2. 夜間対応型訪問介護（自宅への定時訪問や通報システムによる緊急訪問等の夜間専用の介護を行う）
3. 訪問入浴介護（自宅に組み立て式の浴槽を持ち込み、入浴の介護を行う）
4. 訪問看護（看護師等が自宅を訪問し、療養上の世話や診療補助を行う）
5. 訪問リハビリテーション（理学療法士等が自宅を訪問し、リハビリを行う）
6. 居宅療養管理指導（医師・歯科医師等が自宅を訪問し、療養上の管理や指導を行う）
7. デイサービス（施設等で趣味、生きがい活動等を日帰りで行う）
8. ショートステイ（施設等に短期入所し、日常生活上の支援やリハビリ等を行う）
9. 認知症対応型デイサービス（認知症の高齢者が施設等に通い、食事、入浴等の支援やリハビリ等を行う）
10. 小規模多機能型居宅介護（施設への通所を中心として、ホームヘルパーの訪問やショートステイを組み合わせたサービスを行う）
11. 福祉用具（日常生活の自立に必要な福祉用具を貸与・購入費の一部を支給する）
12. 住宅改修（住宅改修をした際の費用の一部を支給する）
13. わからない
14. 特になし

問 24 あなた（あて名のご本人）は、今後、ご自宅で生活するうえで、江戸川区が実施する介護保険以外のサービスについて、利用したいサービスはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 紙おむつ・おむつかバー等の支給、おむつ使用料の助成
2. 寝具乾燥消毒・水洗いクリーニング
3. 訪問理美容サービス
4. 徘徊高齢者探索サービス
5. 緊急通報システム
6. 配食サービス
7. 移送サービス
8. ごみの戸別訪問収集
9. 財産・金銭の管理や各種手続きの代行
10. 定期的な見守りや安否確認
11. その他 ()
12. 利用したいサービスはない

◆今後の生活等についておうかがいします

問 25 あなた（あて名のご本人）は、今後どのように暮らしたいですか。（もっとも近い考え1つに○）

1. 主に家族の介護を受けながら、自宅（又は子どもの家）で暮らしたい
2. 主に介護サービスを利用して、自宅（又は子どもの家）で暮らしたい
3. 高齢者向け住宅に住み替えて、介護サービスを利用したい
4. 有料老人ホームなどで暮らしたい
5. 数人で暮らせる、家庭的な介護付きホーム（施設）で暮らしたい
6. 介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入りたい
7. その他 ()
8. わからない

問 26 あなた（あて名のご本人）は、介護が必要になっても在宅で暮らし続けるために必要なことは、どのようなことであると思いますか。
（あてはまるものすべてに○）

- 1. 住み続けられる住まいがある
- 2. 家族が同居している、または近くにいる
- 3. 見守ってくれる友人、知人が近くにいる
- 4. 訪問介護やデイサービスなど、普段から利用できる介護サービスがある
- 5. 必要に応じて、通ったり宿泊できるような介護サービスがある
- 6. 24時間いつでも訪問してくれる介護サービスがある
- 7. 身近に利用できる医療機関がある
- 8. いつでも利用（入所）できる施設が近くにある
- 9. その他（ ）
- 10. わからない
- 11. 特にない

問 27 あなた（あて名のご本人）は、介護保険サービスの利用のあり方について、どのようなお考えをお持ちですか。（1つに○）

- 1. 利用できるサービスはどんどん利用すべきだと思う
- 2. 必要なサービスだけを利用すべきだと思う
- 3. サービスはできるだけ利用しない方がよいと思う
- 4. わからない

問 28 介護保険の保険料について、家計への影響は次のうちどれに近いですか。
（1つに○）

- 1. 大きい
- 2. やや大きい
- 3. 適当である
- 4. やや小さい
- 5. 小さい
- 6. わからない

◆地域の高齢者やその家族のさまざまな相談に対応する機関として、区内 14 か所に「地域包括支援センター」が設置されています。

問 29 あなた（あて名のご本人）は、地域包括支援センターについて、どのくらい知っていますか。（1つに○）

- 1. 内容をよく知っている
- 2. だいたいの内容は知っている
- 3. 名前は知っているが内容は知らない
- 4. まったく知らない →問 30へ

★内容や名前を知っている方（問 29 で 1～3 に○）におうかがいします。

→ 問 29-1 地域包括支援センターを利用したことはありますか。
（あてはまるものすべてに○）

- 1. 相談で利用した
 - 2. 介護保険及び生活支援等の受付で利用した
 - 3. 講座・教室に参加した
 - 4. その他（ ）
 - 5. 利用したことはない
- } 問 30へ

→ 問 29-2 「利用したことはない」方におうかがいします。利用したことがない理由は次のどれですか。（あてはまるものすべてに○）

- 1. 利用する必要がないから
- 2. 場所がわからないから
- 3. 場所は知っているが遠いから
- 4. その他（ ）

問 30 江戸川区の熟年者施策について、あなた（あて名のご本人）はどのように感じますか。（1つに○）

- | | |
|---------------|--------------------------|
| 1. とても充実している | そのように感じている理由は何ですか
() |
| 2. まあ充実している | |
| 3. どちらともいえない | |
| 4. あまり充実していない | |
| 5. 充実していない | |

問 31 江戸川区が今後充実すべきと思う熟年者施策は、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 健康づくりや介護が必要にならないための支援
2. 熟年者の就労や社会参加の支援
3. 配食や買い物、ごみ出し等の生活支援
4. 在宅生活を支える医療ケアなど医療の充実
5. 在宅生活を支える介護サービス
6. 介護が必要になっても住み続けられる住まいの整備
7. 介護を受けられる入所施設の整備
8. ひとり暮らしの人等を地域で見守るネットワークづくり
9. 介護する家族に対する支援
10. 介護保険制度や区の熟年者施策に関する情報提供
11. 申請や相談がしやすい窓口の整備
12. 判断能力が低下した場合の支援や熟年者の人権擁護
13. 段差解消や歩道の整備など、安全なまちづくり
14. その他 ()
15. 特にない

◆介護の状況についておうかがいします

問 32 現在、あて名のご本人を主に介護しているご家族（同居・別居問わず）は、あて名のご本人からみてどなたにあたりますか。
（主な介護者ひとりに○）

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 配偶者 | 5. 孫 |
| 2. 息子 | 6. 兄弟姉妹 |
| 3. 娘 | 7. その他の親族 () |
| 4. 息子・娘の配偶者 | |
| 8. 家族は介護していない・家族はいない | |

★介護をしている方（問 32 で 1～7 に○）におうかがいします。

→問 32-1 あて名のご本人を主に介護している方の年齢をお教えてください。

() 歳 ※年齢を記入してください

→問 32-2 介護をしていくうえで、困っていることはありますか。
（あてはまるものすべてに○）

1. 精神的にストレスがたまる
2. 身体的につらい
3. 経済的な負担が大きい
4. 自分の自由になる時間がもてない
5. 介護のことが気になって、思うように外出できない
6. 仕事や家事や育児が思うようにできない
7. 先の見通し・予定が立てられない
8. 介護に関して相談できる相手がいない
9. 介護の方法がわからない
10. 介護者のためのリフレッシュの機会が少ない
11. ストレスからイライラして本人に当たってしまうことがある
12. 家族や親族の協力が得られない
13. その他 ()
14. 特にない

↓ 次ページも回答してください

江戸川区介護保険サービス事業者調査

—ご記入にあたってのお願い—

- ◇この調査票は、同一所在地にある事業所に1通、送らせていただいています。あて名に書かれているサービスを参考に、同一所在地にある各事業所の状況をまとめてご回答ください。
- ◇事業の運営状況など、事業所単独では回答が難しい質問項目については、恐れ入りますが、運営主体の法人と調整のうえ、ご回答ください。
- ◇この調査票は、サービスの管理者またはそれに準ずる方がご記入ください。
- ◇ご記入いただいた調査票は三つ折にして、同封した返信用封筒に入れ、**1月31日(月)**までにポストに投かんしてください。切手は不要です。
- ◇事業所の名称や所在地、担当者のお名前等を調査票や封筒に書く必要はありません。

◆貴事業所の概要について

問1 貴事業所の所在地はどちらですか。(1つに○)
※別紙裏面の「江戸川区日常生活圏域早見表」をご参照のうえご回答ください。

1. 区民課圏域	5. 小岩事務所圏域
2. 小松川事務所圏域	6. 東部事務所圏域
3. 葛西事務所北圏域	7. 鹿骨事務所圏域
4. 葛西事務所南圏域	

問2 貴事業所の法人組織は、次のどれにあてはまりますか。(1つに○)

1. 社会福祉法人	5. NPO法人
2. 医療法人	6. 協同組合
3. 社団法人・財団法人	7. 個人医院等
4. 営利法人(株式会社、有限会社等)	8. その他 ()

問3 ①貴事業所(同一所在地にある事業所)が実施しているサービスすべてに○をし、○をしたサービスについて、②平成22年12月の提供実績(実利用者数)、及び③従業者数をご記入ください。
※予防給付も含めてご回答ください。

サービスの種類	① 実施している サービスに○	②平成22年12月の 提供実績(実利用者数)		③従業者数 (管理者含む)	
		全 体	うち江戸川区民	常 勤	非常勤
1. 居宅介護支援		人	人	人	人
2. 訪問介護		人	人	人	人
3. 訪問入浴介護		人	人	人	人
4. 訪問看護		人	人	人	人
5. 訪問リハビリテーション		人	人	人	人
6. 居宅療養管理指導		人	人	人	人
7. 通所介護		人	人	人	人
8. 通所リハビリテーション		人	人	人	人
9. 短期入所生活介護		人	人	人	人
10. 短期入所療養介護		人	人	人	人
11. 特定施設入居者生活介護		人	人	人	人
12. 福祉用具貸与		人	人	人	人
13. 特定福祉用具販売		人	人	人	人
14. 住宅改修		人	人	人	人
15. 夜間対応型訪問介護		人	人	人	人
16. 認知症対応型通所介護		人	人	人	人
17. 小規模多機能型居宅介護		人	人	人	人
18. 認知症対応型共同生活介護		人	人	人	人
19. 地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護		人	人	人	人
20. 介護老人福祉施設		人	人	人	人
21. 介護老人保健施設		人	人	人	人
22. 介護療養型医療施設		人	人	人	人

問4 問3①で○をした実施サービスのうち、昨年度（最新の決算）の収支が黒字であったサービスに○をしてください。（あてはまるものすべてに○） ※予防給付を含めてご回答ください。

- | | |
|-----------------|--------------------------|
| 1. 居宅介護支援 | 13. 特定福祉用具販売 |
| 2. 訪問介護 | 14. 住宅改修 |
| 3. 訪問入浴介護 | 15. 夜間対応型訪問介護 |
| 4. 訪問看護 | 16. 認知症対応型通所介護 |
| 5. 訪問リハビリテーション | 17. 小規模多機能型居宅介護 |
| 6. 居宅療養管理指導 | 18. 認知症対応型共同生活介護 |
| 7. 通所介護 | 19. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 |
| 8. 通所リハビリテーション | 20. 介護老人福祉施設 |
| 9. 短期入所生活介護 | 21. 介護老人保健施設 |
| 10. 短期入所療養介護 | 22. 介護療養型医療施設 |
| 11. 特定施設入居者生活介護 | 23. 黒字であったサービスはない |
| 12. 福祉用具貸与 | |

問5 問3①で○をした実施サービスのうち、3年以内に、縮小・撤退を考えているサービスに○をしてください。（あてはまるものすべてに○） ※予防給付を含めてご回答ください。

- | | |
|-----------------|--------------------------|
| 1. 居宅介護支援 | 13. 特定福祉用具販売 |
| 2. 訪問介護 | 14. 住宅改修 |
| 3. 訪問入浴介護 | 15. 夜間対応型訪問介護 |
| 4. 訪問看護 | 16. 認知症対応型通所介護 |
| 5. 訪問リハビリテーション | 17. 小規模多機能型居宅介護 |
| 6. 居宅療養管理指導 | 18. 認知症対応型共同生活介護 |
| 7. 通所介護 | 19. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 |
| 8. 通所リハビリテーション | 20. 介護老人福祉施設 |
| 9. 短期入所生活介護 | 21. 介護老人保健施設 |
| 10. 短期入所療養介護 | 22. 介護療養型医療施設 |
| 11. 特定施設入居者生活介護 | 23. 縮小・撤退を考えているサービスはない |
| 12. 福祉用具貸与 | |

問5-1 「縮小・撤退を考えているサービスがある」（1～22に○）事業所におたずねします。その理由をお聞かせください。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 採算が合わない | 5. 制度改正等の流れに対応できない |
| 2. サービス提供をする人材確保が難しい | 6. 経営側の判断・方針 |
| 3. 利用者の確保が難しい | 7. その他 |
| 4. 他社との競合が激しい | () |

問6 貴事業所において、3年以内に、江戸川区において事業の拡大・新規参入を考えているサービスに○をしてください。（あてはまるものすべてに○） ※予防給付を含めてご回答ください。

- | | |
|-----------------|--------------------------|
| 1. 居宅介護支援 | 14. 住宅改修 |
| 2. 訪問介護 | 15. 夜間対応型訪問介護 |
| 3. 訪問入浴介護 | 16. 認知症対応型通所介護 |
| 4. 訪問看護 | 17. 小規模多機能型居宅介護 |
| 5. 訪問リハビリテーション | 18. 認知症対応型共同生活介護 |
| 6. 居宅療養管理指導 | 19. 地域密着型特定施設入居者生活介護 |
| 7. 通所介護 | 20. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 |
| 8. 通所リハビリテーション | 21. 介護老人福祉施設 |
| 9. 短期入所生活介護 | 22. 介護老人保健施設 |
| 10. 短期入所療養介護 | 23. 介護療養型医療施設 |
| 11. 特定施設入居者生活介護 | 24. 拡大・新規参入を考えているサービスはない |
| 12. 福祉用具貸与 | |
| 13. 特定福祉用具販売 | |

問7 「24時間対応の定期巡回・随時対応サービス」が介護保険サービスとして制度化（法内化）された場合、貴事業所では事業への参入について、どのように考えていますか。（1つに○）

- | | |
|---------------------------|--------------|
| 1. 参入したい・する予定 | 3. 参入する予定はない |
| 2. 関心はあるが、参入するか否かは今後検討したい | 4. わからない |

問8 「24時間対応の定期巡回・随時対応サービス」について、参入条件や課題、事業展開にあたっての意見、知りたい情報等があればご記入ください。

問9 小規模多機能型居宅介護と訪問看護を組み合わせるなど、複数のサービスを一体的に提供する「複合型サービス」が介護保険サービスとして制度化（法内化）された場合、貴事業所では事業への参入について、どのように考えていますか。（1つに○）

- | | |
|---------------------------|--------------|
| 1. 参入したい・する予定 | 3. 参入する予定はない |
| 2. 関心はあるが、参入するか否かは今後検討したい | 4. わからない |

問15 貴事業所では、過去1年間に、利用者からの苦情やトラブルはありましたか。
苦情やトラブルの内容とその対応をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

(1) 苦情やトラブルの内容	(2) 苦情やトラブルへの対応
1. 契約書、重要事項説明書について	1. 謝罪と再発防止策の徹底
2. サービス提供内容について	2. 利用者や家族への十分な説明による納得
3. 料金(保険内・保険外等)について	3. 居宅サービス計画、介護サービス計画の見直し
4. サービス担当者の質がよい	4. サービス担当者への指導
5. サービス担当者との相性	5. サービス担当者の交代
6. 利用者間のトラブル	6. 事例検討等、事業所内に意思統一
7. サービス提供開始時刻の遅れ	7. サービス担当者の研修
8. 食事、入浴、排せつ等のサービス提供内容	8. 弁償や損害賠償
9. サービス提供内容の範囲を超えるサービス	9. その他()
10. 人身事故や物損事故	
11. 利用者や家族の要望をサービスに反映していない	
12. 利用者のプライバシーへの配慮	
13. 虐待や身体拘束に関すること	
14. 利用者の個人情報の保護	
15. サービス担当者の言葉づかいや態度	
16. その他()	
17. 苦情やトラブルはない	

問16 医療との連携について、課題に感じることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 日常的に相談・助言を受けられる医師・医療機関の確保
2. 急変時の受け入れを依頼できる病院の確保
3. 入院・退院する利用者に関する医療情報の共有
4. 退院前後の医療職も含めたカンファレンスやミーティングの開催
5. 医療職との連携に必要な基本的な医療的知識の習得
6. その他()
7. 特にない

◆人材の確保や雇用管理について

問17 人材の確保や雇用管理について、課題となっていることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事量に見合う従業員の確保
2. 夜勤ができる従業員の確保
3. 従業員の定着率の向上
4. 人材育成・教育等従業員の質の確保
5. 異なる職種や就業形態の従業員間のコミュニケーションの確保
6. 従業員の士気の確保・向上
7. 職場のチームワーク
8. 能力や業績に応じた賃金体系の確保
9. 人事労務面の管理体制整備
10. その他()
11. 特にない

問18 貴事業所では、キャリアパス(※)を設けていますか。(1つに○)

1. 設けている
2. 設けていない (理由:)

※キャリアパス：職種や役職のキャリアアップの道筋や、それに応じた賃金体系を定めること

→ 付問 「2. 設けていない」事業所におたずねします。
今後設ける予定はありますか。(1つに○)

1. ある	2. ない
-------	-------

問19 貴事業所では、平成22年度の介護職員処遇改善交付金申請をされましたか。(1つに○)

1. 申請した
2. 申請しなかった (理由:)
3. 交付金対象サービスは実施していない

問20 貴事業所では、人材確保のために、介護職員処遇改善交付金以外に、次の東京都等の施策を活用していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 代替職員の確保による現任介護職員等の研修支援事業
2. 介護従事者向け研修
3. 介護保険施設等における職場体験事業
4. 離職者の介護雇用プログラム
5. 上記の施策は活用していない

◆区に対する要望について

問21 介護サービス事業を展開する上で、江戸川区にさらに充実・支援してほしいと思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護保険制度に関する最新・適切な情報の提供
2. 介護保険制度に関するQ&Aシステムや情報交換の場の整備
3. 江戸川区の保健福祉施策・サービスに関する情報の提供
4. 他の介護保険事業者に関する情報の提供
5. 区のホームページなどを活用した、事業所に関する広報やPRに対する支援
6. 事業者間の連携強化のための支援
7. サービス提供者の質の向上のための研修の実施
8. ヘルパーなどサービス提供者養成の推進・支援
9. サービス提供者のための相談支援体制の整備
10. 支援困難者への対応や支援
11. サービス利用者や家族の介護保険制度の理解向上に向けた取り組み
12. その他 ()
13. 特にない

問22 事業者の視点からみて、江戸川区の熟年者施策で、今後力を入れていくべきと思うものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 健康増進事業
2. 介護予防のための事業
3. 熟年者の就労や社会参加の支援
4. 配食や買い物、ごみ出し等の生活支援
5. 在宅生活を支える医療ケアなど医療の充実
6. 介護保険や区の在宅介護サービス
7. 地域密着型サービス
8. 介護を受けられる入所施設の整備
9. 認知症の方への支援
10. 定期的な見守りや安否確認など、地域の助けあい
11. 介護する家族に対する支援
12. 介護保険制度や区の熟年施策に関する情報提供
13. 申請や相談がしやすい窓口の整備
14. 判断能力が低下した場合の支援や熟年者の人権擁護
15. 介護が必要になっても住み続けられる住まいの整備
16. 段差解消や歩道の整備など、安全なまちづくり
17. その他 ()
18. 特にない

●居宅介護支援事業を提供している事業所(問3①で1に○)の方

→問23～問24(11～12ページ)へ

●居宅サービス・地域密着型サービスを提供している事業所(問3①で2～10・12～17に○)の方

→問25～問28(13～14ページ)へ

●施設サービス・特定施設入居者生活介護・認知症対応型共同生活介護を提供している事業所

(問3①で11・18～22に○)の方

→問29～問31(15～16ページ)へ



居宅介護支援事業を提供している事業所の方にかがいます

問23 江戸川区で連絡調整や連携が上手くいくと業務が円滑に進むと感じる事業者や関連機関等がありますか。(あてはまるものすべてに○)

《サービス事業者》

1. 訪問介護事業者
2. 訪問入浴介護事業者
3. 訪問看護事業者
4. 訪問リハビリテーション事業者
5. 居宅療養管理指導事業者
6. 通所介護事業者
7. 通所リハビリテーション事業者
8. 短期入所生活介護事業者
9. 短期入所療養介護事業者
10. 特定施設入居者生活介護事業者
11. 福祉用具貸与、特定福祉用具販売事業者
12. 住宅改修事業者
13. 夜間対応型訪問介護事業者
14. 認知症対応型通所介護事業者
15. 小規模多機能型居宅介護事業者
16. 認知症対応型共同生活介護事業者
17. 地域密着型特定施設入居者生活介護事業者
18. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護事業者
19. 介護老人福祉施設事業者
20. 介護老人保健施設事業者
21. 介護療養型医療施設事業者

《サービス事業者以外》

22. 保健所・健康サポートセンター
23. 介護相談室
24. 地域包括支援センター
25. かかりつけ医・かかりつけ歯科医
26. 利用者の家族
27. その他
()
28. 特にない

問24 貴事業所では、より質の高いサービス提供を行うために、今後、どのような取り組みに力を入れる必要があると考えていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 従業員のケアマネジメント技術の向上
2. 従業員のマナーやコミュニケーション技術の向上
3. ひとり暮らしでキーパーソンがいない利用者への支援・対応
4. 認知症の利用者への支援・対応
5. 医療依存度の高い利用者への支援・対応
6. 介護度の重度化への対応(看取り等)
7. 居宅介護支援事業者間の連携
8. 居宅サービス事業者との連携
9. 施設・居住系サービス事業者との連携
10. 医療機関との連携
11. 区や地域包括支援センターとの連携
12. 医療機関との情報共有化
13. その他 ()
14. 特にない

次の質問におすすみください

- 居宅サービス・地域密着型サービスを提供している事業所(問3①で2～10・12～17に○)の方
→問25～問28(13～14ページ)へ
- 施設サービス・特定施設入居者生活介護・認知症対応型共同生活介護を提供している事業所
(問3①で11・18～22に○)の方
→問29～問31(15～16ページ)へ

上記のいずれも実施していない場合は、16ページの自由回答におすすみください

**居宅サービス・地域密着型サービスを提供している事業所の方にかかっています
(特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護を除く)**

問25 居宅介護支援事業者のケアマネジメントの対応で、問題と感ずることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 連絡がとりにくい
2. ケアカンファレンスが不十分
3. ケアプランの課題の分析(アセスメント)が不十分
4. 利用者への訪問・連絡が不十分
5. ケアプラン実施後の評価が不十分
6. ケアプランが利用者の状況に対応していない
7. 利用者の状態やニーズの変化に対する対応が遅い
8. 自立支援という視点に立ったケアプランとなっていない
9. 介護保険外のサービスを含めた総合的なケアプランとなっていない
10. その他 ()
11. 特になし

問26 地域包括支援センターのケアマネジメントの対応で、問題と感ずることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 連絡がとりにくい
2. ケアカンファレンスが不十分
3. ケアプランの課題の分析(アセスメント)が不十分
4. 利用者への訪問・連絡が不十分
5. ケアプラン実施後の評価が不十分
6. ケアプランが利用者の状況に対応していない
7. 利用者の状態やニーズの変化に対する対応が遅い
8. 自立支援という視点に立ったケアプランとなっていない
9. 介護保険外のサービスを含めた総合的なケアプランとなっていない
10. その他 ()
11. 特になし

問27 地域包括支援センターに対するご意見・ご要望等がありましたら、自由にご記入ください。

問28 貴事業所では、より質の高いサービス提供を行うために、今後、どのような取り組みに力を入れる必要があると考えていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 従業者の介護技術の向上
2. 従業者のマナーやコミュニケーション技術の向上
3. 利用者のケアの方針等に関する職員間の意識の共有化
4. ひとり暮らしでキーパーソンがいない利用者への支援・対応
5. 認知症の利用者への支援・対応
6. 医療依存度の高い利用者への支援・対応
7. 要介護度の重度化への対応(看取り等)
8. 居宅介護支援事業者との連携
9. 居宅サービス事業者間の連携
10. 施設・居住系サービス事業者との連携
11. 医療機関との連携
12. 区や地域包括支援センターとの連携
13. その他 ()
14. 特になし

●施設サービス・特定施設入居者生活介護・認知症対応型共同生活介護を提供している事業所
(問3①で11・18～22に○)の方は次ページに、実施していない場合は16ページの自由回答に
おすすめください

江戸川区介護支援専門員調査

—ご記入にあたってのお願い—

◇この調査票は、NPO法人江戸川区ケアマネジャー協会に調査票を送付し、協会にて宛名ラベルを貼付したうえで発送しています。

◇回答は、事業所ではなく、「介護支援専門員個人」としてご回答ください。

◇ご記入いただいた調査票は三つ折にして、同封した返信用封筒に入れ、**1月31日(月)**までにポストに投かんしてください。切手は不要です。

◇返信用封筒の裏に、差出人のご住所、お名前等を書く必要はありません。

◆基本事項について

問1 あなたの性別と平成23年1月1日現在の満年齢をお答えください。

(それぞれ1つに○)

(1) 性別	1. 男性	2. 女性		
(2) 年齢	1. 20歳代	2. 30歳代	3. 40歳代	4. 50歳代
			5. 60歳代	6. 70歳以上

問2 あなたのお勤め先等について、おうかがいします。

(1) 介護支援専門員としてのお勤め先等は、どちらですか。(1つに○)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 居宅介護支援事業所 | 8. 小規模多機能型居宅介護 |
| 2. 地域包括支援センター | 9. 病院・診療所 |
| 3. 特別養護老人ホーム | 10. 薬局 |
| 4. 老人保健施設 | 11. その他福祉サービス事業所 |
| 5. 介護療養型医療施設 | 12. 地方自治体 |
| 6. 有料老人ホーム・ケアハウス | 13. その他 () |
| 7. グループホーム | |

(2) 勤務地はどちらですか。(1つに○)

- | | | |
|----------|-------|-------|
| 1. 江戸川区内 | 2. 都内 | 3. 都外 |
|----------|-------|-------|

(3) お勤め先の法人形態は、次のどれにあてはまりますか。(1つに○)

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. 医療法人 | 5. 社団法人、財団法人 |
| 2. 社会福祉法人 | 6. 生協・農協 |
| 3. 営利法人(株式会社・有限会社等) | 7. 地方自治体 |
| 4. NPO法人 | 8. その他 () |

問3 あなたのお勤め先の事業所は、どのような介護サービス等を併設していますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------------|-------------------------------|
| 1. 訪問介護(ホームヘルプサービス) | 14. 認知症対応型通所介護 |
| 2. 訪問入浴介護 | 15. 小規模多機能型居宅介護 |
| 3. 訪問看護 | 16. 認知症対応型共同生活介護
(グループホーム) |
| 4. 訪問リハビリテーション | 17. 地域密着型特定施設入居者生活介護 |
| 5. 居宅療養管理指導 | 18. 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 |
| 6. 通所介護(デイサービス) | 19. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) |
| 7. 通所リハビリテーション(デイケア) | 20. 介護老人保健施設 |
| 8. 短期入所生活介護(福祉ショートステイ) | 21. 介護療養型医療施設 |
| 9. 短期入所療養介護(医療ショートステイ) | 22. 病院・診療所 |
| 10. 特定施設入居者生活介護
(有料老人ホーム・ケアハウス) | 23. 薬局 |
| 11. 福祉用具貸与・特定福祉用具販売 | 24. その他 () |
| 12. 住宅改修 | 25. 併設事業はない |
| 13. 夜間対応型訪問介護 | |

※予防を含みます。(例)訪問介護には介護予防訪問介護を含みます。

問4 あなたは、平成23年1月1日現在、介護支援専門員としての業務に従事してどのくらいの経験がありますか。転職などを行っている場合、前職なども含めた合計期間でお答えください。(1つに○)

- | | | |
|--------------|-------------|-------------|
| 1. 6か月未満 | 4. 2年以上3年未満 | 6. 5年以上7年未満 |
| 2. 6か月以上1年未満 | 5. 3年以上5年未満 | 7. 7年以上 |
| 3. 1年以上2年未満 | | |

問5 あなたは、主任介護支援専門員ですか。(1つに○)

「1. はい」と回答した方は、主任介護支援専門員としての経験年数をご記入ください。

- | |
|----------------------------------|
| 1. はい → 主任介護支援専門員としての経験年数は () 年 |
| 2. いいえ |

問6 あなたは、介護支援専門員以外にどのような保健医療福祉関係の資格をお持ちですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 社会福祉士	13. 助産師
2. 社会福祉主事	14. 看護師・准看護師
3. 介護福祉士	15. 管理栄養士・栄養士
4. 1級訪問介護員	16. 歯科衛生士
5. 2級訪問介護員	17. 理学療法士 (PT)
6. 精神保健福祉士	18. 作業療法士 (OT)
7. 福祉住環境コーディネーター	19. 言語聴覚士
8. 福祉用具専門相談員	20. あん摩マッサージ指圧師
9. 医師	21. はり師
10. 歯科医師	22. きゅう師
11. 薬剤師	23. 柔道整復師
12. 保健師	24. その他 ()

問7 あなたの現在の勤務形態は、次のうちどれですか。(1つに○)

1. 常勤・専従	3. 非常勤・専従
2. 常勤・兼務	4. 非常勤・兼務

★「2. 常勤・兼務」「4. 非常勤・兼務」と回答した方におうかがいします。

→問7-1 どのような業務を兼務していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 相談業務	7. 理学療法士 (PT)・作業療法士 (OT) 業務
2. 介護業務	8. 柔道整復師業務
3. 医師業務	9. 管理業務
4. 看護師業務	10. 取締役業務
5. 薬剤師業務	11. その他 ()
6. 栄養士 (管理栄養士) 業務	

→問7-2 介護支援専門員としての業務の比率は、何%くらいですか。

介護支援専門員としての業務は、おおよそ () %くらい

◆介護支援専門員業務の状況について

問8 居宅介護支援事業所、地域包括支援センターにお勤めの介護支援専門員の方(問2(1)で1か2に○)にのみ、おうかがいします。

(1) あなたが担当している利用者数は何人ですか。いない場合は、「0」を記入してください。
(それぞれ、全体と江戸川区について数値を記入)

要介護者	要支援者
全体で () 人	全体で () 人
うち、江戸川区で () 人	うち、江戸川区で () 人

(2) あなたが担当している利用者の中に、支援や対応に困難を感じている利用者は何人くらいいますか。いない場合は、「0」を記入してください。

支援や対応に困難を感じている利用者は () 人

(3) 支援や対応に困難を感じている利用者がある方におうかがいします。
それはどのようなケースですか。(あてはまるものすべてに○)

1. ひとり暮らしでキーパーソンがいないケース
2. ひとり暮らしの認知症のケース
3. 認知症の方が認知症の方を介護しているケース
4. 胃ろう、経管栄養などの医療処置を受けているケース
5. 精神疾患を抱えているケース
6. 終末期のケース
7. 虐待が疑われるケース
8. 病院や施設から退院・退所したばかりのケース
9. 経済的な問題を抱えているケース
10. 複数の問題を抱えているケース
11. その他 ()

★全員の方におうかがいします。

問 9 あなたは、ケアプラン（施設等のサービス計画を含む）に、利用者や家族の要望・意向をどの程度反映できていると思いますか。（1つに○）

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. すべて反映できている | 4. あまり反映できていない |
| 2. ほとんど反映できている | 5. まったく反映できていない |
| 3. ある程度反映できている | |

問 10 あなたが利用者の家族と接する中で、家族が感じている日常生活での不安、悩み、心配ごとには、どのようなことがありますか。（主なもの5つまでに○）

1. 介護サービスを今までよりもっと利用したいが、本人が嫌がる
2. 介護サービスを利用したいが、家族や周囲が反対する
3. 介護サービスを希望するほど利用できない
4. 介護者の都合等に合わせて柔軟に使える介護サービスがない
5. 精神的負担が大きい
6. 夜間の介護の負担が大きい
7. 肉体的負担が大きい（睡眠不足・腰痛等を含む）
8. 経済的負担が大きい
9. 介護の方法がわからない
10. 介護のために仕事に出られない、家業が思うようにできない
11. 介護のために家事や育児が思うようにできない
12. 介護のことが気になって、思うように外出できない
13. 介護者のための相談窓口が少ない
14. 介護者のためのリフレッシュの機会が少ない
15. その他（ ）
16. 特にない

問 11 あなたは、主治医等の医療機関との連携は、十分にとっていますか。（1つに○）

1. 十分にとっている
2. 十分ではないが概ねとっている
3. あまりとっていない（理由： ）
4. とっていない（理由： ）

問 12 あなたは、地域包括支援センターとの連携は、十分にとっていますか。（1つに○）

1. 十分にとっている
2. 十分ではないが概ねとっている
3. あまりとっていない（理由： ）
4. とっていない（理由： ）

問 13 あなたは地域包括支援センターの①～④の機能について、現状ではどの程度機能していると感じていますか。（それぞれ1つに○）

- | | | | | | |
|--|--------------------------|---------------------------|-------------------------|--------------------------|---------------------------|
| | 1.
大変よく
機能して
いる | 2.
それなり
に機能
している | 3.
どちらと
も言え
ない | 4.
あまり
機能して
いない | 5.
まったく
機能して
いない |
|--|--------------------------|---------------------------|-------------------------|--------------------------|---------------------------|

①支援困難ケースへの助言・対応	1	2	3	4	5
②サービス担当者会議の開催支援	1	2	3	4	5
③介護サービス事業者との情報交換会の開催	1	2	3	4	5
④交流会等による医療機関や町会等とのネットワークづくり	1	2	3	4	5

問 14 地域包括支援センターとの連携における課題、地域包括支援センターに対するご意見・ご要望等がありましたら、自由にご記入ください。

問 15 ケアマネジメント業務を行ううえで、江戸川区で不足していると感じる介護保険サービスはありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------------------|---------------------------|
| 1. 訪問介護（ホームヘルプサービス） | 13. 夜間対応型訪問介護 |
| 2. 訪問入浴介護 | 14. 認知症対応型通所介護 |
| 3. 訪問看護 | 15. 小規模多機能型居宅介護 |
| 4. 訪問リハビリテーション | 16. 認知症対応型共同生活介護（グループホーム） |
| 5. 居宅療養管理指導 | 17. 地域密着型特定施設入居者生活介護 |
| 6. 通所介護（デイサービス） | 18. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 |
| 7. 通所リハビリテーション（デイケア） | 19. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） |
| 8. 短期入所生活介護（福祉ショートステイ） | 20. 介護老人保健施設 |
| 9. 短期入所療養介護（医療ショートステイ） | 21. 介護療養型医療施設 |
| 10. 特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム・ケアハウス） | 22. 特にない |
| 11. 福祉用具貸与、特定福祉用具販売 | |
| 12. 住宅改修 | |

※予防を含みます。（例）訪問介護には介護予防訪問介護を含みます。

問 16 介護保険サービス以外の江戸川区の保健福祉サービスについて、もっと充実すべきと思うサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 紙おむつ・おむつカバー等の支給、おむつ使用料の助成 | 7. 移送サービス |
| 2. 寝具乾燥消毒・水洗いクリーニング | 8. ごみの戸別訪問収集 |
| 3. 訪問理美容サービス | 9. 財産・金銭の管理や各種手続きの代行 |
| 4. 徘徊高齢者探索サービス | 10. 定期的な見守りや安否確認 |
| 5. 緊急通報システム | 11. その他 () |
| 6. 配食サービス | 12. 特にない |

◆「24 時間対応の定期巡回・随時対応サービス」が介護サービスとして制度化（法制化）された場合、「随時の対応」が必要なケースとして、以下のような例が想定されます。

- 例) ○ストーマのパウチが外れてしまう
 ○バルーンカテーテルの流れが悪い
 ○排泄移乗時に転倒または失禁してしまう

問 17 あなたが担当している利用者の中で、このサービスの提供がふさわしいと思われる利用者数をご記入ください。いない場合は、「0」を記入してください。

「24 時間対応の定期巡回・随時対応サービス」の提供がふさわしい利用者は () 人

問 18 「24 時間対応の定期巡回・随時対応サービス」の利用がふさわしい利用者のイメージがありましたら、自由にご記入ください。

問 19 あなたは、サービス提供事業所に関する情報収集は、どのように行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- サービス提供事業所のパンフレット等の収集
- サービス提供事業所のホームページを閲覧
- 地域単位の事業者情報誌等を閲覧
- WAMNET の事業者情報を閲覧
- 介護サービス情報の公表制度の事業者情報を閲覧
- 近隣にある特定の事業者に対して電話・面談等で直接問い合わせ
- サービス提供は原則同一法人内で行うため、他事業者から情報収集は行わない
- その他 ()

問 20 ケアマネジメント業務を行ううえで、どのような情報が必要ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 介護保険制度・介護報酬等に関する情報
- 江戸川区の保健福祉サービスに関する情報
- ケアマネジメント技術に関する情報
- 認知症ケアに関する情報
- 医療処置を必要とする場合のケアに関する情報
- 支援困難事例のケアに関する情報
- 介護サービス事業所に関する情報
- 地域の医療機関に関する情報
- 定員の空き状況、空室・空床に関する情報
- 介護支援専門員を対象とする研修・講座等に関する情報
- その他 ()
- 特に必要な情報はない

問 21 ケアマネジメント業務の中で、あなたが負担に感じていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 利用者に重要事項を説明し、理解してもらうこと
- ケアプランへの利用者や家族の要望・意向の反映
- 利用者の課題の分析（アセスメント）
- サービス担当者会議（ケアカンファレンス）の開催
- サービスの効果等を把握するモニタリングの実施
- 介護保険外サービスを含めたケアプランの作成
- 医療機関（主治医等）との連絡・調整
- サービス事業者との連絡・調整
- 給付管理等の事務
- その他 ()
- 特にない

◆質の確保等について

問 22 あなたは、この1年間に、東京都や区市町村、ケアマネジャー協会等が実施する介護支援専門員向け研修会に、どの程度参加しましたか。(1つに○)

- | | | |
|----------------|---------------|---------------------|
| 1. ほとんど参加している | 3. あまり参加していない | → 次ページの
問 22-1 へ |
| 2. 半分程度は参加している | 4. 全く参加していない | |

問 22-1 介護支援専門員向け研修会に参加していないのはなぜですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 多忙で時間がとれないため | 5. 事業所の理解がないため |
| 2. 参加したいと思う研修がないため | 6. 参加費用を負担に感じるため |
| 3. 必要と思わないため | 7. その他 () |
| 4. 開催場所が遠いため | |

問 23 今後、どのような内容の研修を希望しますか。具体的にご記入ください。

問 24 利用者や家族からあげられる苦情の内容としては、こういったものが多くありますか。
(主なものを5つまでに○)

1. サービス利用等の手続きに関すること
2. 制度やサービスの説明に関すること
3. 利用料に関すること
4. ケアプランや個別のサービス計画に関すること
5. サービスの質や内容に関すること
6. 介護支援専門員の資質等に関すること
7. 従業者（サービス提供者）の資質等に関すること
8. 利用者の個人情報の保護に関すること
9. 介護支援専門員の言葉づかいや態度
10. 従業者（サービス提供者）の言葉づかいや態度
11. 介護保険制度そのものに関すること
12. その他 ()
13. 苦情はない

◆業務の満足度と今後の意向について

問 25 平成 23年 1月 1日現在、現在の事業所（法人）で介護支援専門員として在籍している期間はどのくらいですか。（1つに○）

- | | | |
|--------------|-------------|-------------|
| 1. 6か月未満 | 4. 2年以上3年未満 | 6. 5年以上7年未満 |
| 2. 6か月以上1年未満 | 5. 3年以上5年未満 | 7. 7年以上 |
| 3. 1年以上2年未満 | | |

問 26 現在の自分の業務内容（介護支援専門員業務及び兼任業務を含む）に対する満足度はいかがですか。（1つに○）

- | | | |
|----------|--------------|----------|
| 1. 大いに満足 | 3. どちらとも言えない | 4. 不満 |
| 2. 満足 | | 5. 大いに不満 |

問 27 現在所属している事業所に対する満足度はいかがですか。（1つに○）

- | | | |
|----------|--------------|----------|
| 1. 大いに満足 | 3. どちらとも言えない | 4. 不満 |
| 2. 満足 | | 5. 大いに不満 |

問 28 ケアマネジメント業務を行う中で、あなたはストレスを感じていますか。
(1つに○)

- | | |
|------------|------------|
| 1. 強く感じている | 3. あまり感じない |
| 2. 少し感じている | 4. 全く感じない |

★「1. 強く感じている」「2. 少し感じている」方におうかがいします。

▶ 問 28-1 どのようなことにストレスを感じていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 介護支援専門員としての業務全般
2. 事務処理や給付管理業務に追われ、利用者や家族と接することがなかなかできない
3. 1件あたりのケアプラン作成に十分な時間をかけられない
4. 雑用が多すぎる
5. 労働時間（拘束時間）が長い
6. 業務に見合うだけの報酬が得られない
7. 所属事業所の法令遵守に対する意識が低い
8. 介護支援専門員の社会的な評価が低い
9. 業務の責任に伴う負担
10. 事業所内の人間関係
11. 利用者や家族との人間関係
12. 他事業者との人間関係
13. 都・区など指導監督的な立場からの指摘が多い
14. 相談相手がいない
15. その他 ()

問 29 あなたは現在、転職を考えていますか。(1つに○)

1. 介護支援専門員として、他の事業所に転職したい
2. 保健医療福祉の職に転職したい
3. その他の職に転職したい
4. 転職は考えていない
5. その他 ()

問 30 あなたは今後も介護支援専門員として働いていきたいと思えますか。(1つに○)

1. 働きたい
2. 独立して働きたい
3. どちらかと言えば働きたい
4. どちらかと言えば働きたくない
5. 働きたくない
6. わからない

◆今後の区の施策等について

問 31 介護支援専門員として、利用者が在宅生活を続けていくために必要だと考えていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 住み続けられる住まいがある
2. 家族が同居している、または近くにいる
3. 見守ってくれる友人、知人が近くにいる
4. 訪問介護やデイサービスなど、普段から利用できる介護サービスがある
5. 必要に応じて、通ったり宿泊できるような介護サービスがある
6. 24時間いつでも訪問してくれる介護サービスがある
7. 身近に利用できる医療機関がある
8. いつでも利用(入所)できる施設が近くにある
9. その他 ()
10. わからない
11. 特にない

問 32 介護支援専門員として、江戸川区に支援・充実してほしいと思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護保険制度に関する最新・最適な情報の提供
2. 介護保険制度に関するQ&Aシステムや情報交換の場の構築
3. 江戸川区の保健福祉施策・サービスに関する情報の提供
4. 他の介護保険事業に関する情報の提供
5. 区のホームページなどを活用した、事業所に関する情報提供
6. 事業者間の連携強化のための支援
7. 介護支援専門員の質の向上のための研修の実施
8. 介護支援専門員養成の推進・支援
9. 介護支援専門員のための相談窓口の設置
10. 困難事例への対応
11. サービス利用者や家族の介護保険制度の理解向上に向けた取り組み
12. 介護保険外のサービス体制の充実
13. その他 ()
14. 特にない

最後に、江戸川区が熟年者の保健福祉施策や介護保険事業を推進していくにあたり、ご意見等がありましたら、自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

返信用封筒に入れて、1月31日(月)までに、ポストに投かんしてください。

江戸川区介護保険事業計画及び熟年しあわせ計画
改定のための基礎調査報告書

平成23年(2011年)4月

編集・発行 江戸川区福祉部
〒132-8501 東京都江戸川区中央一丁目4番1号
電話 03(3652)1151(代表)

集計・分析 株式会社コモン計画研究所
〒166-0015 東京都杉並区成田東五丁目35番15号
THE PLAZA-F 2階
電話 03(3220)5415
